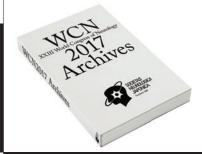


XXIII World Congress of Neurology One of Neurology

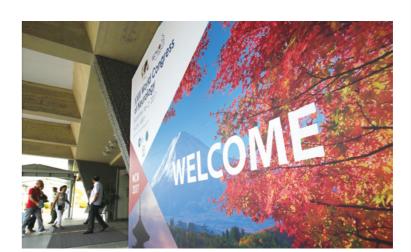
大会名	第23回世界神経学会議(WCN2017: XXIII World Congress of Neurology) 第58回日本神経学会学術大会
テーマ	神経内科の明日を拓く(Defining the Future of Neurology)
大会長	水澤 英洋(国立精神·神経医療センター 理事長) 宇川 義一(福島県立医科大学医学部神経内科学講座 教授)
会期	2017年9月16日(土)~21日(木)
会場	国立京都国際会館 〒606-0001 京都市左京区宝ケ池
主催·共催	第23回世界神経学会議組織委員会、日本学術会議、一般社団法人日本神経学会、 アジアオセアニア神経学会連合
開催母体	世界神経学会連合(WFN: World Federation of Neurology)
後援団体	文部科学省、厚生労働省、日本医学会、日本医師会、日本脳科学関連学会連合、日本神経科学学会、日本神経化学会、日本精神神経学会、日本脳神経外科学会、日本内科学会、京都府、京都市
協力団体	日本政府観光局(JNTO)、国立京都国際会館、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー、 一般社団法人京都府医師会、京都新聞、在オーストリア日本国大使館、在チリ日本国大使館、 株式会社コングレ、日本コンベンションサービス株式会社

Introduction

巻頭言



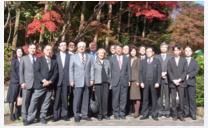
chapter1



マラケシュから京都まで

世界の神経学の発展に大きく貢献した WCN2017を心に銘記するために…

巻頭言 Introduction





- ↑世界神経学会連合役員による京都視察 - 2012年11月18~20日 · ト 2015年9月11~13日



ウィーンでの誘致活動

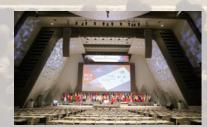
過去最高の120ヶ国から8617名が参加

第23回世界神経学会議 (WCN2017: XXIII World Congress of Neurology) は、2017年9月16~21日に京都市の国際会館で開催され、115ヶ国、5地域から8617名もの多くの方々に参加していただき、大成功を納めることができました。大会長として大変嬉しく、世界神経学会連合 (World Federation of Neurology: WFN)とともに会議を主催した日本神経学会(Japanese Society of Neurology: JSN)の会員の皆様をはじめ、日本学術会議、他多くの関係者の皆様と共に、この成功を喜びたいと思います。

2010年5月に代表理事に就任し、JSNの目標の一つに国際化を掲げWCNの招致も決めましたが、近隣国への配慮といった意見もあり、動き出したのはモロッコのマラケッシュでのWCN2011にてWFN幹部との意見交換の後でした。しかも本格的には2012年6月にメルボルンで開催されたAsian and Oceanian Congress of Neurology (AOCN) 2012でのAsian and Oceanian Association of Neurology (AOAN)の総会の後であり、そこで初めて意思表示をした香港・中国はともかく、韓国のソウルにはかなり出遅れていました。

2012年11月にWFNの京都への現地視察を受け、一応適格との判断を得て翌年1月に正式な申請書を提出しました。 実質1年に満たない活動期間でしたが、国際対応委員会を中心に、米国神経学会などの国際会議の活用やJSN会員の個人的な国際ネットワークの活用など様々な工夫を重ね、招致運動を進めました。 2013年9月のウイーンのWCN2013でのWFN総会では、 日本政府観光局 (Japan National Tourism Organization: JNTO)、オーストリア全権大使のご支援もいただいた前夜の Japan Night の成功に引き継ぎ、会場前でのお揃いの法被姿での勢揃いを経てプレゼンテーションを行いました。その結果、PCOのKenes社からは開催都市・会場に対して3者間で最低という厳しい評価を下され、しかも我々のみが2回目の開催であることなどの逆風の中、2回の投票を経て最後に残り招致に成功しました。

そこから4年間に亘る開催準備が始まりました。近年の WCNは主催国の学会が全面的に請負うのではなく、WFN の運営を委託されているコアPCOのKenes社が運営を担当 し、会期、特別講演、学術プログラム、教育プログラム、社 交プログラムなどの基本的枠組みも全て決まっています。従 って、WCN2017に関してもJSNの自由になることは全くな く、まずWFNとJSN間で契約書を交わし、双方の代表者や AOAN会長からなる Congress Committees (CC) が立ち 上げられ、その下に Scientific Program Committee (SPC)と Education Program and Teaching Course Committee (TCC)がそれぞれ2名の共同委員長の下でWFN側、ISN側 (韓国、中国、香港の委員も含む)の委員が学術的な企画を行 いました。関連して、JSNでは大会長を委員長とし、SPC、 TCC、社交プログラム委員会、財務委員会、諮問委員会、 AOAC (Asia Oceania Advisory Committee) などの委員 長から成る実行委員会を中心に準備を進めました。他、途中







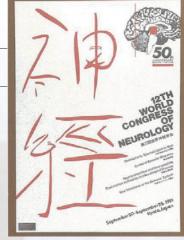


第23回世界神経学会議 会長・実行委員(委員長)・前日本神経学会代表理事 東京医科歯科大学名誉教授・国立精神・神経医療研究センター理事長

水澤 英洋



第12回世界神経学会の様子



第12回世界神経学会ポスター

からトーナメント準備委員会、アーカイブズ委員会にも加わっていただきました。また、忘れてならないのは第58回学術大会と合同開催としたことであり、JSN会員の参加や国内での企業寄付の獲得には大きく貢献したと思われます。

CCは関係者が集まりやすいWCN、各国代表によるWFN総会、米国AAN、欧州EANなどに合わせて何度も開催され、WCNに関するあらゆることを一つずつ議論して決めていくという手順を取りました。前述のようにすでに基本的枠組みは決まっておりますので、まさに内容が重要であり様々な議論と工夫をいたしました。例えば、ノーベル賞受賞者を3名揃え、日本語による教育講演を毎日3枠4日間に亘って実施、日本文化を感じられる様な社交行事の会場や内容、会場内での日本文化の体験教室、日本型の企業寄付の募集、若手・学生のシンポジウム、若手やアジア地区の発表者への奨学金など、粘り強い話し合いで理解を得て、こちらの希望は始ど実行することができたと思います。

1981年のWCNでは当時の皇太子殿下・妃殿下にご臨席いただきましたが、今回もその希望が叶い、秋篠宮殿下・妃殿下においでいただき開会式でお言葉を賜るとともに、WFNやその各地域代表、また実行委員会などJSN側関係者との懇談の場を設けることができました。共同主催いただきました日本学術会議には深く感謝する次第です。開会式では、ご後援いただいた厚生労働省、文部科学省、日本医学会、日本医師会にご祝辞をいただくとともに、地元の京都府知事、京都

市長にも来賓としてご参加いただきました。あらためて感謝 申し上げたいと存じます。

また、JSN事務局に加えて招致活動については日本コンベンションサービス社、準備活動についてはコングレ社の皆様にお世話になりましたし、京都文化交流コンベンションビュロー、京都国際会館にも全面的にご協力いただきました。9月17日に台風が直撃し、強風で会館のガラス壁がポスター会場に倒れ込むというハプニングがありましたが、一晩で修復していただいたことも懐かしい思い出です。その他、多くの皆様にご支援いただきました。あらためて心より感謝申し上げます。

結果として8617名という歴史に残る多数の方々にお出でいただくと共に、内外の多くの参加者から大変良い会議だったとのお褒めをいただきました。会長講演ではアジア・オセアニア地区の神経内科医にJSNへの入会、その学術大会への参加を呼びかけ、会期中に早速一人入会していただきました。

WCN2017は、当初の目的通りJSNが真にこの地域の中核的国際学会として飛躍するためのスプリングボードとして極めて大きな貢献をするとともに、アジア・オセアニア地区を中心として世界の神経学の発展に大きく寄与するものと確信いたしております。

このようなWCN2017の素晴らしい成果を次世代の皆様の 心にもしっかりと銘記していただくために、このアーカイブ ズ(報告書)を制作しました。JSNが北米や欧州のアカデミ ーと並ぶ中核的な国際学会として大きく発展し、世界に貢献 する第一歩をご覧いただければ幸いです。







WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



第23回世界神経学会議 実行委員(大会事務長)·招致委員長 日本神経学会代表理事 京都大学神経内科教授

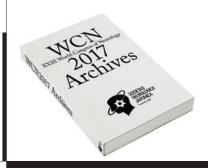
髙橋 良輔

2011年1月に梶 龍兒先生の後を受けて、国際対応委員長に就任、1年後の2012年1月には葛原茂樹先生からWCN2017招致委員長を引き継ぎ、2014年には代表理事に選出され、WCN2017の日本側の大会事務長を務めることになりました。

WCN2017には様々な立場で6年以上かかわってきたことになります。2013年には水澤英洋先生のご指導の下、日本神経学会の様々な先生方の国際的ネットワークに基づく力強いご支援を受けながら、松本理器先生と二人三脚で国際的選挙運動を展開しました。ウィーンでのWCN2017開催地決定の選挙結果発表で、"Kyoto"がコールされたときの感激は忘れることができません。選挙運動でも世界の多くの国々が日本に厚い信頼を寄せてくれていることを実感しましたが、本大会の成功でその信頼がさらに増したことを確信しております。WCN2017のために御尽力いただきました先生方に心より御礼申し上げます。



Opening Ceremony September 17, 2017

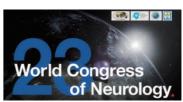


開会式 chapter2

September 17, 20.



開式の辞			
第23回世界神経学会議会長	7.	大澤	英洋
主催者挨拶			
日本学術会議会長	7	大西	M
母体団体代表挨拶			
世界神経学会連合会長	3	ラード	シャキ
秋篠宮殿下お言葉			
来實祝辞			
			->4- to
厚生労働副大臣	Ī	高木	美色
厚生労働副大臣	f	尹藤	洋-
厚生労働副大臣 文部科学審議官	f:	尹藤	洋一史曆
厚生労働副大臣 文部科学審議官 日本医学会前会長 日本医師会会長	信 者	尹藤 高久	洋一史曆
厚生労働副大臣 文部科学審議官 日本医学会前会長	信 者	尹藤 高久	洋一史曆
厚生労働副大臣 文部科学審議官 日本医学会前会長 日本医師会会長	信 者	尹藤 高久	洋一史曆







秋篠宮殿下 お言葉





It is a great pleasure for me to be with you all at this opening ceremony of the 23rd World Congress of Neurology, which is being held here in Kyoto, with a large attendance of over 8,000 participants from more than 115 countries and areas.

I believe it is extremely meaningful that a wide range of presentations and discussions on neurology will take place at this Congress under the theme of "Defining the Future of Neurology".

Neurology deals with many kinds of disorders of the brain and the nervous system, which control all of our mental and physical functions, including our muscular functions. Therefore a tremendous variety of neurological and neuromuscular disorders exist. And many of them are intractable, including neurodegenerative disorders like Parkinson's disease and Amyotrophic Lateral Sclerosis, and Creutzfeldt-Jakob disease as a representative example of prion diseases. In particular, dementia in today's aging society is considered to be a pressing issue, with over 46 million affected patients around the world. I have learned that the World Health Organization, and the World Federation of Neurology, the organizer of this Congress, are playing leading roles in global collaborations to improve the care and treatment of dementia through education and research.

Since the first Congress took place in 1931, neurology and the diagnosis and treatment of neurological disorders have made remarkable progress. However, there are still many illnesses and related disabilities that await the development of new methods of cure and treatment. It is my wish that this Congress will contribute to overcoming many neurological and neuromuscular disorders at the earliest possible date.

In concluding my address, I hope that this Congress will be a fruitful opportunity to exchange information for you all, and thereby lead to the further advancement of the World Federation of Neurology and its member societies.





10 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 11

開式の辞 Opening Address



第23回世界神経学会議会長 水澤 英洋

Prof. Hidehiro Mizusawa Congress President of XXIII World Congress of Neurology

Your Imperial Highnesses Prince and Princess Akishino, President Prof. Shakir, Ladies and Gentlemen.

On behalf of the Japanese Society of Neurology, it gives me great honor and pleasure to declare the 23rd World Congress of Neurology open.

World Congresses are biennial events of the World Federation of Neurology WFN which are hosted by national neurological societies such as ours. The congresses rotate across the world among the 120 member societies of the WFN.

Neurology is the medical speciality covering disorders of the brain, spinal cord, peripheral nerves and muscles. The nervous system controls and regulates all the functions of a human being. Therefore, we are dealing with hundreds of diseases such as dementia, stroke, epilepsy, infections and so on. The burden of these diseases is extraordinary and we neurologists carry huge and crucial responsibilities.

Although neurological diseases may have been difficult to treat previously, recent advances have been spectacular and continue to provide us with novel therapies as well as the chances of developing future ones. For example, nusinersen is the first drug approved to treat Spinal Muscluar Atrophy. An antisense oligonucleotide designed to treat the condition caused by mutations in chromosome 5q that lead to SMN protein deficiency; thus ushering the field of pharmacogenomics.

In 1981, 36 years ago, we hosted the 12th WCN here at the exactly same venue with 2,666 participants from 66 countries. The meeting was attended by His Imperial Highnesses Crown Prince and Princess Akihito. The congress greatly contributed to the development of Neurology in Japan and Asia.

Following vast improvements since 1981, I am quite sure this WCN 2017 with the presence of Your Imperial Highnesses Prince and Princess Akishino will again serve as a springboard to strongly advance both scientific and clinical aspects of the world Neurology, thus "Defining the Future of Neurology".

Kyoto, famous for its rich history and culture, is a major part of Kyoto-Osaka-Kobe metropolitan area located in the central part of the main island of Japan. A former imperial capital with more than 1,200 years of history, Kyoto is a living museum with a fifth of Japan's registered national treasures along with 17 UNESCO World Heritage sites, unmatched anywhere else in the world.

Please enjoy the scientific content of the congress and your stay in wonderful Kyoto.

Thank you.

主催者挨拶 Greetings from the Co-Organizer



大西 隆

Prof. Takashi Onishi President of the Science Council of Japan

Your Imperial Highnesses Prince and Princess Akishino, Your Excellency, Ms. Michiyo Takagi, State Minister of Health, Labour and Welfare, Distinguished Guests, Ladies and Gentlemen.

It is my great honor to deliver an address as a co-organizer at the Opening Ceremony of 23rd World Congress of Neurology, in the presence of Their Imperial Highnesses Prince and Princess Akishino.

Taking this opportunity, I would like to express my sincere thanks to Prof. Hidehiro Mizusawa, Congress President, 23rd World Congress of Neurology, and Prof. Raad Shakir, President of World Federation of Neurology, who really contributed to the great success of this Congress.

Science Council of Japan is a representative institution of Japan's scientific communities in all kinds, from Humanities to Engineering, including Life Sciences and Physical Sciences. Our primary purpose is to develop and advance scientific outcomes to ensure that the science is reflected in, and infiltrates policy making, industry, and people's lives.

Since its establishment in 1949, with a view of promoting international exchange in science, we have deepened our ties with research institutions worldwide by hosting international conferences in Japan and dispatching researchers to conferences held abroad.

We are very pleased to host this international congress and welcome participants from many countries and regions.

I understand Neurology covers hundreds of diseases of the brain, nervous system and muscle such as dementia, stroke, epilepsy, muscular dystrophy and so on. These diseases cause various signs and symptoms as well as disabilities. Therefore I think Neurology is a very wide and important specialty of medicine particularly in the contemporary society which is aging rapidly. In other words, Neurology is essential for long and healthy life.

As a co-organizer I hope that there will be intense discussions crossing national and regional boundaries on significant research topics, future perspectives, and international collaborations.

I am also delighted that this congress will be an occasion to share the meaning and importance of Neurology with the society through the general public forum.

Before closing my welcome address, I would like to express my wish for the full success of this congress. In addition, I hope that your stay in Kyoto, and in Japan, will be enjoyable and memorable, and will foster a fine understanding of Japan.

Thank you for your attention.

母体団体代表挨拶 Greetings from Representative of the Mother Organization



ラード シャキール

President of World Federation of Neurology

Your Royal highnesses Prince and Princess Akishino. Professor Mizusawa, Ladies and Gentlemen.

The World Federation is 60 years old since its establishment in Brussels in 1957. When Ludo van Bogaert was elected as first president, Shigeo Okinaka from Japan was elected as one of four Vice Presidents. As a background the sites of world congresses are decided by open competition with voting of all WFN member societies. It is therefore more poignant that the WFN delegates voted to come back to Kyoto this year. This only demonstrates the trust and popularity of all world delegates in the abilities and scientific standing of the Japanese Neurological Society.

It is the first and probably the last occasion when the WCN is not only held in the same city but in the same venue. I was privileged to attend the first in 1981, when the then Crown Prince Akihito with Princess Machiko opened the congress. They had an informal walk in the grounds being greeted by world neurologists. It was an unforgettable experience.

We are a Federation of 120 national neurological societies with more than 60,000 neurologists. We pride ourselves in our ability to integrate neurologists from all backgrounds and continents. The biennial World Congresses are a must attend event for all those in our field. It is most noticeable that the age of attendees is getting significantly younger in recent congresses. Congresses not only enrich national and regional societies but also open a window for the world to look at what is happening in a particular country. With the tireless work of our Japanese colleagues the window is wide open.

The WFN main mission is to promote neurology across the globe and this is done in several ways mainly through training and education. We are now proud to have four training centers in Africa, one in Mexico and hopefully following this congress one or two in Asia. Training young neurologist in their regions with funding from WFN and other major partner societies is one of our main tasks. Our grants committee is active in supporting neurological research from across the world. We are also grateful to member societies for their financial support to those from low-income countries in many aspects of training.

We are confident that the hard work of the JSN will be rewarded in a magnificent and memorable congress.

Thank you.

来賓祝辞 Congratulatory Address



高木 美智代

Ms. Michiyo Takagi State Minister of Health, Labour and Welfare

Your Imperial Highnesses Prince and Princess Akishino, Distinguished guests, Ladies and Gentlemen,

I am deeply honored to convey my remarks on this occasion of the 23rd World Congress of Neurology, in the presence of their Imperial Highnesses Prince and Princess Akishino.

This Congress was firstly held in Switzerland in 1931. Japan hosts this Congress for the second time, since 12th congress in Kyoto 36 years ago.

I warmly welcome you all, with my deepest respect for everyone contributed to organize this Congress.

While Japan's life expectancy is the world's longest, our population is rapidly ageing, and will face super- aged society. Japan, as a pioneer, tackles ageing issues, hoping our experience would contribute globally.

Besides, neurological diseases including dementia are unignorable challenges. Neurology, especially in a clinical, has been amazingly promoted over the past dozen years.

In addition to the initiative of the National Center of Neurology and Psychiatry, the Government of Japan has been extending supports for patients of various neurological diseases.

I sincerely expect further progress of medicine, by utilizing advanced technology such as iPS cells, robots and Artificial Intelligence.

Furthermore, the Government of Japan launched "the Comprehensive Strategy to Accelerate Dementia Measures" in January 2015, to support whole life of people with dementia, aiming to start clinical trial of disease modifying therapies for dementia by 2020.

I believe this Congress and exchanging information among around 7,000 participants would enormously contribute to advancement of neurology.

I wish this Congress a significant success and further progress.

Thank you.

14 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 15

来賓祝辞 Congratulatory Address



文部科学審議官 伊藤 洋一

Mr. Yoichi Ito Deputy Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

Your Imperial Highnesses Prince and Princess Akishino, Distinguished Guests, Ladies and Gentlemen,

We are very pleased that the 23rd World Congress of Neurology is being held with the attendance of so many distinguished participants, and we are particularly graced by the attendance of Their Imperial Highnesses Prince and Princess Akishino.

This congress is the only authoritative international congress in the field of neurology. It has been contributing to the development of global neurology through not only the progress of individual research but also the promotion of international cooperation by bringing together world-class researchers from various fields in neurology under the same roof.

I would like to express my sincere appreciation to Prof. Mizusawa, the Organizing Committee of the Congress and the Science Council of Japan for their great efforts to organize and hold the Congress in Japan.

With the transition to an aging society in many countries, a common challenge for us is overcoming psychiatric and neurological disorders such as dementia. At the G7 Ise-Shima Summit held in Japan last year, the G7 recognized the importance of further accelerating interdisciplinary research efforts related to fundamental aspects of brain functions and developing new technologies through international collaboration.

In this context, MEXT is considering strategies and measures for promoting brain science research looking ahead to international cooperation to achieve our global common goals. These include finding out the operating prin-

ciples of the human brain at the neuron level and realizing the early detection and intervention for psychiatric and neurological disorders. MEXT intends to contribute to the making of a society in which people enjoy long and healthier lives, through various research and development in this field.

In closing, I would like to extend my best wishes to you for the success of the Congress and for the further development of neurology through the creation of new knowledge.

Thank you.

来賓祝辞 Congratulatory Address



日本医学会幹事 稲垣 暢也 (日本医学会前会長 高久 史麿様のスピーチを代読)

Nobuya Inagaki Executive Secretary of the Japanese Association of Medical Sciences (On behalf of Prof. Fumimaro Takaku, Former President of the Japanese Association of Medical Sciences)

Your Imperial Highnesses, ladies and gentlemen, may I extend my congratulations on this occasion of the 23rd World Congress of Neurology in Kyoto.

My name is Fumimaro Takaku, and I am the former President of the Japanese Association of Medical Sciences. Thirty-six years ago, the 12th World Congress of Neurology was held here at the Kyoto International Conference Center in the presence of the then Crown Prince and Princess, now their Majesties the Emperor and Empress of Japan. Young participants at that meeting were greatly inspired by the opportunity it gave them to meet neurologists from around the world, and have gone on to become leaders in their field in nations worldwide. The meeting was also a major impetus for the development of neurology in Japan, which at that point was still in its infancy.

Common neurological diseases such as dementia, stroke and epilepsy that fall within the domain of neurology, are increasingly posing a major burden on society as the population ages. The struggle against neurological infections is also becoming more acute, and immune neurological diseases are also increasing. We are also halfway through understanding the causes and mechanisms of intractable neurological diseases, chiefly neurodegenerative conditions

However, astonishing advances in anticoagulant therapy and endovascular treatment have dramatically improved treatment outcomes for stroke. A succession of innovative treatments for Alzheimer's disease and neurodegenerative conditions is also appearing, including antibody therapy, nucleic acid therapeutics, iPS cells, and gene editing techniques, thus steady progress is being made in the development of treatments for neurological disorders in general.

It is my hope that the 23rd World Congress of Neurology, which is bringing together wisdom from around the world, will add major impetus to the conquest of neurological disorders, and that true to the theme of the conference, it will help define the future of neurology.

来賓祝辞 Congratulatory Address



日本医師会会長 **横倉 義武** Prof. Yoshitake Yokokura President of Japan Medical Association

On behalf of the Japan Medical Association, I would like to make a few remarks at the opening of the 23rd World Congress of Neurology.

The Japanese Society of Neurology has grown as a leader of treatment and care of neurological diseases, responding to the demands of the society for over 115 years since its establishment. I truly respect the enormous efforts made by all the members involved over the years.

The 12th WCN in Kyoto in 1981 served as an opportunity to draw the attention of the members of the Japanese Society of Neurology to the world, and today, this WCN has again taken place in Kyoto under the theme of "Defining the Future of Neurology" will deliver latest progress in neurology from Japan to the world. I believe it will contribute to the further globalization of the Japanese Society of Neurology.

We now stand in the time of reform called an aged society. As we turn our eyes to the present and the future, physicians must return to the original mission of healthcare and create and maintain a society in which people enjoy long and healthy lives. This is a big challenge that all countries across the world need to work on, although the speed of the work may differ among countries.

In our country, it is recognized that the aging of the population is progressing rapidly, and age-related brain disorders, such as dementia and cerebrovascular disorder, have been steadily increasing. Expectations for the field of neurology, which will act as the main driving force in the study of neurological disease, will also continue to increase, and overcoming brain diseases is one of the top-priority issues we must face in order to build a society with healthy longevity.

In anticipation of an aged society, the World Medical Association (WMA) is discussing various problems related to end-of-life care as a global challenge. As President-elect of the WMA, I am strongly driven to tell the world about the Japanese healthcare system and our know-how that has succeeded in bringing up the national health to the world's top level, so that healthy longevity can be enjoyed globally.

I hope this six-day event of international exchange will significantly contribute to the development of neurology through mutual learning and useful exchange of information among the participants, and that it will help deepen the friendship and goodwill among them.

I would like to express my sincere wishes for the continuing growth of the World Congress of Neurology and the success of every participant.

Thank you very much.

内閣総理大臣メッセージ Message from Prime Minister

内閣総理大臣 安倍 晋三

Shinzo Abe Prime Minister of Japan

Your Imperial Highnesses Prince and Princess Akishino, your excellencies, distinguished guests.

I am pleased to extend a very warm welcome to all participants from around the world on this occasion of the opening ceremony of XXIII World Congress of Neurology in Kyoto.

I am honored that the congress is being held under the joint sponsorship of Science Council of Japan and Organizing Committee for XXIII World Congress of Neurology, graced by the presence of Their Imperial Highnesses Prince and Princess Akishino.

I hope that this international congress for advancement in the field of Neurology will be a great success.

閉式の辞 Closing Address



第58回日本神経学会学術大会大会長宇川義一

Prof. Yoshikazu Ugawa President of the 58th Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology

Your Imperial highnesses, prince and princess Akishino, your excellencies, distinguished guests, ladies and gentlemen

On behalf of World Federation of Neurology and Japanese Society of Neurology, it is my great pleasure to close this opening ceremony.

Thank you for attending this opening ceremony and very warm, encouraging messages for our meeting.

I am certain that we will have great success of this meeting. The great, hot news I have now is that the total registration number is more than 8100 in the morning today. This number is the biggest in WCN and also annual meeting of JSN.

Another big news I would like to say is that the great power of Dr Mizusawa, the president of this meeting, changed

the course of typhoon to escape the direct attack of this venue.

Our friends from abroad and Japan, welcome to the meeting, I appreciate it you will enjoy the scientific contents of the meeting we serve, high quality Japanese culture and also appreciate it if you will create new friendship between the participants or strengthen old friendship between us. It is another purpose of the international meetings like WCN.

Finally, Now, I announce the opening of 23rd World Congress of Neurology and 58th Annual Congress of Japanese society of Neurology.

Let's enjoy the meeting for a week.

Thank you for your attention.

WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



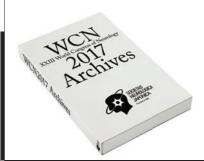
WCN2017の成功を讃え、 更なる発展を期待する

第23回世界神経学会議 諮問委員·招致委員長 元日本神経学会代表理事 三重大学名誉教授·鈴鹿医療科学大学医療科学研究科長

葛原 茂樹

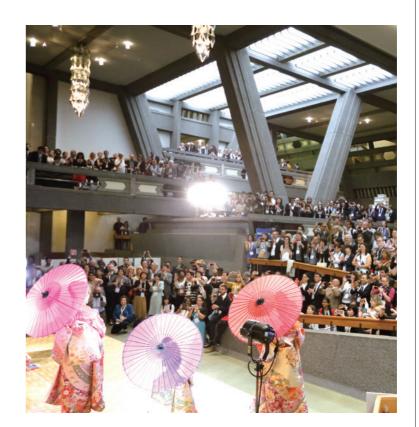
第23回世界神経学会議は、世界各国・地域から史 上最多の8600余名の参加者(国外からは3500余名) を迎えて成功裡に閉幕した。水澤会長と関係諸氏・ 機関に大きな賛辞を送りたい。公用語は英語で、講 演、司会、運営の担当者の多くは日本人であったが、 極めて円滑に進行して活発な討論が行われ、日本神 経学会(JSN)と会員の国際的成熟を実感した。1981 年に京都で開催された第12回世界神経学会 (WCN1981)は、1960年に創設されたJSNが発展 途上段階から世界の神経学のレベルに達したことを 披露し、国外参加者から多くを学ぶ場であったのに 対して、WCN2017はJSNが質と量の両面で世界の 神経学を支える柱の一つに成長したことを、内外の 参加者に強く印象付けた(国内からの参加者は1103 名から5098名に増加)。招致については、前回は実 現まで9年かかり、立候補表明から3回目の世界神 経学連合(WFN)総会でやっと実現したのに対して、 アジア地域開催の今回は、JSNの国際的地位の確立 と学会あげて展開した国際的アピールが奏功し、韓 国と香港を押さえて速やかに選出された。この成功 を基に、次は世界の神経学を先導する研究力と世界 で活躍する専門医育成を目標に、更なる発展を期待 したい。

Welcome Reception September 17, 2017



chapter3





20 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 21

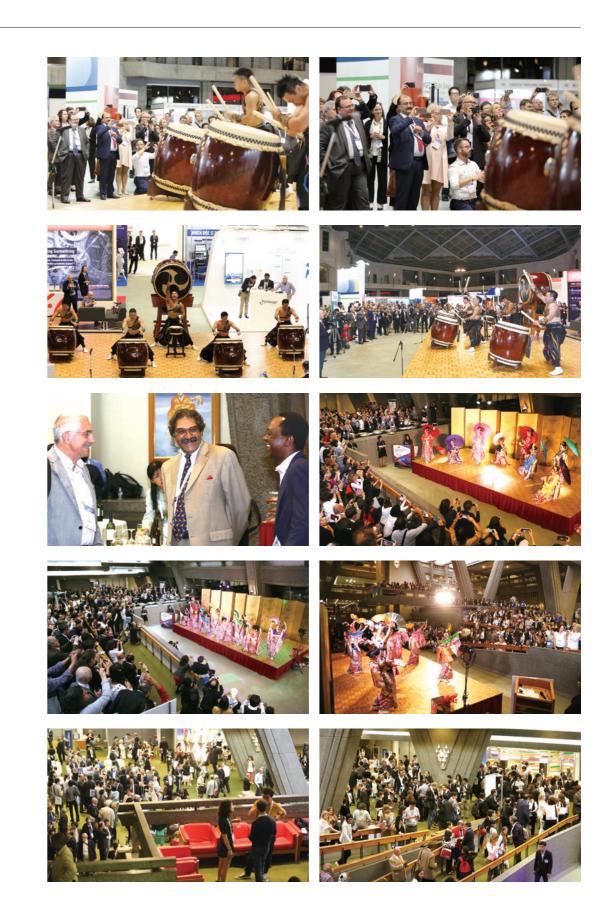
歓迎レセプション Welcome Reception (Sunday, September 17)











歓迎レセプション Welcome Reception (Sunday, September 17)



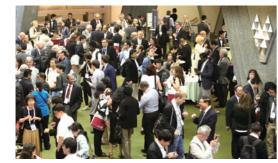














WFN Medals Presentation and Presidential Symposium September 18, 2017

chapter4

WFN 表彰式 会長講演













24 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 25

WFN表彰式 WFN Medals Presentation (9:00-9:20 Monday, September 18)

MEDAL FOR SERVICES TO INTERNATIONAL NEUROLOGY JUN KIMURA, Japan / USA







MEDAL FOR SCIENTIFIC ACHIEVEMENT IN NEUROLOGY ANGELAVINCENT, UK







LIFETIME ACHIEVEMENT AWARD JAGJIT CHOPRA, India





Chopra教授のビデオメッセージ

ソリアーノ賞受賞講演 Soriano Award Lecture (9:20-10:05 Monday, September 18)

GRID CELLS AND THE MEDIAL - ENTORHINAL SPACE NETWORK

Edvard Ingiald Moser

Kavli Institute for Systems Neuroscience, Trondheim, Norway











The medial entorhinal cortex is part of a neural system for mapping of self-location. One of the first components to be detected in this internal map was the grid cell. Grid cells fire electric impulses when animals are at particular locations that together tile the environment in a periodic hexagonal pattern, like in a Chinese checkerboard. The medial-entorhinal circuit of grid cells was soon found to include a wider spectrum of functional cell types, such as head direction cells, speed cells, and border cells, intermingled among the grid cells. In this lecture, I will show that additional specialized cell types are present when spatial behavior is tested in environments with salient objects or landmarks. A subset of medial entorhinal cells fires in a vector-like manner at distinct distances and directions from objects inserted in the recording enclosure, irrespective of where in the enclosure the object is located, and irrespective of the identity of the object. I will next show that grid cells retain spatial relationships not only across recording environments but also from awake exploration to sleep, consistent with the idea that grid cells, and the entorhinal network as a whole, are part of a network-generated attractor-like representation of local space. I will discuss possible roles of inhibitory networks in this representation and show that different functional cell types may be regulated by distinct classes of GABAergic interneurons. Finally, I will discuss how the entorhinal-hippocampal navigational circuit evolves during the formation of the nervous system during the first weeks and months of life and I will discuss how immaturity of the circuit at early developmental stages may influence properties of medial entorhinal cell types.

WCN2017会長講演 Presidential Symposium (10:05-10:20 Monday, September 18)

DEFINING THE FUTURE OF NEUROLOGY-JAPAN, ASIA AND OCEANIA

Hidehiro Mizusawa

National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan



On behalf of the Japanese Society of Neurology (JSN) and Local Organizing Committee, we are very proud to host the 23rd World Congress of Neurology (WCN) 2017 in Kyoto. In 1902 the old Japanese Society of Neurology (JSN) was established by neurologists and psychiatrists but neurological activity appeared to decline and JSN changed its name to the Japanese Society of Psychiatry and Neurology (JSPN) in 1935. After the World War II, Japanese neurologists stimulated by new information of neurology wanted their own society independent of JSPN and were finally successful to establish the Japanese Society of Clinical Neurology in 1959 thanks to great support of the World Federation of Neurology (WFN) and others. The Society's name returned to JSN in 1963 and the new JSN has evolved into a large society currently with 8,770 members.

From the beginning, the new JSN has pursued international contribution and called on our friends in Asia and Oceania to establish Asian and Oceanian Association of Neurology (AOAN) in 1961 and hosted the 1st Asian and Oceanian Congress of Neurology (AOCN) at Tokyo in 1962. Then, it was the 12th WCN held at Kyoto in 1981 that greatly contributed particularly to the development of JSN and AOAN. This time, I am very sure WCN 2017 held at the very same venue will again serve as a springboard to strongly advance the Asia Initiative of WFN for world-wide advancement of neurology in both scientific and clinical aspects, thus "Defining the Future of Neurology".

WFN会長講演 Presidential Symposium (10:20-10:40 Monday, September 18)

GLOBAL NEUROLOGY CHALLENGES AND WAY FORWARD

Raad Shakir

Imperial College London, Brain Sciences. London, United Kingdom



We live in exciting times. There has been so much achieved in our specialty and excitingly there is much ahead. Our spectrum is now vast we are in the eyes of our peers in medicine in general, the most active performers in major illnesses with clear participation in diagnosis and management on one side and at the forefront of scientific research into neurodegenerative diseases, dementia and non communicable diseases on the other. Our role is pivotal and crucial.

Over the last six decades since our federation was established there has been cataclysmic changes in medicine particularly in Neurology. The WFN has a central role in education at various levels across the world. The planning has been precise and the execution is so far rewarding. Our accredited training centers are now not only in Africa but branching to Central America and soon in Asia.

Our goals have steadfastly moved us forward and will continue to do so. Bringing Neurology to the forefront of medical education. Our educational activities have already come to fruition producing trained neurologists in economically deprived parts of the world. There is no better outcome than this on our sixtieth birthday.

WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



Impressions from the World Congress of Neurology 2017 in Kyoto, Japan

Secretary-General, World Federation of Neurology Professor, Department of Neurology, KFJ Hospital, Austria

Wolfgang Grisold

The World Congress of Neurology 2017 (WCN), in Kyoto was an outstanding and well-organized event, which was very successful for the Japanese Society, for the WFN and for the regional and global neurology.

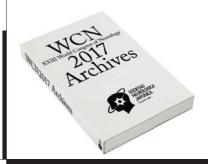
From the beginning of the organization of the WCN the Japanese Society of Neurology was very helpful, structured and engaged to make this congress an excellent event. This positive spirit and interaction continued throughout the whole phase of preparation and culminated in the excellently organized congress.

The congress in all aspects, as expected, was smoothly organized and executed. The quality of the scientific meetings, the poster session and all other scientific topics including the teaching courses were well-organized and well attended and provided space and opportunities for interaction.

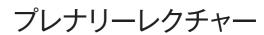
The city of Kyoto, and the congress site was well chosen and technically flawless in regard to rooms, AV and audio and also orientation. The participation of many Japanese delegates, who not only participated in the WFN congress but also had their own Japanese sessions which were seamlessly integrated into the whole programme, proved that the concept of the integration of the Japanese neurologists was very good. Needless to say, that networking events and social events were very well organized and aimed to bring the Japanese spirit to the visitors.

The WFN is grateful for this great success, which was achieved in this excellent partnership, and will continue to have an impact on the region.

Plenary Lecture September 17-21, 2017



chapter5























プレナリーレクチャー1 Plenary Lecture 1 (8:00-8:45, Sunday, September 17)

FULTON AWARD LECTURE – MONITORING AND ENGINEERING MEMORY ENGRAM CELLS AND THEIR CIRCUITS

Susumu Tonegawa

Massachusetts Institute of Technology, The Picower Institute for Learning and Memory, Cambridge, USA



Abstrac

Identification of engram cells and their circuit for a specifics memory has led to new insights into the cellular and neural circuit mechanisms for memory encoding, retention, and retrieval. Upon learning, a series of neuronal subpopulations, each residing in distinct brain regions, are activated due to rapid increase of synaptic strength, and their new pattern of connectivity is established through rapid formation of new spines/synapses. While this connectivity between engram cell populations is crucial for memory retention, late LTP-type synaptic strengthening seems important for efficient retrieval of the retained memory.

We have investigated the systems consolidation of episodic memory by applying engram and optogenetic technologies. The results indicate that the PFC engrams for remote memory are formed rapidly on day 1 of learning. However, these PFC engrams are inactive in the sense that they cannot be re-activated by natural cues for memory retrieval. The "silent" PFC engrams undergo slow maturations during the following few weeks with the aid of input from hippocampal engram cells via the deep layer of the medial entorhinal cortex. Conversely, the hippocampal engram cells formed rapidly on day 1 de-mature slowly and become silent. For contextual fear memory, an active engram is rapidly formed in BLA and remains active throughout the systems consolidation, but there is a switch in the route through which recall cues are delivered: through the hippocampal-entorhinal circuit at recent times and through PFC engram cells at remote times. This study identified the engrams and neural circuits crucial for systems consolidation of a memory.

プレナリーレクチャー2 Plenary Lecture 2 (8:45-9:15, Sunday, September 17)

PRECISION MEDICINE IN TBI: LESSONS FROM DOPAMINERGIC TREATMENT OF COGNITIVE IMPAIRMENT

David Sharp

Imperial College London, The Computational- Cognitive and Clinical Neuroimaging Laboratory C3NL, London, United Kingdom



Abstra

Developing new treatments for traumatic brain injury (TBI) is challenging. A major difficulty is the heterogeneity of injuries produced. To maximise treatment benefits we need a precision medicine approach. Treatments should be targeted to subsets of patients who share a common biological basis for their post-traumatic impairments. Damage to neuromodulatory neurotransmitter systems are common after TBI, providing a biological basis for on-going cognitive impairment. Defining the extent of this disruption hold the promise guiding targeted treatment. I will discuss this hypothesis in the context of the results of a clinical trial where dopaminergic molecular imaging was used to predict the cognitive effects of methylphenidate. Objectives were to test: 1) whether treatment with methylphenidate improves cognition following TBI; and 2) whether brain dopamine levels predict the magnitude of any improvement in symptoms. 40 moderate-severe TBI patients with persistent cognitive impairments were randomized into a double-blind, placebo controlled, crossover design study. 123I ioflupane SPECT scan (DaTscan), detailed MRI and neuropsychological testing were performed. Dopaminergic abnormalities were common after TBI, most consistently seen in the caudate, and were related to damage in the nigrostriatal system. Methylphenidate did not generally improve cognition. However, patients with low 123I ioflupane SPECT binding showed a significant information processing speed improvements on methylphenidate in contrast to patients with normal scans. The results show that patients 123I ioflupane SPECT scanning predicts response to treatment with methylphenidate after TBI and demonstrates that identifying underlying biological basis for cognitive impairment can facilitate a targeted treatment approach to cognitive enhancement.

プレナリーレクチャー3 Plenary Lecture 3 (8:00-8:30, Monday, September 18)

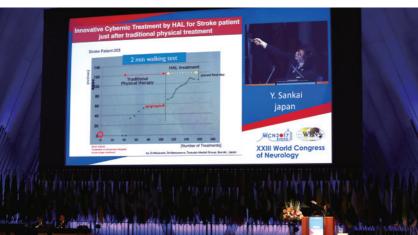
INNOVATIVE CYBERNIC INTERFACE IN NEUROLOGY

Yoshiyuki Sankai

Center for Cybernics Research, University of Tsukuba, Japan







Yoshiyuki Sankai is a professor and Executive Research Director at the Center for Cybernics Research, University of Tsukuba; the President and CEO of CYBER-DYNE, INC.; and a Program Manager of the Impulsing Paradigm Change through Disruptive Technologies ("ImPACT") program, which was initiated by the Council for Science, Technology and Innovation ("CSIT") of the Cabinet Office in Japan. He is a fellow of the Robotics Society of Japan ("RSJ") and the Society of Instrument and Control Engineers ("SICE"). He also served as Chairman and an Executive Board Member of Advanced Robotics. He is a member of Global Future Council on Human Enhancement of the World Economic Forum.

Technology Pioneer (World Economic Forum), Gold Prize of 2014 Edison Awards, DealWatch Awards 2013 IPO of the Year (Thomson Reuters), DealWatch Awards 2014 Innovative Equity Deal of the Year (Thomson Reuters), The 2016 DIA Japan Outstanding Contribution to Health Award, the 7th Robot Award (Ministry of Health, Labour and Welfare award), and the Prime Minister's Award (the third Nippon Venture Awards) in 2017.

プレナリーレクチャー4 Plenary Lecture 4 (8:30-9:00, Monday, September 18)

NEUROLOGY DISEASES GLOBAL BURDEN

Valery Feigin

National Institute for Stroke and Applied Neurosciences, AUT University, Auckland, New Zealand







Dr Valery Feigin graduated in medicine from the Novosibirsk Medical University, Russia, and undertook advanced training in neurology and clinical epidemiology in Mayo Clinic, Rochester, MN, USA and Erasmus University, Rotterdam, The Netherlands. Professor Feigin's prime research interest is in the epidemiology, prevention and management of stroke and traumatic brain injury. He has published over 500 research articles in leading international and local medical journals, and eleven stroke handbooks (as of April 2017, according to Scopus his publications were cited over 21,000 times; h-index 46). Professor Feigin is Editor-in-Chief of the journal Neuroepidemiology and a member of the Editorial Boards of 10 international medical journals. Since 2009 he leads the Stroke Experts Panel of the Global Burden of Disease Project. These GBD data have changed our understanding of the modern stroke epidemiology in the world. He is also a Director of the Board of Directors of the World Stroke Organization and a member of the Advisory Working Group on Stroke for the WHO ICD-11 version. In October 2014 he was awarded the World Stroke Organization President's Award for outstanding contribution to stroke research. For his contribution to stroke epidemiology and Stroke Riskometer development, in 2015 he was awarded the McDiarmid Medal of the Royal Society of New Zealand.

34 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 35

プレナリーレクチャー5 Plenary Lecture 5 (8:00-8:30, Tuesday, September 19)

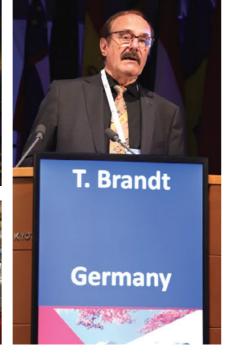
MASLAND AWARD LECTURE - SPATIAL NAVIGATION MECHANISMS OF THE BRAIN

Thomas Brandt

Munich Center for Neurosciences, Ludwig-Maximilians University Munich, Germany









 $Thomas\ Brandt\ is\ Professor,\ Dept.\ Neurology\ and\ Regular\ member\ MCN,\ GSN\ core\ faculty.$ His research focus is vertigo, sensorimotor control of eye movements and posture, functional imaging and computational neuroscience.

プレナリーレクチャー6 Plenary Lecture 6 (8:30-9:00, Thursday, September 19)

NEUROLOGICAL MANIFESTATIONS OF CONGENITAL ZIKA SYNDROME

Andre Pessoa

Hospital Infantil Albert Sabin / Universidade Estadual do Ceará- UECE, Pediatric Neurology / Neurogenetics, Fortaleza, Brazil









Abstract: In the summer of 2015, several months after the Zika virus (ZIKV) epidemic was recognized in northeastern Brazil, pediatric neurologists and obstetricians noticed an increased number of fetuses with malformations and the Brazilian Ministry of Health soon reported that the birth prevalence of microcephaly had increased from 0.6 to 2.8 per 10,000 live births in regions reporting ZIKV transmission. At the Hospital Infantil Albert Sabin, Fortaleza-Brazil, we have accompanied 107 patients with Congenital Zika Syndrome, 91 with congenital microcephaly and 16 who were born with normal head circumference and evolved with postnatal microcephaly. Our data demonstrate features of both fetal brain disruption and primary cortical malformation, and define the nature and spectrum of the disorder and five important points that together comprise a recognizable pattern of disruption and malformation when seen together strongly support a diagnosis of congenital

- (1) prenatal exposure to ZIKV carries a high risk of causing fetal anomalies including fetal brain disruption sequence, especially during the first and second trimesters, and that the risk may be higher among mothers with symptomatic ZIKV infections;

 (2) severe microcephaly with partially collapsed skull; thin cerebral cortices with subcortical calcifications; enlarged ventricles at birth but in 15 cases there was
- evolution to increase dilation and hypertensive hydrocephalus.

- (3) macular scarring and focal pigmentary retinal mottling;
 (4) congenital contractures and the occurrence of arthrogryposis
 (5) marked early hypertonia and symptoms of extrapyramidal involvement, with global neuropsychomotor development delays and incidence of epilepsy in about

36 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 37

プレナリーレクチャー7 Plenary Lecture 7 (8:00-8:30, Wednesday, September 20)

NEUROLOGY ATLAS

Tarun Dua

Department of Mental Health and Substance Abuse at the World Health Organization, Switzerland







Profile

Dr. Tarun Dua is a medical officer working on the Program for Neurological Diseases and Neuroscience, Management of Mental and Brain Disorders in the Department of Mental Health and Substance Abuse at the World Health Organization. In this role Dr. Dua serves as the liaison between the WHO and the International League Against Epilepsy, provides expert advice on the formulation and implementation of the Global Campaign Against Epilepsy (GCAE) worldwide, and assists in the development and updating of a plan of action for the GCAE. She is currently the technical focal point responsible for all activities concerning neurology within the organization.

プレナリーレクチャー8 Plenary Lecture 8 (8:30-9:15, Wednesday, September 20)

RECENT PROGRESS IN IPS CELL RESEARCH AND APPLICATION

Shinya Yamanaka

Center for iPS Cell Research and Application (CiRA), Kyoto University, Japan







Abstract

Induced pluripotent stem cells (iPSCs) can proliferate almost indefinitely and differentiate into multiple lineages, giving them wide medical application. As a result, they are being used for new cell-based therapies, disease models and drug development around the world.

In 2014, the world's first clinical study using iPSCs began for the treatment of age-related macular degeneration (ARMD). iPSC studies have also made major progress for other disorders, giving expectation that iPSC-based regenerative medicine will be widely used in the near future. To push these efforts, we are proceeding with an iPSC stock project in which clinical-grade iPSC clones are being established from donors with a homologous HLA haplotype, which is associated with decreased immune response and less risk of transplant rejection. Most recently, a clinical study using our iPSC stock and differentiated retinal pigment epithelium is being conducted for an ARMD patient.

Other applications of iPSCs are drug screening, toxicity studies and disease modeling. Additionally, iPSCs may be resourceful for preventative measures, as they make it possible to predict the patient condition and provide preemptive treatment. Finally, accumulating evidence is demonstrating the benefits of iPSCs in drug repositioning. Indeed, Bosutinib, a drug for leukemia was revealed to be efficacious for the treatment of amyotrophic lateral sclerosis using a disease model established from patient-derived iPSC.

プレナリーレクチャー9 Plenary Lecture 9 (8:00 - 8:30, Thursday, September 21)

SINGHAL AWARD LECTURE - TARGETED THERAPIES FOR DOMINANT ATAXIAS

Stefan Pulst

University Utah, Salt Lake City, Utah, USA







Stefan M. Pulst is professor and chair of the Department of Neurology at the University of Utah in Salt Lake City. Research in the Pulst laboratory focuses on inherited diseases of the nervous system with an emphasis on spinocerebellar ataxias, ALS, and Parkinson disease. The overall goal of his research is to proceed from gene identification in human pedigrees to modeling of the disease in vitro and in rodents. His group is pioneering antisense oligonucleotide-based therapies for these disorders. Pulst has received numerous awards, most recently the George C. Cotzias award from the American Academy of Neurology and a Senator Jacob Javits Award for Neuroscience from NINDS. Pulst was chair of the AAN Science Committee from 2006 to 2011 and now chairs the AAN Meeting Management Committee. He is also the founding editor of Neurology® Genetics.

プレナリーレクチャー10 Plenary Lecture10 (8:30-9:00, Thursday, September 21)

PHYSICIAN WORKPLACE STRESS - IS IT ONLY AN AMERICAN PHENOMENON?

Terrence Cascino

Mayo Clinic, Rochester, Minnesota, USA









Physician burnout is a common occurrence in US physicians. In studies by the American Academy of Neurology, neurologists have been found to have amongst the highest rates of burnout and worse work life balance. Burnout effects over 60% of AAN members and appears to be worsening. Causes include regulatory burdens put on US physicians by governmental agencies, insurance companies, and others. A lack of autonomy in practice, inadequate support staff, burdens of electronic medical record systems are frequent issues. Mitigation attempts of burnout include enhancing individual resilience, making practices more efficient and effective, and advocating for Physician-friendly national policies that decrease regulatory burden and mandated clerical tasks. Is this burnout phenomena a universal problem in medicine or something unique to the US system? Anecdotally burnout appears common worldwide but there is little comparable data.. In a study of Irish of physicians 33% showed evidence of burnout citing 'long work hours and a poor work life balance'. A study of Chinese neurologists found a high burnout rate similar to US neurologists. Causes included low income, high nights on call, high stress levels, and working in 'enterprise owned' hospitals. The worldwide scope of neurologist burnout is not known but it is highly likely to be a frequent phenomena world wide. The causes are also not clear but it probably is not exclusive to a specific type of healthcare system. Possible next steps and mitigation efforts will be reviewed

WCN2017 Archives 41 40 WCN2017 Archives

WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



第23回世界神経学会議 諮問委員·元日本神経学会理事長 東京大学名誉教授·三井記念病院名誉院長

萬年徹

第23回世界神経学会議が盛大に、京都で開催されたことは誠に喜ばしいことであった。この会議がわが国で開催されるのは2回目である。1900年代までは、この会議は欧米諸国で開かれるのが常であったが、故沖中教授が是非日本で開催したいと熱望されておられた。

1977年、アムステルダムでの会議の席上、1981年には日本で、それも京都で開催されることが決まったのであった。これは、わが国から多くの神経学的研究が発表され、わが国の神経学が世界的に認められたためと考えられる。しかも、東洋でこの会議が開かれるのは最初のことであった。

その後、わが国の神経学の発展は素晴らしいのは、ここで申すまでもない。その発展を基礎に、国際的にも一流の内容を提供できるプログラムにより、2017年に第23回の会議が成功裏に開催されたのは、なによりも喜ばしいことであった。これに甘えることなく、今後のわが国の神経学の発展を望んでやまない。

WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



第23回世界神経学会議 諮問委員·元日本神経学会理事長信州大学名誉教授·国立中部病院名誉院長全日本労働福祉協会会長

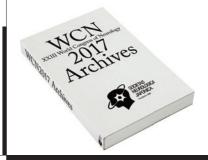
柳澤信夫

第23回世界神経学会議(WCN2017)が、多数の参加者 と優れた企画により盛会裡に実施されたことを心から祝い、 その実現のために種々な工夫と周到な準備を重ねられた水 澤大会長と関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。

我が国における最初のWCN開催は、1981年京都における第12回世界神経学会でした。その開催母体となった神経内科教室はいずれも開設後15年以内という若さであり、もっぱらアジアにおける神経学の発展を期待する欧米の神経学指導者の厚意の賜物でした。私も未熟な若手教授としていくつかの役割を仰せ付かり、世界の神経学との交わりを種々な場面で実感し、その後の教室や学会の指導(1996-2002年日本神経学会理事長)に大きな影響を与えたと感じています。

我が国の医学研究の現状は決して恵まれたものとはいえませんが、若手に大きな期待がかかっています。神経学では臨床と研究に分ち難いものがあり、若手の医療従事者、研究者の協力と努力が大切です。彼等にとって、WCN2017が世界の現状にふれ、将来の方向に大切な示唆を与えてくれた機会として位置付けられることを確信しております。

Main Topics September 17-20, 2017



chapter6

メイントピックス





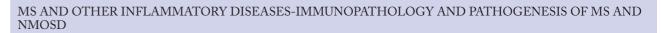




メイントピックス1 Main Topics 1 (9:15-10:45 Sunday, September 17)

メイントピックス2 Main Topics 2 (11:15-12:45 Sunday, September 17)

EPILEPSY- WHAT IS IN A NAME? NEW EPILEPSY DEFINITION AND CLASSIFICATION AND WHY IT MATTERS TO THE CLINICIAN

















メイントピックス2 Main Topics 2 (16:25-17:55 Sunday, September 17)

メイントピックス3 Main Topics 3 (11:15-12:45 Monday, September 18)

MS AND OTHER INFLAMMATORY DISEASES- CUTTING-EDGE TECHNOLOGIES FOR DIAGNOSIS AND TREATMENT IN CNS DEMYELINATING DISEASES

OR DIAGNOSIS AND TREATMENT IN CNS DEMYELINATING DISEASES

New biomarker in Demyelinating Disorder Jun-ichi Kira

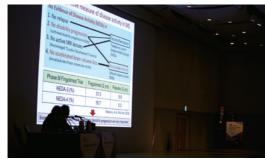
Department of Neurology, Neurological Institute Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan













NEUROIMAGING, MOLECULAR FUNCTIONAL IMAGING









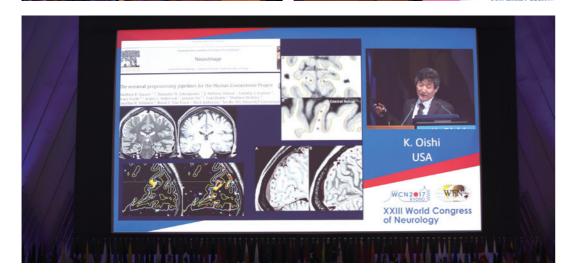




メイントピックス3 Main Topics 3 (14:45-16:15 Monday, September 18)

NEUROIMAGING, MOLECULAR FUNCTIONAL IMAGING









メイントピックス3 Main Topics 3 (16:45-18:15 Monday, September 18)

NEUROIMAGING, MOLECULAR FUNCTIONAL IMAGING



メイントピックス4 Main Topics 4 (11:00-12:30 Tuesday, September 19)

STROKE - ACUTE STROKE THERAPY



メイントピックス5 Main Topics 5 (11:00-12:30 Tuesday, September 19)

PRION LIKE MECHANISMS AND NEUROLOGICAL DISEASE AND NOVEL

TARGETS TREATMENT - PRION-LIKE PROPAGATION: WHAT DRIVES WHAT?



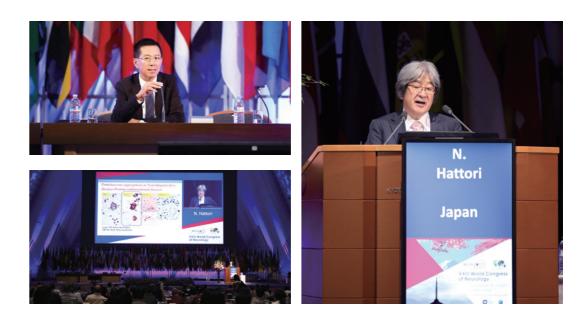
メイントピックス5 Main Topics 5 (14:45-16:15 Tuesday, September 19)

PRION LIKE MECHANISMS AND NEUROLOGICAL DISEASE AND NOVEL TARGETS TREATMENT - PRION-LIKE DISEASE TARGETS: UPSTREAM, CENTER, DOWNSTREAM?



メイントピックス6 Main Topics 6 (9:15-10:45 Wednesday, September 20)

MOVEMENT DISORDERS - MOTOR PD



メイントピックス7 Main Topics 7 (9:15-10:45 Wednesday, September 20)

DEMENTIA - FROM SCI TO MCI: PRODROMAL PHASES OF DEMENTIA







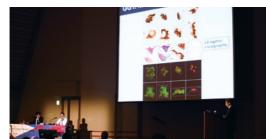


メイントピックス7 Main Topics 7 (14:45-16:15 Wednesday, September 20)

メイントピックス7 Main Topics 7 (16:45-18:15 Wednesday, September 20)

DEMENTIA - NON-AD DEGENERATIVE DEMENTIAS

















DEMENTIA - OTHER DEMENTIAS











メイントピックス8 Main Topics 8 (9:15-10:45 Wednesday, September 20)

メイントピックス8 Main Topics 8 (11:15-12:45 Wednesday, September 20)

CLINICAL NEUROPHYSIOLOGY NCS, EMG, EVOKED POTENTIAL, TMS

- CENTRAL PHYSIOLOGY







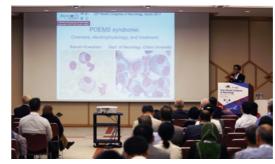






CLINICAL NEUROPHYSIOLOGY NCS, EMG, EVOKED POTENTIAL, TMS - PERIPHERAL PHYSIOLOGY













メイントピックス8 Main Topics 8 (14:45-16:15 Wednesday, September 20)

CLINICAL NEUROPHYSIOLOGY NCS, EMG, EVOKED POTENTIAL, TMS - INVASIVE STUDIES



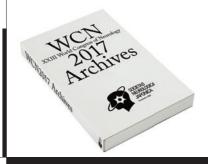




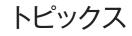




Topics September 17-21, 2017



クス chapter7









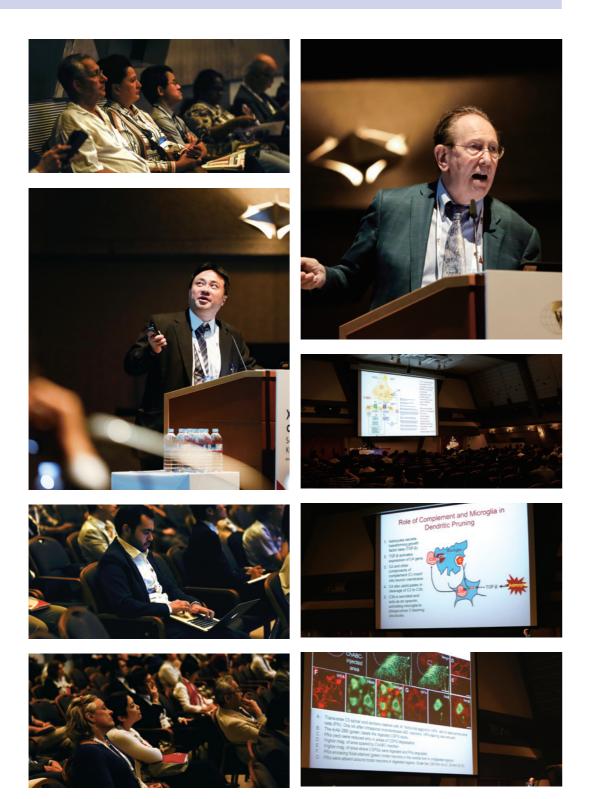


トピックス1 Topics 1 (9:15-10:45 Sunday, September 17)

トピックス1 Topics 1 (11:15-12:45 Sunday, September 17)

NEUROREHABILITATION INCLUDING BRAIN MACHINE INTERFACE (BMI) - INNOVATIVE APPROACHES TO NEUROREHABILITATION: BASIC NEUROSCIENCE

NEUROREHABILITATION INCLUDING BRAIN MACHINE INTERFACE (BMI) - INNOVATIVE APPROACHES TO NEUROREHABILITATION: CLINICAL APPLICATION



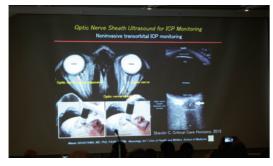


トピックス2 Topics 2 (11:15-12:45 Sunday, September 17)

トピックス7 Topics 7 (11:15-12:45 Monday, September 18)

NEUROCRITICAL CARE

DISORDERS OF THE AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM - EVALUATION OF AUTONOMIC DISORDERS















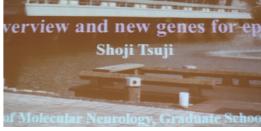


トピックス9 Topics 9 (14:45-16:15 Monday, September 18)

NEUROGENETICS





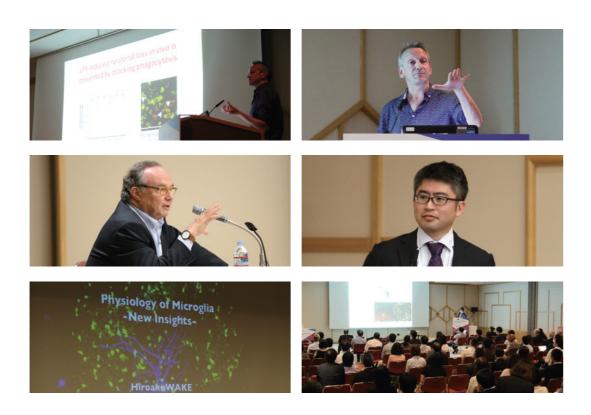


トピックス12 Topics 12 (16:45-18:15 Monday, September 18)

トピックス13 Topics 13 (11:00-12:30 Tuesday, September 19)

THE ROLE OF MICROGLIA IN NEUROLOGICAL DISEASE

AUTOIMMUNE DISORDERS - PATHOMECHANISMS OF MULTIPLE SCLEROSIS AND AUTOIMMUNE NEUROLOGICAL DISORDERS





トピックス13 Topics 13 (9:00-10:30 Tuseday, September 19)

トピックス17 Topics 17 (16:45-18:15 Tuseday, September 19)

AUTOIMMUNE DISORDERS - CLINICAL ASPECTS OF MULTIPLE SCLEROSIS AND AUTOIMMUNE NEUROLOGICAL DISORDERS

ENVIRONMENTAL AND NUTRITIONAL DISORDERS









トピックス18 Topics 18 (16:45-18:15 Tuesday, September 19)

トピックス20 Topics 20 (9:15-12:45 Wednesday, September 20)

HISTORY OF NEUROLOGY

XXIII World Congress of Neurology



WCN
XXIII World Congress of Neurology
2017



第23回世界神経学会議 諮問委員 東京女子医科大学名誉教授 メディカルクリニック柿の木坂院長

岩田 誠

1981年の京都でのWCNでは、大橋博司先生とFrançois Lhermitte先生の司会によるHemispheric lateralizationのシンポジウムに、invited speakerとして参加させていただきましたが、司会の両先生も、またシンポジストのお一人であったNorman Geschwind先生も既に故人となっておられ、過ぎ去った時間の重さを感じます。

再び京都に戻ってきた今回のWCNでは、History of Neurologyというセッションのinvited speakerそして司会者として参加させて頂きました。36年の年月を挟んでわが国で開催された2回のWCNで、invited speakerにして頂いたことは、大変光栄なことと思っております。この間、神経学は長足の進歩を遂げ、多様な分野を包含するようになっていますが、これはひとえに内外の先輩の先生方に負うところが大きいと感じました。また、今回は神経学トーナメントの問題作成にも関わらせて頂き、2001年のロンドンでのWCNで始まった第1回神経学トーナメントに、田代邦雄、橋本しをり、宇川義一の諸先生と共に、日本チームのキャプテンとして出場した時のことを懐かしく思い出しました。

MOTOR NEURON DISEASE - CLINICAL





MOTOR NEURON DISEASE - BASIC





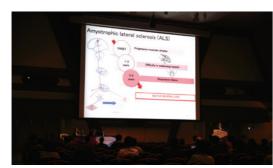




トピックス21 Topics 21 (14:45-16:15 Wednesday, September 20)

STEM CELLS IN NEUROLOGY, REGENERATIVE MEDICINE, INDUCED PLURIPOTENT STEM CELL (iPS) - MODELING OF DISEASE AND HUMAN GENETICS USING INDUCED PLURIPOTENT STEM CELLS









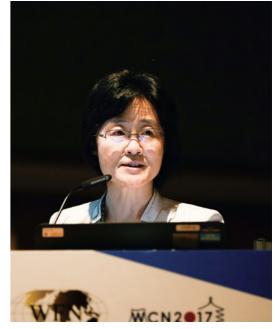


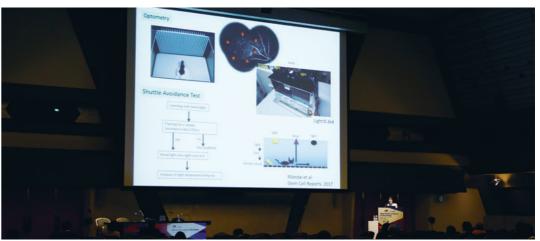
トピックス21 Topics 21 (16:45-18:15 Wednesday, September 20)

STEM CELLS IN NEUROLOGY, REGENERATIVE MEDICINE, INDUCED PLURIPOTENT STEM CELL (iPS) - USE OF PLURIPOTENT STEM CELLS FOR REGENERATIVE MEDICINE









トピックス23 Topics 23 (16:45-18:15 Wednesday, September 20)

トピックス25 Topics 25 (11:00-12:30 Thursday, September 21)

NEUROLOGICAL SLEEP DISORDERS - NEW INSIGHTS INTO SLEEP AND NEURODEGENERATION









PERIPHERAL NEUROPATHY













WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



Organizing Teaching Courses(TCs) for WCN 2017

- a pleasant learning experience

WFN Education Program and Teaching Course Co-Chair, WCN2017 Director, Department of Neurology, Jaslok Hospital & Research Centre

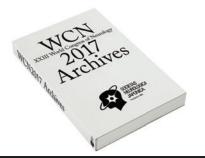
Sarosh Katrak

Ryuji Kaji and I took over the task of organizing the Teaching Courses (TCs) during the WCN 2015 in Santiago. We were given a brief to organize 28 TCs and 4 workshops. Based on the attendance at the last 3 WCNs – 2011, 2013, 2015 – I selected topics that were well attended in spite of making a payment, as was the practice in the earlier WCNs. The list contained TCs matching the Main themes in the scientific program (Stroke, epilepsy, Movement disorders, Dementia, etc.) as well as other popular TCs. We used the same basis for selecting the topics for the workshops. Thus we selected Neurosonology, CNS and PNS, EMG – basics and advanced techniques, and the use of Botulinum Toxin in nervous system disorders. This was sent to Ryuji and the local TCC for perusal, and was readily accepted.

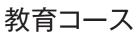
Then came the task of selecting the conveners. Here there was a minor hitch. In order to restrict the number of faculty members, we were advised to select conveners from the "pool" of conveners selected by the Scientific Program Committee (SPC). Ryuji convinced the organizing committee by very succinctly stating that "good scientists/professors may not be good teachers or speakers. Thus, we were able to select conveners of our choice. Once this was done, the rest of the organization was relatively smooth and easy. At this juncture I may mention that Ms. Hadar Attas Scott was a very big asset. She contacted the conveners and set the timelines for submission of the teaching courses which made Ryuji's and my task relatively easy.

WCN 2017 in Kyoto was attended by 8600 participants and the entire congress went like clockwork, thanks to the efficiency of Japanese Society of Neurology and the organization of Kenes. I enjoyed working with Ryuji and his colleagues in the local TCC and would like to thank Hidehiro Mizusawa, Yoshikazu Ugawa and Ryosuke Takahashi for their cooperation and hospitality extended to me during the entire duration of WCN 2017.

Teaching Course September 16-21, 2017



____chapter8









教育コース Teaching Course (14:30-18:00 Saturday, September 16)

教育コース 1

TEACHING COURSE 1: MS AND OTHER INFLAM-MATORY DISORDERS







教育コース 4

TEACHING COURSE 4: NEUROREHABILITATION



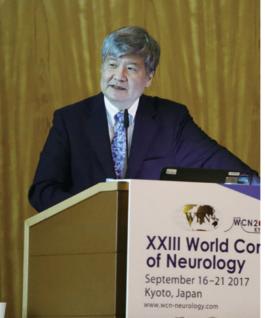




教育コース Teaching Course (14:30-18:00 Saturday, September 16)



TEACHING COURSE 6: RARE CASES IN CLINICAL PRACTICE - TOURNA-MENT COMMITTEE







教育コース 7

TEACHING COURSE 7: MYOPATHY







教育コース Teaching Course (9:15-12:45/14:45-17:55 Sunday, September 17)

教育コース 8

TEACHING COURSE 8: STROKE I







教育コース 12

TEACHING COURSE 12: STROKE II







教育コース Teaching Course (14:45-17:55 Sunday, September 17)

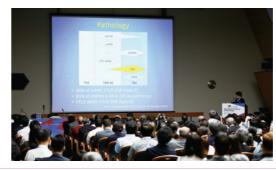


TEACHING COURSE 14: DEMENTIA II: ADVANCED











教育コース 15

TEACHING COURSE 15: NEUROIMAGING & NEU-ROINTERVENTION







教育コース Teaching Course (14:45-18:15 Monday, September 18)

教育コース 19

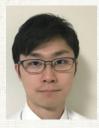
TEACHING COURSE 19: CHILD NEUROLOGY







WCN
XXIII World Congress of Neurology
2017に寄せて



第58回日本神経学会学術大会 医学生トラベルグラント受賞者 新潟大学医学部医学科5年生

小池 直人

本格的に研究に携わるだけでも有意義な経験でしたが、WCNに参加して得たのはそれ以上のものでした。まず、最先端の医学に触れられたことです。連日各分野の第一人者の講演があり、1つの問題に対して様々なアプローチの可能性があることが分かりました。大変興味深かったです。次に、英語で医学を語ることの重要性を認識しました。世界中から集った医師・研究者たちは同じ問題を真剣に考えていました。彼らと協力して医学を発展させていくには英語が必要不可欠です。そして、WCNへの参加を通して「日々の日常が次の未来へつながっている」と強く感じました。ほとんどの研究はとても地道でしかも成果に結びつくとは限りません。ですが、現状の問題を解決する新しい医学を創っていくにはその努力が欠かせません。WCNでお会いした先生方からは強い覚悟と風格を感じました。

最後になりましたが、ご指導賜りました田中惠子先生、お 世話になりました新潟大学脳研究所細胞神経生物学教室なら びに神経内科学教室の先生方にこの場をお借りして御礼申し 上げます。これからも研鑽を積んで参ります。

教育コース Teaching Course (9:00-12:30 Tuesday, September 19)



TEACHING COURSE 20: EPILEPSY I - NEWLY DEVELOPED EPILEPSY SYNDROME AND TREAT-MENT

















教育コース Teaching Course (9:00-12:30/14:45-18:15 Tuesday, September 19)

TEACHING COURSE 21: MOVEMENT DISORDERS I - PARKINSON'S DISEASE: CONCEPT AND DIAG-







TEACHING COURSE 23: EPILEPSY II - UPDATE LESSON OF EPILEPSY

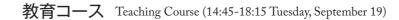






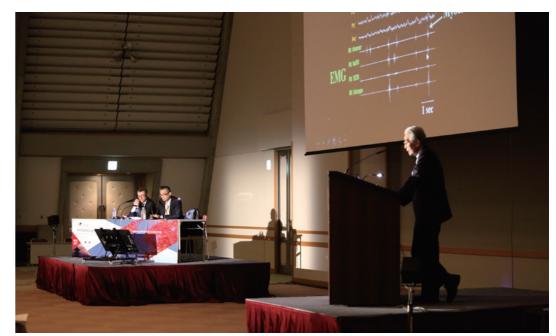


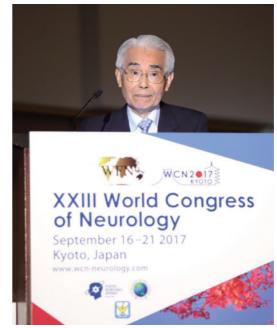






TEACHING COURSE 24: MOVEMENT DISORDERS II - CURRENT TOPICS OF HYPERKINETIC MOVE-









78 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 79

教育コース Teaching Course (9:15-12:45 Wednesday, September 20)

教育コース 26

TEACHING COURSE 26: SLEEP DISORDERS

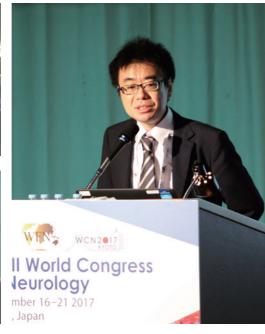














教育コース Teaching Course (9:15-18:15 Wednesday, September 20)



TEACHING COURSE 27: PALATUCCI ADVOCACY COURSE AND YOUNG NEUROLOGISTS CORNER















教育コース Teaching Course (14:45-18:15 Wednesday, September 20)

教育コース 28

TEACHING COURSE 28: PERIPHERAL NEUROP-ATHY









TEACHING COURSE 29: MOTOR NEURON DISEASE











教育コース Teaching Course (9:00-12:30 Thursday, September 21)



TEACHING COURSE 31: EMG AND NEUROPHYS-IOLOGY WORKSHOP: BASIC













教育コース Teaching Course (9:00-12:30 Thursday, September 21)

教育コース 32

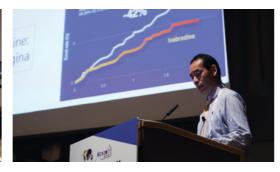
TEACHING COURSE 32: EMG AND NEUROPHYS-IOLOGY WORKSHOP: ADVANCED

















早朝教育コース Morning Teaching Course (7:00-8:00 Wednesday, September 20)

早朝教育 コース 36

MORNING TEACHING COURSE 36 - GAIT DIS-ORDERS





WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



WCN2017 Elsevier Young Investigator Awards 受賞者 慶應義塾大学医学部神経内科大学院生

椎橋元

第23回世界神経学会議(WCN2017: XXIII World Congress of Neurology)に参加しました。本大会は世界各国より8617名もの研究者・学生らが参加し、講演においては利根川進博士、エドヴァルト・モーザー博士、山中伸弥博士3名のノーベル医学・生理学賞受賞者達による講演をはじめ、世界トップクラスの研究者達による講演が行われ、また開会式においては、秋篠宮殿下・妃殿下がお見えになられ、非常に盛大な学術大会でした。

私自身は、筋萎縮性側索硬化症に関する研究結果を発表致しました。英語での発表、質疑応答は大変緊張しましたが、外国人研究者との英語でのディスカッションは大変貴重な経験となりました。また、研究を発展させていくために、国際交流を行っていく事の重要性を改めて痛感致しました。今後も積極的に国際学会へ参加していきたいと思います。

最後になりましたが、研究の御指導を頂いた鈴木則宏教授、そ して素晴らしい大会の運営を賜りました大会実行委員会の先生方 にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



第23回世界神経学会議海外招致·広報活動貢献者 国立病院機構相模原病院神経內科神経難病研究室長

長谷川 一子

WCN2017については神経学会理事会で招致が 決定されたと伺っていた。雲の上の出来事のように 思っていたが、京都大学の友人に活動状況を伺い、 開催の立候補をしたからには勝ち取るべき、また、 私も猫の手ぐらいにはなるかと思い招致活動に加わった。

活動概要は執行部から伺っていなかったが、ウィーンでの開催地の選挙に備えたパーティーから翌日の開催地の選挙まで、日本が目立つように黒子として活動した。開催地獲得成功は水澤代表理事の人徳溢れる演説と、京都大学神経内科の組織力の賜であった。招聘活動中、国内国外の友人が増えたのは役得であった。

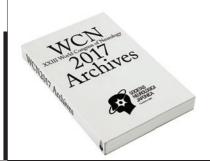
サンチャゴでの私の関与も偶発事項であったが、開催当日から3日間お手伝いした。様々な配布物を参加者に手渡すに当たり、某先生から「闇雲でなく、確実に日本に来そうな参加者に配布すること。」との指導を受け、納得した。しかし、サンチャゴで折り紙作成や買い出し、希望者へのお茶会や写真の順番の采配を振るった事は想定外だった。某先生を使いに出してしまい、申し訳なかった。

私事であるが日本で初めての1981年のWCN開催時に国際学会へデビューした。諸先輩にご指導を受け、初めての英語での口演に緊張した。発表後、何故かWalton先生に握手を求められ、光栄に思い神経学を極めたいと誓った。

WCN2017の我が国での開催により、日本神経学会の国際化が進み、様々な出会いや、新しい研究の萌芽、国際共同研究の端緒が得られたものと推定する。老兵は去るべき時期に来ているが、日本神経学会の今後の発展にWCN2017が果たした役割を思いつつ、招致に関与したことを幸せに思う。

Japanese Scientific Session

September 17-20, 2017



chapter9

日本語セッション











日本語セツション1 Japanese Scientific Session 1 (14:45-16:15 Sunday, September 17)

日本語セッション2 Japanese Scientific Session 2 (14:45-16:15 Monday, September 18)























日本語セッション3 Japanese Scientific Session 3 (9:00-10:30 Tuesday, September 19)

日本語セツション4 Japanese Scientific Session 4 (9:15-10:45 Wednesday, September 20)





























Greetings from New Delhi, India.

Past President, Asian and Oceanian Association of Neurology (AOAN) Director, Department of Neurology, Janakpuri Super Speciality Hospital

Man Mohan Mehndiratta

It's indeed an honor and privilege to write a brief report on the XXXIII World Congress of Neurology 2017 which was held at Kyoto International Centre, Kyoto (city of noble laureates), and Japan.

Special congratulations to the Japanese Society of Neurology (JSN) for organizing a very high standard congress with excellent time management and academic program of International standard. The congress was attended by approximately close to 8617 delegates from more than 115 countries. Pre congress workshop, teaching and education program, plenary sessions were very carefully selected and were very enriching academically.

The Inauguration was very impressive and high point of the event was his highness Emperor and her highness Empress of Japan's august presence and their simplicity and word of advice were very touching. I am hopeful that their word of advice will improve the lives of patients all over the world with special emphasis on Japan. The Japanese colleague extended very warm welcome and hospitality for which they are known world over.

The congress was jointly hosted by the Japanese Society of Neurology (JSN) and Asian and Oceanian Association of Neurology (AOAN). I had a great honor that we got this conference when I was

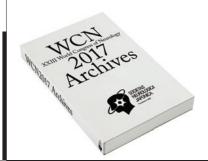
I wish my Japanese colleague a great success in their future endeavors as well.

With warm regards,

President of AOAN.

Regional Symposium Session

September 17-21, 2017



chapter10

地域別セッション







汎アラブ地域セッション Pan-Arab Regional Symposium (11:15-12:45 Monday, September 18)

アジア—オセアニア地域セッション Asian-Oceanian Regional Symposium (14:45-16:15 Tuesday, September 19)

CURRENT KNOWLEDGE OF NEUROLOGICAL DISORDERS AMONG ARABS









GENE THERAPY - A REALITY IN NEUROLOGY















Memory of WCN2017

President, Asian and Oceanian Association of Neurology (AOAN) Local Scientific Program Committee, Member WCN2017 Professor, Department of Neurology, Seoul National University

Beomseok Jeon



As the president of Asian-Oceanean Association of Neurology(AOAN), I would like to congratulate Professor Mizusawa, and members of the Japanese Society of Neurology(-JSN) to make this World Congress of Neurology 2017 very successful.

And as the competitor of bidding for this congress in Vienna 2013, I thank and congratulate all the national delegates for choosing Japan for this congress. Even though WCN in Korea could have been successful, it would not be this successful because of the geopolitical strain over Seoul now. However, we had the best clean sky today after a horrible typhoon two days ago. I am confident that Seoul will be like the sky today very soon and will be able to hold WCN in the next round in Asia.

Again as the president of AOAN, I thank all the WFN and WCN executive members, speakers and guests to make this congress in Asia the most successful congress in history.

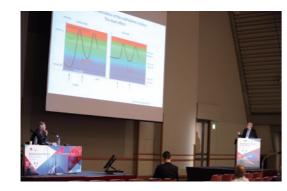
Thank you.

(This is the prepared but not delivered speech at the local president's pinner on september 19, 2017 during WCN.)

94 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 95

ヨーロッパ地域セッション European Regional Symposium (11:15-12:45 Thursday, September 21)

DIFFERENT VIEWS ON THE TREATMENT OF PARKINSON'S DISEASE







第58回日本神経学会学術大会 医学生トラベルグラント受賞者 Graduate Student, Maastricht University 京都府立医科大学医学部 留学生

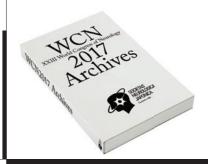
Seth Siahaija

My Name is Seth Siahaija and I was a participant in the WCN 2017. As a young neuroscientist and double degree student from Maastricht University in The Netherlands, I enjoyed the congress and met new people from all over the world. Seeing and listening to all the neurologists and neuroscientists with all the different subjects was fascinating. I followed most of the lectures and workshops regarding dementia and Alzheimer's disease since it is related to my own research at Kyoto Furitsu Ika Daigaku (Kyoto Prefectural University of Medicine). Also the other presentations regarding ALS, MS, etc. were very interesting. During the poster presentations at the WCN, a lot of different research was displayed and I enjoyed walking through the posters and listening to the talks of all the researchers.

I participated in the young neurologist corner during the WCN. During this workshop, I have met young neurologists from all over the world. We discussed what our role is in the current medical or research field, what we have accomplished up until now and what are plans are for the future. Personally, I would like to pursue a PhD in neurosciences focussing on Alzheimer's disease. WCN was a very helpful experience because of all the divers research that was presented and the possibility to talk with the experts.

Altogether, participating in the WCN 2017 was a wonderful experience and a good event to meet and discuss with other neuroscientists and neurologists from all over the globe. I hope, I will be able to participate again in the WCN in the near future. Lastly I want to thank the organizers of WCN 2017 in Kyoto for inviting me as a guest of the event.

Free Papers September 17-21, 2017

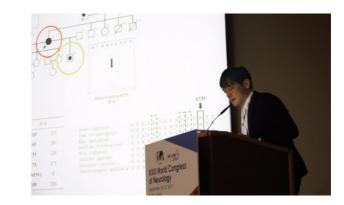


chapter11

一般演題(口演)







96 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 97

一般演題(口演) Free Papers (September 17-21)





















WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



第58回日本神経学会学術大会 医学生トラベルグラント受賞者 千葉大学医学部医学科4年生

青山 辰次

今回WCN2017 に参加する機会を頂き、このような機会を設けていただきました日本神経学会の諸先生方、研究を御指導頂きました千葉大学神経内科の先生方、並びにトラベルグラント等、学会参加の補助をしていただきました日本神経学会の関係者の皆様に感謝申し上げます。

自分はWCN2017に参加する1年ほど前より神経学に興味を持ち、千葉大学神経内科のMSグループで研究の指導を受けておりましたが、今回はその研究のマイルストーンの一つと自分で位置づけておりました。これまで学会に参加したことはなかったため、発表の仕方も良く把握していないうちに発表を終えてしまいましたが、WCNに参加させていただいたことにより、自分の研究している領域に関してより一層、他の研究者と討論を重ねたい気持ちが強まり、今後の研究への意欲の向上につながりました。また、毎日学会場に足を運ぶ中で、様々なトピックに関して講演やポスターセッションでの討論を見聞きすることを通して、研究に対する先生方の姿勢を窺い知ることができました。

今回のWCN2017に参加することは、自分の中では一つの到達点でもあり、 今後医師になってから本格的に始まる研究人生の開始地点でもあります。学生 の内にこのような機会を頂けたことに重ねて感謝申し上げます。



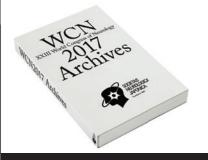
第23回世界神経学会議 実行委員(諮問委員長) 名古屋大学名誉教授·名古屋大学医学系研究科特任教授

祖父江元

WCN2017は史上最大の出席者数、参加国数、発表演題数 を記録し、大成功であった。開会式は秋篠宮両殿下ご臨席の もと大変盛り上がった場面であったが、ちょうどこの日、京都 に台風が近づいていた。強風と雨に見舞われ直撃かと思われ たが少しコースがずれ、WCN2017には特に影響がなかった ことで、むしろその後の成功を予感させるものとなった。私 は実行委員会、諮問委員会などを通じて先回日本で行われた 1981年のWCN開催時にご苦労された方々から多くの有益 なご意見をいただいた。特に日本開催の特徴を出すべきとい うご意見が多かったが、今回のWCNは1981年の時とまた 異なる日本神経学会の力を世界に示せたのではないかと思わ れる。何よりも史上最大の規模とともに我が国のサイエンス と臨床のレベルの高さを示したのではないかと考える。また 日本神経学会学術大会との有機的合同開催は若い人々の参加 促進と活力を示すことになったと思われる。日本神経学会の 今後の国際展開の大きな礎になったWCNであったと考える。

Paper Posters September 17-20, 2017

ポスター発表



chapter12

WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



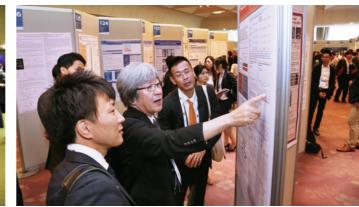
第23回世界神経学会議 実行委員(財務委員長) 慶應義塾大学神経内科教授

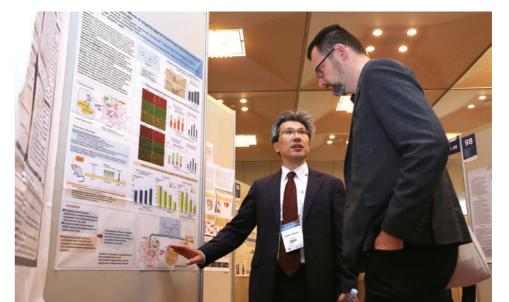
鈴木 則宏

WCN2017が、121か国から総参加者8,600人超というWCN史上過去最高の記録を達成し、大きなトラブルなく成功裡に終わり、日本神経学会学術大会運営委員、WCN2017実行委員会委員そして日本神経学会財務委員会委員長として、たいへんうれしく思うとともに、また任務を完遂できたことに安堵しております。

第58回日本神経学会学術大会との同時開催ということでWFN委員とのCongress Committee Meetingで日本語セッションの扱いに腐心したこと、また登録費用が例年の学術大会の数倍設定を余儀なくされ、日本人参加者数を例年並みに維持するために、専門医クレジットの特別な付与や若手発表者への登録費の一部補助などの工夫も功を奏したものと自負しております。また、本会では学術的にもかなり高いレベルの講演が多く、参加者の満足度もきわめて高かったものと推察しております。私個人としては、開会式の直前に秋篠宮殿下ご夫妻と親しく会話を交わすことができたことが印象として深く残っております。ともに苦楽を共にした委員の皆様、本当にご苦労様でした。

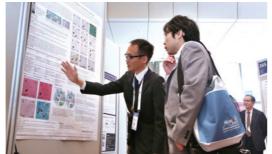


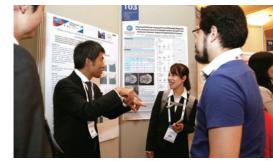




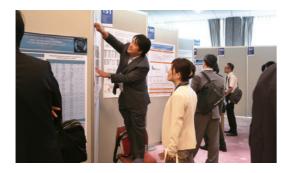
ポスター発表 Paper Posters

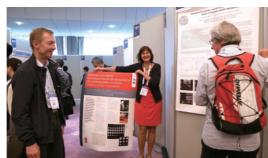




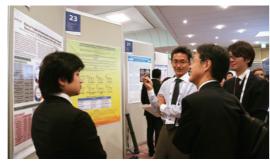




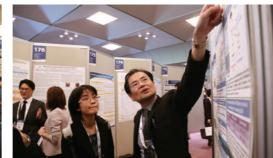


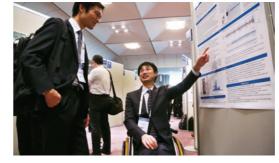




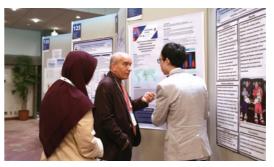














WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



第58回日本神経学会学術大会 医学生トラベルグラント受賞者 徳島大学医学部医学科4年生

十川 和樹

平成29年9月16日から21日まで世界神経学会議が京都で開催されました。

今回の学会は私自身初めての国際学会への参加でしたが、 国際学会でありながら国内で開催されるという幸運に恵まれた上、ポスター発表の機会をいただき、とても貴重な経験になりました。発表では英語による説明と自由なディスカッションができ、国内の学会とは違ったオープンな雰囲気を感じました。

私はポスター発表のみでしたので、様々なセッションへの 参加が可能で、多くの英語口演を聞くことができました。医 学英語の必要性、世界は一つであるということを再認識し、 将来今回のような舞台にも臆せず参加できるグローバルな人 材になりたいと思いました。

最後になりましたが、今回このような貴重な機会を設けていただいた徳島大学神経内科の梶龍兒教授、ご指導してくださった野寺裕之先生、日本神経学会の医学生トラベルグラントに心より感謝したいと思います。



第23回世界神経学会議(WCN2017)に 参加して

第23回世界神経学会議 諮問委員 東海大学名誉教授·立川病院元院長

篠原 幸人

久しぶりに日本で行われた世界神経学会議に参加して感無量であった。前回の日本での世界神経学会は、昭和56年(1981年)、今回と同じく京都行われたが、当時まだ小生は41歳、すでに新設の東海大学神経内科科長にはなっていたが、並み居る諸先輩の中では、使い走りの用事ぐらいしか出来なかった。

今回は台風の最中でも本邦を含む115国、5地域(前回の2倍)から8617名(前回は約2700名)の方々にお集まり戴いた。学会の各種講演も近代神経学の最先端のもので、多くの日本人演者講演の内容も申し分ないものであった。私が懇意にしているパキスタンのWassay教授、シンガポールのChen教授、或いは前WFNの会長Hachinski教授(カナダ)(写真)やHacke教授(ドイツ)など数々の参加者も今回の学会構成・運営を絶賛していた。Dr Hachinskiは今年のNew Year Cardにも京都の会は素晴らしかったとわざわざ書き添えてきたほどである。

このWCN2017が今後の世界における本 邦神経学の更なる発展の礎となる事は間違え なく、現役諸兄姉の活躍を期待したい。



WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



第23回世界神経学会議 諮問委員 順天堂大学名誉教授・東京クリニック神経内科

水野 美邦

9月16日の土曜日は午後東京をたったので参加手続きをするのみに終わったが、 Exhibition Hallのすぐ横で手続きをすることになっており、私のように機械になれないものについても、手伝いのひとが大勢いて難なくできた。それから橋をわったってMain Hallのほうへ行く。まだ余り人は来ていないようであったが、Werner Poewe夫妻とあってしばし旧交を温めあった。

翌9月17日はMain Hall にてEpilepsyの 話をきいたが、普段あまりきいたことのない 話しであったために、新鮮な気持ちで聴くこ とができた。国際学会で聴くとEpilepsyは Neurologyでやらなければならない領域と 改めて思う。日本の国内学会でも演題数は 徐々にふえているとはいえ、未だ国内の神経 内科の教室でEpilepsyを専門にしている人 の数は極めて少ないといわざるを得ない。国 際学会で見ると、Epilepsy, MS, Stroke, Dementia, Headacheが主のようである。 とにかく自分の専門領域以外の演題をでき るだけきくようにして、楽しい6日間であ った。このような会をひらかれた水澤英洋 先生はじめ関係者の方々に深甚の感謝をさ さげたい。



Japanese Pharma Sponsored Symposium September 17-20, 2017



chapter13

日本企業共催シンポジウム















日本企業共催シンポジウム Japanese Pharma Sponsored Symposium

September 17 Session 8







September 18
Session 11







September 18 Session 17



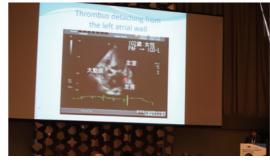




September 18 Session 18







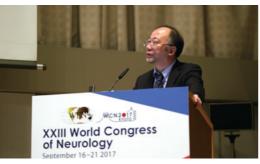




日本企業共催シンポジウム Japanese Pharma Sponsored Symposium

September 19 Session 24

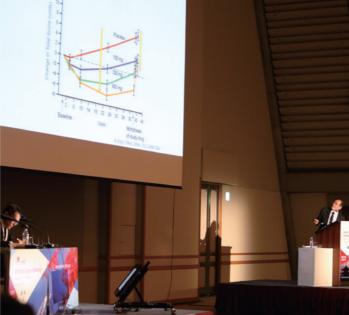




September 19 Session 30







September 19 session 31









Patients Awareness Day September 16, 2017



chapter14

患者さんとともに神経疾患を考える











患者さんとともに神経疾患を考える Patients Awareness Day (14:00-16:05 Saturday, September 16)













WCN2017を振り返って ーチームWCN Japanの底力一 第23回世界神経学会議 実行委員

第25回世界神経子云殿 关门安皇 (アジア・オセアニア諮問委員長) 順天堂大学脳神経内科教授

服部 信孝

私は、WCN2017 AOAC (Asia/Oceania Advisory Committee) の chair として、WCN 2017の実行委員会に 参加させて頂きました。水澤大会長を中心にチームワーク宜 しく充実した実行委員でした。会自体においてもシンポジス トを仰せつかり、記憶に残る大会でした。また、水澤先生よ り大会に患者さんへの啓発運動を目的にPatient Awareness dayを設けたいとの提案があり、小生もお手伝いさせて頂き ました。丁度、2019年に京都で行われる第5回世界パーキン ソン病会議の世界パーキンソン病連合の事務局長のEli Pollardさんも来日されたこともあり、全国パーキンソン病 友の会会長中村博氏とお二人にパーキンソン病について講演 して頂きました。そして一番の思い出は、Eliさんの講演で通 訳を務めたことです。聴衆の殆どは日本の患者さん及びその 介護者ですので当然邦訳が不可欠です。講演時間も超過せず 無事終わることができ、ほっとしたのを今も鮮明に覚えてお ります。WCN2017が多くの参加者のもとで成功裏に終わっ たことは本当に良かったと心より嬉しく思っております。

WCN2017 第23回世界神経学会議 Patients Awareness Day 患者さんとともに神経疾患を考える



定員 600名(先着順)

場 所 国立京都国際会館 アネックスホール1 京都市左京区宝ヶ池(最寄り駅:地下鉄烏丸線「国際会館」)

主 催 第23回世界神経学会議組織委員会、一般社団法人日本神経学会

共同主催 日本学術会議

後 援 厚生労働省/文部科学省/京都府/京都市/一般社団法人京都府医師会/ 京都新聞/公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー (一部予定)

デーマ 脳、神経そして筋肉の病気を治す! ─患者の声、最先端の治療、行政からのサポート─

司 | 大澤 英洋 (国立精神・神経医療研究センター 理事長) **髙橋 良輔** (京都大学病院神経内科 教授) 参加費 無料 事前参加登録不要

14:00 開会の辞:第23回世界神経学会議 会長 水澤 英洋 14:05 歓迎の挨拶:世界神経学連合 会長 Raad Shakir

14:10 患者の言葉1:日本パーキンソン病友の会 代表 中村 博

14:30 患者の言葉2: 世界パーキンソン病連合 代表 エリザベス・ポラード

14:50 是失端の治療1:「パーキンパン症など神経症患の遺伝子治療けたう理?

自治医科大学病院神経内科 特命教授 村松 慎一

15:10 患者の言葉3: 遠位型ミオパチーの患者会(PADM) 代表 織田 友理子

15:25 最先端の治療2: 「空胞性遠位型ミオパチーの治験」 東北大学病院神経内科 教授 青木 正志

15:45 行政からの支援: 「日本の難病対策の発展」 厚生労働省健康局難病対策課 課長補佐 徳本 史郎

16:00 閉会の辞: 第23回世界神経学会議 事務総長 髙橋 良輔

お問い合わせ 日本神経学会事務局 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931 E-mail. jsn-secretariat@neurology-jp.org

http://www.neurology-jp.org/neuro2017/



WCN2017, Kyoto

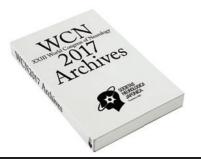
WFN Scientific Program Committee Co-Chair, WCN2017 Professor, Department of Neurology, Innsbruck Medical University

Werner Poewe

The World Congress of Neurology is a unique and outstanding bi-annual event in the rich spectrum of international congresses on neurological themes worldwide. Designing an attractive program within this very special format has its own specific challenges and rewards: not only should there be scientific excellence and didactic competence of content and presentation within a multifaceted program structure - there is always also an overruling effort to be truly representative of this world's neurology and to give room for the wonderful regional and cultural diversity in the way neurological challenges present themselves and how we practice our trade. The World Congress of Neurology 2017 in Kyoto turned out to be a highlight event with record numbers of attendees which was the biggest reward one could wish for as a co-chair of the scientific programme committee. From a personal perspective working with eminent colleagues of the Japanese Society of Neurology, in particular Professor Kaz Ugawa as SPC co-chair and Professor Hidehiro Mizusawa as the Congress President was an enormous privilege and pleasure. Kaz Ugawa and myself as SPC co-hairs had wonderful support from an eminent group of international colleagues on the SPC, as well as highly motivated conveners of the different topical sessions. They were instrumental in designing content and selecting a truly excellent faculty. There was also a very close interaction with the teaching course committee chaired by Professors Sarosh Katrak and Ryuji Kaji who built a highly attractive teaching course programme. Through the untiring efforts by the WFN president Raad Shakir and the Congress President Hidehiro Mizusawa the WCN 2017 also established a new record with three Noble Prize laureates giving plenary presentations. After having had the very first chance in my life to visit Japan as a young neurologist to attend the 12th World Congress of Neurology in Kyoto in 1981 being there again for another World Congress as one of the programme committee chairs was a truly wonderful professional experience and reward.

Tournament of the Minds

September 19-21, 2017



chapter15



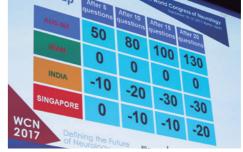












トーナメント Tournament of The Minds: 'Heats' Qualifying Round (11:00-12:00 Tuesday, September 19)

トーナメント Tournament of The Minds: Final (12:45-14:00 Thursday, September 21)







トーナメント Tournament of The Minds: Semi Final (11:15-12:45 Wednesday, September 20)











WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



第23回世界神経学会議 トーナメント準備委員長 山口大学神経内科教授

神田隆

宇川先生の御指名でトーナメント問題作成の責任者を仰せつかりました。神経学会専門医認定委員会の委員長を務めており、こういう問題作りは得意だろうと判断されたのだろうと思います。この手の仕事は決して嫌いではないので、私を委員長として日本神経学会の精鋭を集めた準備委員会を立ち上げ1年かけてすべてのジャンルからの問題を作成し、5月のBostonでのAANでShakir先生、Stark先生などを交えたbrush-up委員会に臨みました。

概ね好評でしたが、われわれ日本の神経内科医なら写真を見ればすぐわかるような病気 (たとえば Nasu-Hakola病) の問題が「こんなもの誰にもわからん」と言われて却下されたり、mentally retarded という表現が不適切と言われてwith intellectual disability と書き直されたりと、色々な経験をさせていただきました。

トーナメントの当日は極めて順調で、笑いもかなり取れたので私としては大変満足しております。海外のトーナメント委員の先生方からも日本チームの作問にお褒めの言葉を多数いただき、"Quiz Master"と呼んでいただけたことで苦労が少しは報われたような気分になりました。問題作成にご協力いただいた先生方、とくに高尾昌樹先生にはこの場を借りて深く感謝申し上げます。

















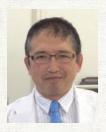








WCN XXIII World Congress of Neurology 2017



第23回世界神経学会議 海外招致·広報活動貢献者 徳島大学神経内科臨床教授

和泉 唯信

2013年、ウイーンでの招致運動と、チリ、ボストンに於ける広報活動に参加しました。当初はウイーンに行く予定でなかったのですが、梶龍兒教授の「招致活動を手伝ってくれ」の一言で現地に飛びました。朝早くから準備し、関係の方々に一生懸命にお声掛けしました。結果、WCN2017が日本に決定した時は、仲間と祝杯をあげました。写真を振り返っても楽しそうです。

チリでは、WCN2017に、より多く参加していただくための広報活動として、日本文化の紹介もしました。ポスター発表もありましたが、あくまでも日本開催の周知が最優先だったと思い返します。活動中、小学校以来久しぶりに折紙に挑戦しましたが、やっぱり折れませんでした。一番記憶に残っているのはランチです。会場から出られなかったのでやむなく提供されるサンドイッチを連日食べたのですが、その不味いこと。「喉を通らない」という経験も小学校以来だったかもしれません。

海外での招致、宣伝活動を通じて多くの他大学の先生、神経学会事務局の皆様とも面識を持つことができました。そのことが、2016年の神戸での学術大会で事務局長を務めさせていただいた上でとても助けになりました。過去最高の参加者を集めたWCN2017をきっかけに、さらに日本神経学会が国際的に認められるようになることを祈念いたします。

WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



第23回世界神経学会議海外広報活動貢献者社会医療法人近森会近森病院神経内科部長

葛目 大輔

私は、2015年10月31日~11月5日にチリ・サンチアゴで開催された第22回世界神経学会(WCN 2015)の大会期間中に、WCN 2017開催ブースで広報運動に参加しました。WCN 2017ブースにお越しになった各国の参加者に対して、記念品の贈呈を行ったり、特製法被を着せて写真を撮影したりして、WCN 2017への参加を呼びかけていました。その甲斐もあり、2017年9月に京都で開催されたWCN 2017の参加者数は過去最大であることを知り、2015年の広報運動の努力が報われたと感じました。

広報活動を通して感じたこととして、外国の方々は我々が先人から受け継いできた日本の伝統文化に大変興味があることを知りました。特に茶道の実演には多くの方々が参加されていました。

より多くの国外の方々に参加して頂けるような学術集会にする には、茶道のような日本の伝統文化を体感できるようなブースが あれば、なお良いのではないかと思いました。

WFN Presidential Reception

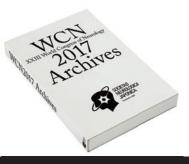
September 18, 2017

Heian Jingu Shrine Hall

WFN会長レセプション~平安神宮会館~







chapter16





WFN会長レセプション WFN Presidential Reception (Monday, September 18)













The Diamond Congress: XXIII WCN Kyoto

President, World Federation of Neurology Professor, Division of Brain Sciences, Imperial College London

Raad Shakir

The World Federation of Neurology is 60 years old. Its crown jewel is the World Congress, which is a biennial event rotating across the world. Following a fierce competition, Kyoto was voted to hold the congress. This was the second and only time that the WCN was held at the same city and venue. The vote of the 120 WFN delegates clearly demonstrated their total trust in the dedication and commitment of the Japanese Society of Neurology.

The painstaking preparations took nearly four years following the vote in 2013 and the intensity increased exponentially. At every juncture the JSN board and the congress president showed ingenuity and thoughtfulness. Problems and issues were resolved in a calm, calculating and decisive manner. The attention to detail while not taking the eye off the big picture was most impressive.

The efforts of the JSN and WFN came to fruition on the 16th September 2017 when XXIII WCN opened. The spectacular global Neurology event started with excellent preparation including Royal patronage with the attendance of his Imperial Highness Prince Akishino who continued the tradition, which was set by his father His Majesty Emperor Akishito who opened the 1981 WCN.

The scientific presentations were exquisite with ten simultaneous daily sessions and expertly chosen plenary sessions. These included presentations from three Nobel laureates, which was a first. The attendance was a record high. The figures were most impressive with over 8,600 delegates from all corners of the globe, thus beating the previous record by a good margin. Kyoto with its charming atmosphere provided a wonderful backdrop of true Japanese culture and hospitality. Delegates from across the world will always remember with fondness Kyoto 2017.







WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



A perfect event

First Vice President, World Federation of Neurology WFN Congress Committee Chair, WCN2017 Professor, Department of Neurology, Sir Charles Gairdner Hospital

William M Carroll



From the moment the Japanese Society of Neurology (JSN) was victorious in the ballot to host the 2017 World Congress of Neurology (WCN) at the 2013 WCN one could sense the pride and determination of the members of the JSN to make it the most successful WCN ever. Over the next four years I came to respect the integrity, innovation and initiative of the members of the JSN Committee.

As World Federation of Neurology (WFN) Vice President and chair of the Congress committee I had many opportunities to observe all of these admirable traits first hand.

At no time was there reason to doubt that the partnership between the WFN and the JSN would succeed in this venture. As is often the situation in such enterprises each problem was addressed considered and dealt with in a way which often resulted in a solution of more value than the original proposition. Indeed challenges continued to arise even through the conduct of the WCN, including a typhoon, but they were all dealt with calmly, firmly and with good humour. Even the attendance of their Imperial Highnesses Prince and Princess Akishino at the opening ceremony was not disturbed by this weather. Consequently the 2017 Kyoto WCN, which coincided with the 60th anniversary of the founding of the WFN, was an outstanding success.

Delegates came from 110 of the 120 WFN member societies, 200 bursaries, the largest number of bursaries ever, were offered to young neurologists from low and low – middle income countries, 298 faculty occupied the lecture halls for 4½ days speaking to just under 9000 attending delegates which all combined to make it the biggest WCN on record. From the social events in and around the lovely historic city of Kyoto, to the careful guidance of local pharmaceutical and equipment company sponsorship and the friendly and helpful atmosphere throughout, the JSN and it's local committee were the epitome of thoughtfulness and expedience. Together with the Congress organising committee they formed an invaluable team and crafted a superb event and outstanding result.

It has been pleasure and an honour to have been involved in the 2017 Kyoto World Congress of Neurology. I thank the JSN and especially Professors Mizusawa, Takahashi and Ugawa.



第23回世界神経学会議 諮問委員 Past President, World Federation of Neurology アイオワ大学神経科教授・京都大学名誉教授

木村 淳

日本の神経学会が世界に躍り出たのは1981年、京都で開催された第12回世界神経学会議で、当時はまだ日本で国際学会ができるのかと疑問視されていましたから、その見事な演出振りにはアメリカから参加していた僕も深く感銘しました。

その後36年間にわが国の神経学は世界をリードするレベルまで向上し、昨年の学会は、世界神経学会連合理事会を始め、各国デリゲートの期待が高まる中で開かれ、水澤英洋会長や髙橋良輔大会事務長、ならびに同時に開かれた第58回日本神経学会学術大会の宇川義一大会長には前回にはなかったプレッシャーがあったかと思います。しかし、期待通り日本人の英語の力もリサーチのレベルも、前回とは雲泥の差で、欧米の人たちはかなり驚いたようです。8000を超える参加者を集めたこの学会を機に、我が国の国際化がさらに進むものと考えられます。

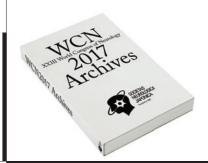
学会期間中に行われた選挙で、徳島大学の梶龍兒 先生が第一副理事長に選出され、日本の代表として 今後の活躍が期待されます。日本神経学会の積極的 な選挙運動で最初から有利に展開し、結局(風説に よると)圧勝だったようです。私事にわたりますが、 僕も国際神経学への貢献で棚から牡丹餅式にメダル を頂戴しました。思いがけない栄誉でしたが、若い 先生方の今後の国際活動の励みになればと願ってい ます。



Local Congress President's Dinner

September 19, 2017

The Westin Miyako Kyoto



chapter17

WCN2017会長招宴~ウェスティン都ホテル京都~





























WCN2017会長招宴 Local Congress President's Dinner (Tuesday, September 19)

WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



第23回世界神経学会議 学術プログラム共同委員長 実行委員(学術委員長) 第58回日本神経学会学術大会大会長 福島県立医科大学神経内科教授

宇川 義一



本学会には、準備段階から関わらせていただき、いくつもの貴重な経験をして、大変勉強になりました。4年前のウィーンでの招致活動では、オリンピック招致のようで和服の家内も参加させていただき、2年前のチリでのWCN2015でも学会場でお茶をたてるなど学会の団結を感じました。

日本での予算確保の活動と、そのために日本語セッションを WCNのなかで認めていただくWFNとの交渉では、日本にもう るさい奴がいると誤解を受けてしまうような発言をしなくてはな らない場面もあり、心苦しかったです。

SPCとしてプログラム全体を作成する仕事では、多くの希望を考慮する大変さがありましたが、友人でもあるPoewe 先生との共同作業で、彼が年に数回日本に招待されており、打ち合わせをしやすく楽しい経験でした。秋篠宮殿下の開会式でのご挨拶の相談もさせていただき、生物学者としての殿下の豊富な知識に感激しました。実際の学会では、台風、病人の救急車での搬送など、小さな問題はありましたが、概ね予定どおりに運営が行え、8500人を超える参加者に参加いただき、感謝申し上げます。

私が認知症にならない限り、一生忘れない経験をさせていただ き、ありがとうございました。













第23回世界神経学会議 教育プログラム・コース共同委員長 実行委員(教育委員長) 徳島大学神経内科教授

梶 龍兒







WCN2017の日本側の教育プログラム委員長として、学会の準備から関わらせていただきました。2016年に第57回日本神経学会を主宰させていただき、アジアを中心とする外国から200人を超える参加がありました。この時の経験から何が教育プログラムとして重要であるかを勉強させていただいていたので、テーマや人選はアジアを中心に、WFN側の委員長であるインドのKatrak教授とともにスムースに行うことができました。実際参加者は日本の先生方はもちろん、海外からの参加者も過去最高の人数となり、水澤先生のリーダーシップのもと学会の成功に微力ながら寄与させていただきました。個人的にも髙橋代表理事と皆様方のご推薦をいただき、WFNの筆頭副理事長に選出されました。この場をお借りして御礼申し上げます。

これからの本学会の国際的な発展はアジアの国々の協力がなくては難しいと思います。アジアの学会であるAOCNが本年11月に韓国ソウルで開かれます。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。







第23回世界神経学会議 諮問委員 帝京大学医学部名誉教授·社会医療法人堀之内病院名誉院長 清水 輝夫

WCN2017 (京都) では利根川進教授や山中伸弥 教授など、ノーベル賞受賞者を含む多くの国内外研 究者の参加をえて、臨床神経学や神経科学分野での 討論が行われたことは神経学会会員にとって大変有 意義なものであったと思います。前回のWCN1981 (京都)では、ほぼ臨床神経学分野であったのと比較 して格段の進歩であったと評価できます。これで神 経学会指導部の基本方針である国際化が一歩叶えら れたのではないでしょうか。今後、臨床神経学は分 子レベルでの解明が一層進み、治療法の確立といっ た社会貢献が現実の課題として土俵に乗ってきたよ うに実感した次第です。

同時に、大脳レベルでの機能解剖的な理解も進み、 脳科学の分子レベル理解と神経回路網理解が健常者 と疾患の両面で行われ、最後の謎とされる脳機能が 分かる道程に乗っていることを感じた次第です。本 学術集会を主導された関係者に深甚なる感謝と敬意 を表したいと思います。

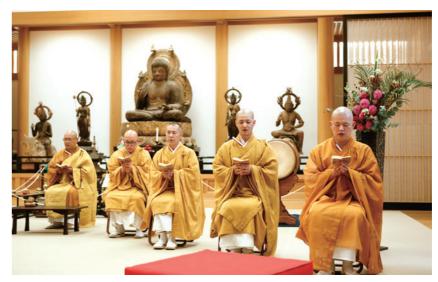


Japanese Cultural Networking Event September 20, 2017

Daigoji Temple (The World Cultural Heritage Site)



日本文化交流イベント~醍醐寺~





chapter18

124 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 125

日本文化交流イベント Japanese Cultural Networking Event (Wednesday, Septembert 20)



























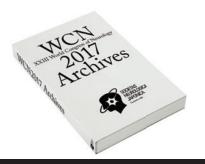


日本文化交流イベント Japanese Cultural Networking Event (Wednesday, Septembert 20)



Japanese Cultural Experience September 18-20, 2017

ICC Kyoto



chapter19











128 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 129

着付け Kimono Dressing 茶の湯 Tea Ceremony



生け花 Flower Arrangement















折り紙 Folding Origami









WCN XXIII World Congress of Neurology 2017に寄せて



第23回世界神経学会議 実行委員 (社交プログラム委員長) 九州大学神経内科教授

吉良 潤一



社交プログラム委員長として、国内外の関係者の皆様、民間事業者の方々のおかげで、大きなトラブルなく一連の社交行事が成功したことに、心から感謝申し上げたいと思います。秋篠宮ご夫妻を迎えてのオープニングセレモニー、国立京都国際会館でのウェルカムレセプション、平安神宮でのWorld Federation of Neurology会長招宴、ウェスティン都ホテル京都での水澤英洋会長招宴、醍醐寺でのJapanese Cultural Networking Event、国立京都国際会館でのクロージングセレモニーと連日社交行事が続きました。いずれも終始和やかな雰囲気でした。

また会期中には折り紙、生け花、茶道教室などが開かれ、海外の方に好評でした。一番心配していたのは、会場から遠く離れた醍醐寺霊宝館での社交イベントです。わざわざバスで一時間もかけて出かけて、お寺の宝物殿で社交行事をして盛り上がるか気がかりでした。聞けば醍醐寺でもこのような大きな国際学会の社交イベントを引き受けるのは初めてということです。酔っ払って国宝を壊されでもしたら、取り返しがつきません。しかし、これは杞憂に終わりました。珍しい陳列物と質量ともに豊富な料理、レベルの高い出し物で大いに盛り上がりました。社交行事が成功する学術集会は、成功といっていいので、私としては本当によかったと思っています。

Others



その他

出 chapter20











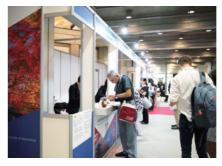


入口 Main Entrance





コングレスバッグ配布所 Congress Bags











受付 Registration











企業展示 Exhibition













昼食風景 Lunch Break



















休憩 Coffee Break













講師控室 Speakers' Ready Room



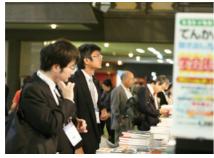






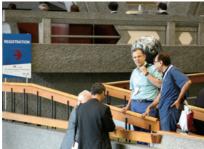
会場風景 Others

















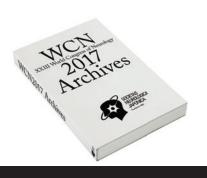








Closing Ceremony September 21, 2017



chapter21 閉会式









138 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 139

閉会式 Closing Ceremony (Thursday, September 21)













世界神経学会議の開催を終えて

第23回世界神経学会議学術プログラムWFN委員 東京大学名誉教授・東京大学医学系研究科特任教授

辻 省次

私は、2017年に京都で開催された第23回世界神 経学会議 (WCN2017) において、実行委員会の委 員の一人としてその開催準備に参加しました。 WCN2017の招致が決まってから、長期間にわたっ て、学術プログラム、教育プログラムの委員会をは じめとする委員会で議論を積み重ねて、プログラム の構成を決めていきました。私はWorld Federation of Neurology (WFN) 側のSPCの委員として WCN2015にも関わりましたが、最先端の研究成果 とともに、地域や分野、発展途上国にも目配りをし たバランスのとれた内容にすることが目指されまし た。WFNの運営予算が、WCNの収益に大きく依 存していることもあって、参加登録費がどうしても 高額になりがちですが、日本神経学会では、WFN と相当に突っ込んだ議論をして、できるだけ参加し やすいところに持って行く努力をしました。

また、若手の参加者に対しては、別途サポートを する対応も行い、若手の方々には好評であったと聞 いています。

1981年に京都で開催された XII WCN は、その内容、位置づけの点で、今回のWCN2017 とは好対照であると感じます。1981年のWCN の時は、私は卒業後5年目で、海外の国際学会はもとより、海外旅行の経験すらありませんでした。その時に、初めて世界の神経学がどのようなものかを目の当たり

にして、世界と日本の格差を痛切に実感し、実に衝撃的な印象を受けました。目から鱗という言葉がま さに当てはまるという状況でした。

今回の世界神経学会は、1981年当時とは段違いで、日本は世界の神経学のトップレベルの一員になったことを実感できる学会でした。日本神経学会の若手の方々も、臆することなく堂々と発表し、対等の立場で議論を展開でき、交流できる姿を見て、隔世の感を受けました。つまり、今回の日本での開催は、先進国で開催されるWCNとして充実した役割を十分に果たせた内容になったと思います。

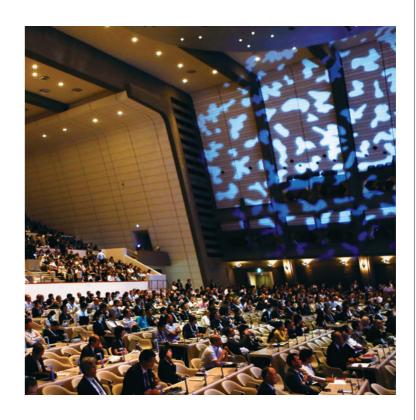
将来を見据えて、日本神経学会、WFNの発展という視点に立ちますと、努力すべき課題も見えてくるように思います。日本が神経学の先進国に仲間入りしている現在、目指すべきところは、世界をリードする役割を果たす、すなわち、日本の神経学を更に高いレベルに発展させることが期待されます。またWFNにおいては、WCNの開催について伝統的とも言える企画運営をしてきていますが、一方で新しい取り組み、展開をすることは容易でない印象も持ちます。WFNのあり方などについても、日本神経学会がさらに積極的に関わり、執行部に参加して改革していくことも必要ではないかと思います。世界の神経学のさらなる発展に向けて、WFN、そして日本神経学会のさらなる発展を祈念しています。

Data



データ

付録1



1.名誉会員

WCN2017 WFN委員会 Congress Committees

WFN Congress President Hidehiro Mizusawa WFN President Raad Shakir First Vice President, WFN Congress Committee Chair William Carroll Secretary-General Wolfgang Grisold WFN Scientific Program Committee Co-Chair Werner Poewe WFN Education Program and Teaching Course Co-Chair Sarosh Katrak WCN 2019 Congress President Suhail Alrukn WCN 2015 Congress President Renato Verdugo Chairman, ARC Michael Weller Congress Organising Committee JSN/AOAN JSN President, Congress Secretary Rvosuke Takahashi Man Mohan Mehndiratta (2012-2016) **AOAN President** Beomseok Jeon (2016-) JSN WFN Delegate Hidehiro Mizusawa Local Scientific Program Committee Chair Yoshikazu Ugawa Local Education Program and Teaching Course Chair Ryuji Kaji Local Advisory Committee Chair Gen Sobue Asia/Oceania Advisary Committee Chair Nobutaka Hattori Local Finance Committee Chair Norihiro Suzuki Junichi Kira Local Social Program Committee Chair WFN Co-Chair Werner Poewe Claudio Bassetti Donna Bergen Jerome Engel John England Jose Ferro Matthew Kiernan Matthew Stern Gene Sung Shoji Tsuji Congress Scientific Program Michael Weller Committee JSN/AOAN Co-Chair Yoshikazu Ugawa Koji Abe Koichi Hirata Satoshi Kamei Susumu Kusunoki Hideki Mochizuki Shun Shimohama Gen Sobue Norihiro Suzuki Liying Cui Beomseok Jeon WFN Co-Chair Sarosh Katrak Stephen Davis Wolfgang Grisold Jera Kruja Steven Lewis Pierre Luabeya Michael Weller Congress Education Program and Marco Medina **Teaching Course Committee** JSN/AOAN Co-Chair Ryuji Kaji Takashi Kanda Masayasu Matsumoto Kenii Nakashima Masatoyo Nishizawa Hidenao Sasaki

WCN2017 ローカル委員会

	1.有識者	
	五十嵐 隆	国立成育医療研究センター
	池淵 惠美	帝京大学
	大隅 典子	東北大学
	岡部 繁男	東京大学
	苧阪 満里子	大阪大学
	春日 雅人	国立国際医療研究センター
	片岡 一則	東京大学
	嘉山 孝正	山形大学
	川人 光男	脳情報通信総合研究所
	木山 博資	名古屋大学
	小池 和彦	東京大学
	高久 史麿	日本医学会
	田中 啓治	理化学研究所
	田中 啓二	東京都医学総合研究所
	鳥羽 研二	長寿医療研究センター
	永井 良三	自治医科大学
	樋口 輝彦	国立精神・神経医療研究センター
第23回	福井 次矢	聖路加国際大学
世界神経学会議	本間 さと	北海道大学
	水間 正澄	昭和大学
(WCN2017)	桃井 眞里子	国際医療福祉大学
組織委員会	山脇 成人	広島大学
	横倉 義武	日本医師会
	2.日本神経学会	関係
	糸山 泰人	国際医療福祉大学
	宇川 義一	福島県立医科大学
	岡野 栄之	慶応義塾大学
	梶 龍兒	徳島大学
	吉良 潤一	九州大学
	葛原 茂樹	鈴鹿医療科学大学
	鈴木 則宏	慶応義塾大学
	祖父江 元	名古屋大学
	髙橋 良輔	京都大学
	武田 雅俊	大阪大学
	辻 省次	東京大学
	中田 力	新潟大学
	服部 信孝	順天堂大学
	萬年 徹	三井記念病院
	水澤 英洋	国立精神・神経医療研究センター
	栁澤 信夫	東京工科大学
		(50音順)

熊本大学
国際医療福祉大学
メディカルクリニック柿の木坂
城南病院
山王病院·山王メディカルセンター
認知症予防財団
今村病院分院
アイオワ大学
埼玉精神神経センター
立川病院/東海大学
京都大学
新古賀病院
帝京大学
国立精神·神経医療研究センター
名古屋大学
東海中央病院/名古屋大学
金沢西病院
東京医科歯科大学
国際医療福祉大学
京都新薬開発支援センター
宇多野病院/京都武田病院
埼玉医科大学
北神経内科平山記念クリニック
浅ノ川総合病院
福内ペインクリニック
南風病院
三井記念病院
順天堂大学
関東労災病院
多根総合病院
並木病院
高松神経内科クリニック
岡山大学
熊本大学
福島県立医科大学
徳島大学
日本大学
山口大学
九州大学
近畿大学
千葉大学
北海道大学
札幌医科大学
慶應義塾大学
名古屋大学
石口庄八子
京都大学
東京大学
東京大学
三重大学
松江医療センター
新潟大学
北里大学
順天堂大学
獨協医科大学
星ヶ丘医療センター

水澤 英洋

村田 美穂

望月 秀樹

山田 正仁

第23回

世界神経学会議

(WCN2017)

国内諮問委員会

(50音順)

国立精神・神経医療研究センター

国立精神・神経医療研究センター

大阪大学

144 WCN2017 Archives WCN2017 Archives 145

Lawrence Wong

WCN2017 ローカル委員会

	水澤 英洋	国立精神・神経医療研究セン	<i>γ</i> Α	
	髙橋良輔	京都大学		
第23回世界神経学会議(WCN2017)	宇川 義一	福島県立医科大学		
幹事会	梶 龍兒	徳島大学		
	辻 省次	東京大学		
		未		
	委員長	水澤 英洋	国立精神・神経医療研究センター	
	大会事務長	高橋 良輔	京都大学	
	学術委員長	宇川義一	福島県立医科大学	
	教育委員長	程 龍兒	徳島大学	
第23回世界神経学会議(WCN2017)	WFN学術委員	辻 省次	東京大学	
実行委員会	諮問委員長	祖父江元	名古屋大学	
关17女员女	財務委員長	鈴木 則宏	慶應義塾大学	
	社交プログラム委員長	吉良 潤一	九州大学	
	AOAC委員長	服部 信孝	順天堂大学	
	委員(幹事)	松本理器		
	安貝(軒事)	松本 珪鉛	京都大学	
	委員長	Nobutaka Hattori		
	安貝衣 委員	Jasem Y Al-Hashel		
	委員 委員	Abdias V Aquino		
	女员 委員			
			Saeed Bohlega	
	委員		Natan Bornstein	
	委員		Siwaporn Chankrachang	
	委員	Rashad Al Dhebai		
第23回世界神経学会議(WCN2017)	委員	Dede Gunawan		
アジア・オセアニア諮問委員会	委員	Le Duc Hinh Jihad Inshasi		
	委員	Altynay Karimova		
(WCN2017 Asia/	委員 ***			
Oceania Advisory Committee)	委員 委員	Ahmed Khalifa Nabil Mohsen		
	委員	Hossein Pakdaman Bimsara Senanayake		
	委員			
	委員		Louis Whew Seng Tan	
	委員 委員		Mohammed AL Shehab	
			Dashzeveg Shuren	
	委員	Ching-Piao Tsai		
	委員	Mohammad Wasay		
	委員長	吉良 潤一	九州大学	
	副委員長		京都府立医科大学	
	委員	青木 正志	東北大学	
	委員	安東 由喜雄	熊本大学	
	委員 委員	木下 彩栄	京都大学	
	委員 委員	植 進	近畿大学	
	委員 委員			
第23回世界神経学会議(WCN2017)		高橋 良輔	京都大学	
社交プログラム委員会	委員	富本 秀和	三重大学	
	委員 	松本理器	京都大学	
	委員	水澤 英洋	国立精神・神経医療研究センター	
	委員 	村井弘之	九州大学	
	協力委員	高橋 牧郎	大坂赤十字病院	
	協力委員	田中 正美	京都民医連中央病院	
	協力委員	宮本 勝一	近畿大学	
	協力委員	松井 大	大津赤十字病院	

WCN2017 ローカル委員会

	委員長	神田 隆	山口大学
	委員	岩田 誠	メディカルクリニック柿の木坂
	委員	宇川 義一	福島県立医科大学
第23回世界神経学会議(WCN2017)	委員	岡本 浩一郎	新潟大学
トーナメント準備委員会	委員	楠 進	近畿大学
	委員	髙尾 昌樹	埼玉医科大学
	委員	廣瀬 源二郎	浅ノ川総合病院
	委員	松本 理器	京都大学
	委員長	葛原 茂樹(2011.7~2012.1)	鈴鹿医療科学大学
	委員長	髙橋 良輔(2012.1~2014.5)	京都大学
	委員	阿部 康二	岡山大学
	委員	宇川 義一	福島県立医科大学
	委員	梶 龍兒	徳島大学
	委員	桑原 聡	千葉大学
世界神経学会議招致委員会	委員	中野 今治	自治医科大学
世介忡柱子云 俄指以安貝云	委員	西野 一三	国立精神・神経医療研究センター
	委員	橋本 しをり	東京女子医科大学
	委員	服部 信孝	順天堂大学
	委員	松本 理器	京都大学
	委員	水澤 英洋	東京医科歯科大学
	委員	山村 隆	国立精神・神経医療研究センター
	委員	吉田 眞理	愛知医科大学



一般参加者 国·地域別人数(多い順)

COUNTRY/REG		Total
JAPAN	日本	5098
USA	アメリカ合衆国	307
INDONESIA	インドネシア	268
INDIA	インド	203
REPUBLIC OF KOREA	韓国	201
TAIWAN R.O.C.	台湾	152
THAILAND	タイ	148
AUSTRALIA	オーストラリア	126
PHILIPPINES	フィリピン	123
CHINA	中国	122
TURKEY	トルコ	103
HONG KONG S.A.R.	香港	91
UK	イギリス	88
RUSSIA	ロシア	76
CANADA	カナダ	65
BRAZIL	ブラジル	65
CZECH REPUBLIC	チェコ共和国	64
SINGAPORE	シンガポール	52
MALAYSIA	マレーシア	50
MEXICO	メキシコ	49
BANGLADESH	バングラデシュ	46
ARGENTINA	アルゼンチン	43
PAKISTAN	パキスタン	42
GERMANY	ドイツ	41
FRANCE	フランス	41
THE NETHERLANDS	オランダ	37
MOROCCO	モロッコ	36
ISRAEL	イスラエル	36
ROMANIA	ルーマニア	34
SLOVAK REPUBLIC	スロバキア	32
SWITZERLAND	スイス	31
SRI LANKA	スリランカ	30
LITHUANIA	リトアニア	29
IRAN	イラン	29
ITALY	イタリア	28
SWEDEN	スウェーデン	27
BELGIUM	ベルギー	26
VIETNAM	ベトナム	25
SPAIN	スペイン	25
POLAND	ポーランド	23
AUSTRIA	オーストリア	23
NORWAY	ノルウェー	21
EGYPT	エジプト	21
UZBEKISTAN	ウズベキスタン	19
COLOMBIA	コロンビア	19
UKRAINE	ウクライナ	17
SUDAN	スーダン	17
NEW ZEALAND	ニュージーランド	17
KAZAKHSTAN	カザフスタン	16
TUNISIA	チュニジア	15
BULGARIA	ブルガリア	15
CHILE	チリ	14
ALGERIA	アルジェリア	14
SAUDI ARABIA	サウジアラビア	13
PERU	ペルー	12
DENMARK	デンマーク	12
FINLAND	フィンランド	11
PORTUGAL	ポルトガル	10
MONGOLIA	モンゴル	10
MOLDOVA	モルドバ共和国	10
KYRGYZSTAN	キルギス共和国	10
GREECE	ギリシャ	10
MYANMAR	ミャンマー	9
NEPAL	ネパール	8
LATVIA	ラトビア	8

COUNTRY/REG		Tota
CROATIA	クロアチア	8
PARAGUAY	パラグアイ	
LEBANON	レバノン	
BOSNIA-HERZEGOVINA	ボスニア・ヘルツェコビナ	
UNITED ARAB EMIRATES	アラブ首長国連邦	(
SERBIA	セルビア	(
HONDURAS	ホンジュラス	(
GEORGIA	ジョージア	(
SENEGAL	セネガル	
DEMOCRATIC REP OF THE CONGO	コンゴ民主共和国	
BELARUS	ベラルーシ	
REUNION	レユニオン	
NIGERIA	ナイジェリア	
KUWAIT	クウェート	
BOLIVIA	ボリビア	
SOUTH AFRICA	南アフリカ	
QATAR	カタール	
JORDAN	ヨルダン	
IRELAND	アイルランド	
ICELAND	アイスランド	
HUNGARY	ハンガリー	
	ガーナ	_
GHANA		
ESTONIA	エストニア	
EL SALVADOR	エルサルバドル	-
ECUADOR	エクアドル	
ARMENIA	アルメニア	
YEMEN	イエメン	
SLOVENIA	スロベニア	
MONTENEGRO	モンテネグロ	
LIBYA	リビア	
LAO PDR	ラオス	
KENYA	ケニア	
DOMINICAN REPUBLIC	ドミニカ共和国	
AFGHANISTAN	アフガニスタン	
ZIMBABWE	ジンバブエ	
URUGUAY	ウルグアイ	
THE GAMBIA	ガンビア	
TANZANIA	タンザニア	
SYRIA	シリア	
OMAN	オマーン	
MALTA	マルタ	
MACAU	マカオ	
LIBERIA	リベリア	
KIRIBATI	キリバス	
JAMAICA	ジャマイカ	
IRAQ	イラク	
GUATEMALA	グアテマラ	
GUAM	グアム	
ETHIOPIA	エチオピア	
CYPRUS	キプロス	
COSTA RICA	コスタリカ	
BRUNEI	ブルネイ	
BENIN	ベナン	
AZERBAIJAN	アゼルバイジャン	
ALBANIA	アルバニア	
ALDAINA	/ /// / /	

国内	5098	
国外	3519	
参加国	115ヵ国	
参加地域	5地域	
(†グアム、香港、マカオ、台湾、レユニオン)		

招待演者 国·地域別人数(多い順)

COUNTRY/REG		Tota
Japan		69
USA		5
UK		2
Australia		10
Germany		14
Austria		10
India		10
Korea		10
France		
Brazil		8
Switzerland		
Italy		(
Canada		
Taiwan(地域)		4
China		-
Hong Kong(地域)		
Morocco		
Netherlands		
Singapore		
Turkey		
Chile		
Egypt		
Spain		
Sudan		
Sweden		
Tunisia		
Argentina		
Belgium		
Ghana		
Honduras		
Indonesia		
Israel		
Lebanon		
Malaysia Now Zoolond		
New Zealand		
Nigeria		
Norway		
Pakistan		
Philippines		
Saudi Arabia		
Senegal		
South Africa		
Thailand		
United Arab Emirates		
合計		298
		-
	日本	69
	海外	229



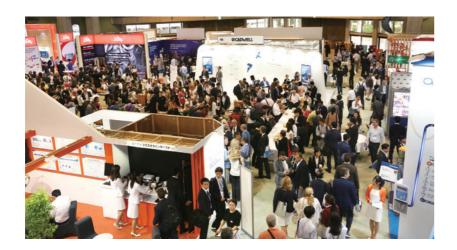




共催/展示/広告 企業一覧

日本製薬団体連合会	
アステラス製薬株式会社	
アッヴィ合同会社	
アレクシオンファーマ合同会社	
株式会社医学書院	
InSightec Japan株式会社	
エーザイ株式会社	
エフピー株式会社	
大井書店	
大塚製薬株式会社	
株式会社オーファンパシフィック	
小野薬品工業株式会社	
一般財団法人化学及血清療法研究所(化血研)	
株式会社ガリバー	
株式会社紀伊國屋書店	
協和発酵キリン株式会社	
グラクソ・スミスクライン株式会社	
株式会社コスミックコーポレーション	
CYBERDYNE株式会社	
サノフィ株式会社	
GEヘルスケア・ジャパン株式会社	
株式会社JVCケンウッド	
株式会社 神陵文庫	
株式会社スクラム	
第一三共株式会社	
第一薬品産業株式会社	
大日本住友製薬株式会社	
武田薬品工業株式会社	
田辺三菱製薬株式会社	
帝人ファーマ株式会社	
日本イーライリリー株式会社	
日本光電工業株式会社	
日本ストライカー株式会社	
日本製薬株式会社	
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	
日本メジフィジックス株式会社	
日本メドトロニック株式会社	
ノバルティス ファーマ株式会社	
バイエル薬品株式会社	
バイテックグローバルエレクトロニクス株式会社	

ファイザー株式会社
フィリップス・レスピロニクス合同会社
富士フイルムRIファーマ株式会社
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
マイランEPD合同会社
丸善雄松堂株式会社大阪支店
株式会社メディカルニクス
ヤンセンファーマ株式会社
ユーシービー ジャパン株式会社
株式会社ユニークメディカル
株式会社リコー
ワイリー・ジャパン株式会社
American Academy of Neurology
Asian and Oceanian Congress of Neurology (AOCN) 2018
Biogen
BioMarin Pharmaceutical
Brain & Spine Institute (ICM)
Cadwell Industries, Inc.
DEYMED Diagnostic s.r.o.
ELSEVIER
Frontiers in Neurology
International League Against Epilepsy
Invitae
KoNECT
Lilly
Medtronic
Moleac Pte Ltd
Natus Neurology Incorporated
Neurosoft
Novartis Pharma AG
Palais des congrès de Montréal
Pfizer
Quanterix Corporation
Taiwan Association for International Care of Organ Transplants (TAICOT)
Takeda Pharmaceutical International AG
Teva Pharmaceutical
Wolters Kluwer
World Parkinson Coalition
World Stroke Organization







招致・準備活動の6年間を 振り返って

第23回世界神経学会議 実行委員(幹事) 京都大学神経内科准教授

松本 理器

私は国際対応委員会幹事として、2011年のモロッコ 大会前後から大会の招致・準備に携わる機会をいただ きました。2013年のウィーン大会では、前夜に Japan Nightを開催し、代議員総会直前には学会員一丸とな って和装・法被姿で招致活動を行いました。約2年の 招致活動が実を結び招致が決定しましたが、その瞬間 は、招致活動のムービーのハイテンポの音楽とともに、 今でも鮮明に思い出されます。その後WCN2017実 行委員会幹事として、2015年のチリ大会・2016年の アムステルダム欧州神経学会議でのプロモーション、そ して直前の海外コングレス運営会社とのやりとりを含 め、6年の長丁場を経験いたしました。全国の諸先生 の激励・ご協力、そして神経学会事務局の献身的なご 尽力の賜物により、京都大会は秋篠宮殿下・妃殿下を お迎えして歴代最高の参加者数となりました。まさに 大会テーマのDefining the Future of Neurologyを世 界各国からの参加者と実践することができました。大 会の準備・本番を通じて国内外のかけがえのないご縁 と経験を得ることができ感謝申し上げます。

WCN2017 開催までの主な国内外での招致·準備活動

2011年	11月	WCN2011 (マラケシュ):WFN幹部と日本開催の可能性について協議
2012年	6月	AOCN/AOAN(メルボルン):日本(京都)での開催意思を表明。ブース出展
	11月	サイトビジット(京都):WFNによる会場等の現地調査
2013年	1月	WFNに京都での開催を正式申請
	5~6月	第54回日本神経学会学術大会(東京):JSN-WFN/Asia Initiative Symposium: Developing Neurology in the Worldを開催し、 国内外にJSNの国際的実力をアビール
	9月	WCN2013(ウイーン):会場にて日本開催をアピールする活動を実施、各国Delegateを招きJapan Nightを開催⇒WFN総会で招致決定
2014年	3月	AOCN/AOAN(マカオ):展示ブースを出展し、広報活動を実施。開催計画等についてWFN会長・副会長と協議
	4月	WFN・JSN間で、WCN2017実施に関する契約書締結
	4~5月	AAN(フィラデルフィア):WFN, JSN, AOAN代表者等からなるCongress Committee(CC)開催
	5月	第55回日本神経学会学術大会(福岡):WCN2017への参加を促す広報活動を実施
	9月	WFN総会(ボストン):Congress Committee (CC) 開催
	10月	WCN2017実行委員会の設置など日本側の準備、実施体制を整備
	11月	平成26年度日本政府観光局(JNTO)「国際会議誘致貢献賞」受賞(右の写真)
2015年	1月	WCN2017組織委員会、WCN2017諮問委員会を設置
	4月	AAN(ワシントンDC):Congress Committee(CC)開催
	5月	第56回日本神経学会学術大会(新潟):第1回諮問委員会、AOAC (アジア・オセアニア諮問委員会) を開催
	9月	サイトビジット(京都):WFN・JSNの役割分担、開催計画、実施体制等を検討
	10~11月	WCN2015(サンティアゴ):展示ブースを出展し、呈茶、折り紙実演、バンフレット配布、日本酒などで日本(京都)をアピール
2016年	5月	第57回日本神経学会学術大会(神戸): 第2回諮問委員会、AOACを開催。ビデオによる広報活動、共催セミナー・企業展示に関する企業説明会(第1回)を実施。Congress Committee (CC) 開催
	5月	日本学術会議との共同主催が決定、皇室のご臨席を要望
	8月	AOCN/AOAN(クアラルンプール):展示ブースを出展し、広報活動を実施。WFN会長・副会長と協議
	9月	第2回企業説明会
	9月	WFN総会(プラハ):Congress Committee(CC)開催(準備状況を報告)
2017年	3月	日本学術会議と開催準備と運営に関する合意書締結
	4月	AAN(ボストン):展示ブースを出展し、呈茶、折り紙実演、バンフレット配布等により日本(京都)開催をアピール。Congress Committee (CC) 開催
	6月	EAN(アムステルダム):展示ブースを出展し、広報活動を実施
	7月	ケネス社によるサイトビジット(京都):実施計画を調整
	9月	WCN2017開催(京都)











Time Table

タイムテーブル







付録2



SATURDAY, SEPTEMBER 16, 2017

Teaching Course	Scientific Session: Main Topics	Free Papers
Plenary Lecture	Regional Symposium Session	1 Scientific Session: Topics
International Pharma Sponsored Symposium	Tournament of the Minds	Breaks
	Japanese Pharma Sponsored Symposium	Japanese Scientific Session

	Room A	Annex Hall 2	Room D	Room E	Room B-1	Room B-2	Room C-1
14:30 - 18:00		"Teaching Course 2: Headache Chairs: David Dodick, USA and K. Ravishan- kar, India		Teaching Course 4: Neurorehabilitation Chairs: Leonard Li, Hong Kong and Takashi Nakajima, Japan	Teaching Course 5: Neurology and Internal Medicine Chairs: Steven Lewis, USA and R.S Wadia, India	Teaching Course 6: Rare Cases in Clinical Practice (Tournament Com- mittee) Chairs: Richard Stark, Australia and Takashi Kanda, Japan	Teaching Course 7: Myopathy Chairs: Marianne De Visser, The Neth- erlands and Ichizo Nishino, Japan
	14:30 - Diagnostic Approach in CNS Demyelinating Diseases Ching-Piao Tsai, Taiwan	14:30 - Other 'Primary Headaches' Shuu-Jiun Wang, Taiwan	14:30 - How to Begin Multi- modality Monitoring Kiwon Lee, USA	14:30 - Cybernic Treatment with the Cyborg-Type Robot HAL: En- hancing Functional Regeneration in Patients With Rare Incurable Neuromus- cular Diseases Takashi Nakajima, Japan	14:30 - Neurology of Vitamin B12 Deficiency R.S Wadia, India	14:30 - Headache Richard Stark, Australia	14:30 - Making Sense of the Clinical Spectrum of Limb Girdle Muscular Dystrophy Satish Khadilkar, India
	tion in MS	15:15 - Looking at "Thun- derclap Headache (TCH)" Differently? K. Ravishankar, India	15:15 - Treatment of Intracra- nial Hypertension Gene Sung, USA	15:15 -	15:15 - Neurology of Organ Dysfunction Steven Lewis, USA	15:00 - Peripheral Neurop- athy Takashi Kanda, Japan 15:30 - Stroke & Neu- rovascular Disease Faouzi Belahsen, Morocco	15:15 - How to Approach Non-Limb-Girdle Weakness Marianne De Visser, The Netherlands
			Coffee Break	outside session halls	(16:00-16:30)		
	16:30 - Therapeutic Approach of MS Hans Peter Hartung, Germany	16:30 - Other Second- ary Headaches (Non-Thunderclap) Rashmi Halker, USA	16:30 - Beginning or Revers- ing Anticoagulation In Acute Neurological Disease Alejandro Rabinstein, USA	16:30 - Recent Advance in Stroke Rehabilitation Meigen Liu, Japan	16:30 - Neuromuscular Com- plications of Cancer Wolfgang Grisold, Austria	16:30 - Neuro-Infection Nicholas Davies, UK	16:30 - How to Read Muscle Pathology Ichizo Nishino, Japan
	17:15 - Treatment Strategy of NMOSD Ho Jin Kim, Republic of Korea	17:15 - Trigemino-Auto- nomic Cephalalgias (TACS)-Diagnosis and Treatment David Dodick, USA	17:15 - Hemodynamic Therapy in Acute Neu- rological Disease Liping Liu, China	17:15 - Hemiplegic Shoulder Pain: Strategy for Intervention Leonard Li, Hong Kong	17:15 - Neurologic Disorders in Patient with HIV Virus Infection Parthasarthy Satish- chandra, India	17:00 - Polyneuropathies and Myopathies Ricardo Fadic, Chile 17:30 -	17:15 - Treatment Approach- es in Hereditary Myopathies Zohar Argov, Israel
						Mononeuropathies Andrea Vass, Austria	

SUNDAY, SEPTEMBER 17, 2017

	Main Hall - Plenary	Annex Hall 2
07:00 - 08:00		Morning Teaching Course 33 Disturbances of vision and eye movements Chair: Yasuo Terao, Japan Speaker: Christopher Kennard, UK
08:00 - 09:15	Plenary Lecture 1: Fulton Award Lecture - Monitoring and Engineering Memory Engram Cells and Their Circuits (08:00-08:45) Chairs: Ryosuke Takahashi, Japan and Amadou Gallo Diop, Senegal Speaker: Susumu Tonegawa, Japan	
	Plenary Lecture 2: Precision Medicine in TBI: Lessons from Dopaminergic Treatment of Cognitive Impairment (08:45-09:15) Chairs: Ryosuke Takahashi, Japan and Amadou Gallo Diop, Senegal Speaker: David Sharp, UK	

	Main Hall - Plenary	Prince Hall (Grand Prince Hotel)	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2	Room D
10:45	M1a: Epilepsy - What is in a Name? New Epilepsy Definition and Classification and Why it Matters to the Clinician Chairs: Jacqueline French, USA and Naoki Akamatsu, Japan	M2a: MS and Other Inflammatory Diseases - Features and Diagnostic Approach in CNS Demy- elinating Diseases Chairs: Kazuo Fujihara, Japan and Hans Peter Hartung, Germany	Teaching Course 8: Stroke I Chairs: Stephen Davis, Australia	T1a: Neurorehabilitation Including Brain Machine Interface (BMI) - Inno- vative Approaches to Neurorehabilitation: Basic Neuroscience Chairs: Leonard Li, Hong Kong and Meigen Liu, Japan		Free Papers: Neuromus- cular Disorders Chair: Satoko Miyatake , Japan and Katsuhisa Ogata, Japan
09:40	New Definition of Epilep- sy-Who has Epilepsy Now That Didn't Have it Before? Jacqueline French, USA	New Diagnostic Criteria and Phenotypes of MS Alan Thompson, UK	09:15 - Setting Up a Stroke Unit Michael Brainin, Austria	Facilitation of Synaptic AMPA Receptor Delivery Leading to the Acceleration of Recovery of Motor Func- tion with Rehabilitation after Brain Injury Takuya Takahashi, Japan		
10:05	New Classification of Epi- lepsy and its Syndromes Emilio Perucca, Italy	Pediatric CNS Demyelinat- ing Diseases Silvia Tenembaum, Argentina	10:00 - What's New in Acute Stroke Therapy Stephen Davis, Australia	Experimental Neuroreha- bilitation Training Michael Selzer, USA	10:00 - Autoimmune Astrocytop- athies Vanda Lennon, USA	Select abstracts
10:30	New Seizure Names - What Happened to the "Complex Partial Seizure"? Ingrid Scheffer, Australia			Functional Recovery Secondary to Neural Stem/ Progenitor Cells Trans- plantation Combined with Treadmill Training in Mice with Chronic Spinal Cord Injury Syoichi Tashiro, Japan		
10:30 - 10:45	Discussion	Discussion		Discussion		
10:45 -				c ((
11:15		Inaugura	I Exhibition Opening and	Coffee Break in the Exhibi	tion Area	

Teaching Course	Scientific Session: Main Topics	Free Papers
Plenary Lecture	Regional Symposium Session	1 Scientific Session: Topics
International Pharma Sponsored Symposium	Tournament of the Minds	Breaks
	Japanese Pharma Sponsored Symposium	Japanese Scientific Session

Room E	Swan Hall	Room B-1	Room B-2	Room C-1	Room C-2
T2a: Neurocritical Care Chairs: Masao Nagayama, Japan and Gene Sung, USA	WFN Council of Delegates	Teaching Course 10: Dementia I - Basic Chairs: Vincent Mok, Hong Kong and Murat Emre, Turkey	Free Papers: Ataxia and Cerebellar Disorders Chairs: Kinya Ishikawa, Japan and Yuji Takahashi, Japan		Teaching Course 11: Neurosonology Work- shop Chairs: Massimo Del Sette, Italy and Alexander Razumovsky, USA
(09:15-9:35) Managing Stroke After TPA/Embolectomy Kiwon Lee, USA		09:15 - Clinical Spectrum of AD: Non-Amnestic Variants as a Diagnostic Conundrum Morris Freedman, Canada			Part I. Vascular Neuro- sonology (09:15-11:45) 09:15 - Evidence Based Neuro- sonology Massimo Del Sette, Italy
(09:35-09:55) Updates In Managing ICH and SAH Claude Hemphill, USA					09:45 - Neurosonology and Its Role for Extracranial Carotid Artery Disease Manfred Kaps, Germany
(09:55-10:15) Neuromuscular Disease in the ICU Gisele Sampiao Silva, Brazil		10:00 - Current Alzheimer Treat- ments Shun Shimohama, Japan	Select abstracts		
(10:15-10:35) Status Epilepticus Claude Hemphill, USA (10:35-10:45)					10:15 - TCCD Ultrasound in Guid- ing Vasospasm Treatment After SAH Fabienne Perren, Swit- zerland
Discussion	Inquestra	Exhibition Opening and	Coffee Break in the Exhibi	tion Aroa	
	iliaugura	LAMBICION OPENING AND	Confee break in the Exhibi	נוטוו הוכמ	

SUNDAY, SEPTEMBER 17, 2017 (cont'd)

	Main Hall - Plenary	Prince Hall (Grand Prince Hotel)	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2	Room D
11:15 - 12:45	and Akio Ikeda, Japan	M2b: MS and Other Inflammatory Diseases - Immunopathology and Pathogenesis of MS and NMOSD Chairs: Jun-ichi Kira, Japan and Hans Peter Hartung, Germany	Teaching Course: Stroke I (Cont'd)	T1b: Neurorehabilitation Including Brain Machine Interface (BMI) - Inno- vative Approaches to Neurorehabilitation: Clinical Application Chairs: Leonard Li, Hong Kong and Meigen Liu, Japan		Free Papers: Dementia 1 Chair: Hamidone Basri, Malaysia
11:15 - 11:40	Epilepsy Manage- ment-Does Gender Matter? How Should Initial Treat- ment Choices be Impacted by Gender? How do Birth Control Options Impact Epilepsy Therapy and Vice Versa? Jacqueline French, USA	Immunological Abnormalities and Immune-regulation in MS Hans Peter Hartung, Germany	11:15 - Advances in Etiology and Treatment of Cryptogenic Stroke Bo Norrving, Sweden	Plasticity of Expert Networks in Health and Disease Stephanie Clarke, Swit- zerland	11:15 - Antibody Mediated Neuronal Diseases and Im- munopathogenic Insights Romana Höftberger, Austria	Select abstracts
11:40 - 12:05	Women with Epilepsy - Hormones and Fertility -What do we Know About Hormone Changes Caused by Seizures and their Im- pact. What about Fertility? Sanjeev Thomas, India	Pathology of MS Subtypes (RIS, CIS, RRMS, PMS, Balo Disease) Wolfgang Brück, Germany	12:00 - Optimizing Anti- platelet Therapy: When to Start and Stop K.S. Lawrence Wong, Hong Kong	Application of Therapeutic Robotics Leonard Li, Hong Kong	12:00 - Autoimmune Disorders of the Neuromuscular Junction Angela Vincent, UK	
12:05 - 12:30	Epilepsy Management Be- fore and During Pregnancy - Management of AEDS During Pregnancy Torbjorn Tomson, Sweden	Pathogenesis of NMOSD Kazuo Fujihara, Japan		Restoration of Post-Stroke Upper Limb Paralysis With BMI Neurorehabilitation Meigen Liu, Japan		
12:45	Discussion	Discussion		Discussion		
12:45 - 14:45	Lunch Break, Poster and B	E-Poster Viewing and	International Pharma Sponsored Symposium Industry Session 1 Not included in main event CME/CPD credit (13:00-14:30)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 1 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-14:40)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 2 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-14:40)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 3 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45)
	Exhibition Visit					Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 7 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)

Room E	Swan Hall	Room B-1	Room B-2	Room C-1	Room C-2
T2b: Neurocritical Care Chairs: Liping Liu, China and Gene Sung, USA	WFN Council of Delegates (Cont'd)	Teaching Course: De- mentia I - Basic (Cont'd)	T3: Neurology in Migrants Chairs: Mustapha El Alaoui Faris, Morocco and Antonio Federico, Italy		Teaching Course: Neu- rosonology Workshop (Cont'd)
(11:15-11:35) Developing Neurocritical Care in Your Country Gisele Sampiao Silva, Brazil		11:15 - Diagnosis and Management of FTD in Clinical Practice Shinsuke Fujioka, Japan	Neurology and Migrants: What We Know, What We Learned by Neurosciences, What We Can Do? Antonio Federico, Italy		11:15 - Neurosonology as a Critical Tool in Critical Care Alexander Razumovsky, USA Part II. Neurosonology of Peripheral Nerves and Muscles
(11:35-11:55) Neuromonitoring in the ICU Masao Nagayama, Japan			Neurocognitive Disorders in Aging Migrants Mustapha El Alaoui Faris, Morocco		(11:45-15:15) 11:45 - Clinical Relevance of Carotid Atherosclerosis Among Egyptians and Role of Neurosonology for Endovascular Treatment Of Carotid Lesions Foad Abd-Allah, Egypt
(11:55-12:15) Coma Alejandro Rabinstein, USA		12:00 - Dementia Associated with Parkinsonism: The Spectrum Murat Emre, Turkey	Cerebrovascular Risk Factors and Stroke in Migrants Serefnur Ozturk, Turkey		12:15 - Texture Analysis and Other Quantitative Assessment of Skeletal Muscle Images Hiroyuki Nodera, Japan
(12:15-12:35) Determining Brain Death Gene Sung, USA (12:35-12:45) Discussion			Discussion		
Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 4 Not included in main event (12:55-13:45)	Lunch Break, Poster and E-Poster Viewing and Exhibition Visit	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 5 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 6 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45)	International Pharma Sponsored Symposium 2 Industry Session Not included in main event CME/CPD credit (13:00-14:30)	
Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 8 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)		Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 9 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 10 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)		Lunch Break, Poster and E-Poster Viewing and Exhibition Visit

SUNDAY, SEPTEMBER 17, 2017 (cont'd)

	Main Hall - Plenary	Prince Hall (Grand Prince Hotel)	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2	Room D
14:45 - 16:15		M2c: MS and Other Inflammatory Diseases - Emerging Therapeutic Strategy of MS Subtypes and NMOSD Chairs: Tatsuro Misu, Japan and Ho Jin Kim, Republic of Korea	Teaching Course 12: Stroke II Chairs: Christopher Chen, Singapore and Shinichiro Uchiyama, Japan	M1c: Epilepsy - What to Do When Nothing Works Chairs: Jacqueline French, USA and Akio Ikeda, Japan 279	Teaching Course 13: Au- to-Immune Disorders II - Autoimmune Neurolog- ical Disorders: Part 2 Chair: Sean Pittock, USA and Hans Lassmann, Austria	Teaching Course 15: Neuroimaging & Neurointervention Chairs: Raj Kalaria, UK and Hiden- ao Fukuyama, Japan
14:45 - 15:10		Therapeutic Overview of MS - Emerging Goals William Carroll, Australia	14:45 - Stroke and Cognitive Impairment Christopher Chen, Singapore	New Drug or Combina- tions? Eugen Trinka , Austria	14:45 - Autoimmune Encephalo- myelitis and MOGopathy in Humans: What Can We Learn for Multiple Sclerosis Hans Lassmann, Austria	14:45 - Stroke Therapy Joung-Ho Rha, Republic of Korea
15:10 - 15:35		The treatment of progressive MS Alan Thompson, UK		Surgery and Stimulation Treatment (Including Brain Stimulation and VNS) Akio Ikeda, Japan		
15:35 - 16:00		Therapeutic Approach of NMOSD Ho Jin Kim, Republic of Korea	15:30 - Endovascular Thrombecto- my - The Hot News Bernard Yan, Australia	Pediatric Epilepsy and Ketogenic Diet Heung Dong Kim, Republic of Korea	15:30 - Update and Review of BALO's Concentric Sclerosis Katsuhisa Masaki, USA	15:30 - Ischemic Changes of the Brain Observed in PET Studies Hidenao Fukuyama, Japan
16:00 - 16:15		Discussion		Discussion		
16:15 - 16:25			Short	Break		
16:25 - 17:55		M2d: MS and Other Inflammatory Diseases - Cutting-edge Technol- ogies for Diagnosis and Treatment in CNS Demy- elinating Diseases Charts: Kazuo Fujihara, Japan and Giancarlo Comi, Italy	Teaching Course: Stroke II (Cont'd)	M1d: Epilepsy - Diag- nosing and Treating Epilepsy and its Stigma in Resource-restricted Settings Chairs: Amadou Gallo Diop, Senegal and Kazutaka Jin, Japan	Teaching Course: Auto-Immune Disorders II - Autoimmune Neuro- logical Disorders: Part 2 (Cont'd)	Teaching Course: Neuro- imaging & Neurointervention (Cont'd)
16:25 - 16:50		New Biomarker in Demye- linating Disorders Jun-ichi Kira, Japan	16:25 - Atrial Fibrillation - The Latest Advances Shinichiro Uchiyama, Japan	Burden of Epilepsy, is it Related to Restricted Resource? Augustina Charway-Felli, Ghana	16:25 - Approach to Diagnosis of Autoimmune/Inflammatory Spinal Cord Disorders Eoin Flanagan, USA	16:25 - Neuroprotection Provided by Preconditioning and Postconditioning Tetsuya Takahashi, Japan
16:50 - 17:15		Reappraisal of Neurophys- iological Examinations and Therapeutic Neuromod- ulation Giancarlo Comi, Italy		Epilepsy Care Gap Ding Ding, China	17:10 - Autoimmune and Inflammatory Peripheral Neuropathies: Update on Diagnosis and Treatment Hans Peter Hartung, Germany	17:10 - The Use of Probabilistic Human Brain Atlases of Structure and Function in Health and Disease States Raj Kalaria, UK
17:15 - 17:40		Remyelination and Neu- roregenerative Treatment Bruno Stankoff, France		Stigma, a Global or Regional Problem? Kheng-Seang Lim , Malaysia		
17:40 - 17:55 17:55 -		Discussion		Discussion		
18:25			Short	Break		
19:30	Opening Ceremony					
19:30	Welcome Reception in The Swan Banquet Hall & Garden					

Room E	Room B-1	Room B-2	Room C-2	Room H	Room G	
Japanese Scientific Session 1 Chairs: Hidekazu Tomimo- to, Japan and Kazutoshi Nishiyama, Japan	Teaching Course 14: Dementia II - Advanced Chairs: Vincent Mok, Hong Kong and Murat Emre, Turkey	Latin American Regional Symposium - Zika and its Neurologic Conse- quences Chairs: Marco Medina, Honduras and Renato Verdugo, Chile	Teaching Course: Neu- rosonology Workshop (Cont'd)	Free Papers: Movement Disorders 1 Chairs: Chandrashekhar Meshram, India and Bruno Giometto, Italy		
Stroke Yasuo Terayama, Japan	14:45 - The Spectrum of Non-De- generative Dementias in Asian Countries Nagaendran Kandiah, Singapore	Microcephaly and Zika Amilton Antunes Barreira, Brazil	14:45- Ultrasonographic Refer- ence Values of Median, Ulnar Nerve and Cervical Roots in Japanese Multi- center Study Hiroshi Tsukamoto, Japan			
Dementia Shun Shimohama, Japan		Guillain Barre Syndrome and Zika Carlos Pardo, USA		Select abstracts		
Epilepsy Naoki Akamatsu, Japan	15:30 - Vascular Cognitive Impair- ment, Can it Be Prevented? Vincent Mok, Hong Kong	New Spectrum of the Neurologic Consequences of Zika Marco Medina, Honduras	Part III. Hands-on (15:15-17:55)			
Discussion		Discussion				
		Short	Break			
T4: Traumatic Brain Injury - The Neurobiology of Traumatic Brain Injury: The Most Complex injury to the Most Complex Organ Chairs: David Sharp, UK and Christopher Giza, USA	Dementia II - Advanced (Cont'd)	North American Region- al Symposium - Treating and Preventing Common Neurological Conditions Chairs: Ralph Sacco, USA and David Dodick, USA	rosonology Workshop	Free Papers: Neuro-critical Care Chairs: Serefnur Ozturk, Turkey and Uta Meyding-Lamadé, Germany	Free Papers: Stroke 1 Chairs: Jesper Erdal, Denmark and Chokri Mhiri Tunisia	
Long-Term Inflammatory and Neurodegenerative Consequences of Traumatic Brain Injury David Sharp, UK	16:25 - Are Amyloid-Based Therapies Failing and Why? Shun Shimohama, Japan 17:10 - Immune-Based Encephalopathies: A Diagnostic Algorithm Joseph Masdeu, USA	Stroke Ralph Sacco, USA	Part III: Hands-on (continued)	Select abstracts	Select abstracts	
Neuropsychiatric Perspec- tives of TBI Simon Fleminger, UK		Migraine as Another "Common Neurological Disorder" David Dodick, USA				
Age Matters: A Trans- lational Perspective on Pediatric TBI From Coma to Concussion Christopher Giza, USA		Dementia and Alzheimer's Disease — Lessons from the Oldest-old Claudia Kawas, USA				
Discussion		Discussion				
Short Break						

Welcome Reception in The Swan Banquet Hall & Garden

MONDAY, SEPTEMBER 18, 2017

	Main Hall - Plenary	Annex Hall 2
07:00 - 08:00		Morning Teaching Course 34 Coma in the ICU - A General Neurologist's P tive Chair: Erich Schmutzhard, Austria Speaker: Sarosh Katrak, India
08:00 - 09:00	Plenary Lecture 3:Innovative Cybernic Interface in Neurology (08:00-08:30) Chairs: Werner Poewe, Austria and Yoshikazu Ugawa, Japan Speaker: Yoshiyuki Sankai, Japan	
	Plenary 4: Neurology Diseases Global Burden (08:30-09:00) Chairs: Werner Poewe, Austria and Yoshikazu Ugawa, Japan Speaker: Valery Feigin, New Zealand	
09:00 - 10:45	WFN Medals Presentation (09:00-09:20) Chair: William Carroll, Australia Medal for Services to International Neurology -Jun Kimura, Japan Citation: Hidehiro Mizusawa, Japan Medal for Scientific Achievement in Neurology-Angela Vincent, UK Citation: Kevin Talbot, UK Lifetime Achievement Award-Jagjit Chopra, India Citation: Chandrashekhar Meshram, India	
	Presidential Symposium & Soriano Award Lecture - Grid cells and the Medial-Entorhinal Space Network(09:20-10:05) Chairs: Raad Shakir, UK and Hidehiro Mizusawa Japan Speaker: Edvard Moser, Norway Defining the Future of Neurology - Japan, Asia and Oceania (10:05-10:20) Speaker: Hidehiro Mizusawa, Japan Global Neurology Challenges and Way Forward (10:20-10:40) Speaker: Raad Shakir, UK WFN President Elect View for the Four Years Ahead(10:40-10:45)	
10:45 - 11:15	Coffee Break, Poster and E-Poster Viewing and Exhibition Visit	

	Main Hall - Plenary	Prince Hall (Grand Prince Hotel)	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2
11:15 - 12:45	M3a: Neuroimaging, Molecu- lar Functional Imaging Chairs: Hidenao Fukuyama, Japan and Michael Weiner, USA	T5: Headache Chairs: K Ravishankar, India and David Dodick, USA	T7a: Disorders of the Autonomic Nervous System - Evaluation of Autonomic Disorders Chairs: Ryuji Sakakibara, Japan and Eduardo Benarroch, USA	Orientation and Cortical Vestibular Function Chairs: Thomas Brandt, Germany	Free Papers: Autoimmune Disorders 1 Chairs: Arabinda Mukherjee, India and Maged Abdel Naseer, Egypt
11:15 - 11:40	Amyloid and TAU Imaging Nobuyuki Okamaura, Japan	The CGRP Story - From Bench to Bedside David Dodick, USA	General Approach to the Diagnosis of Autonomic Disorders Eduardo Benarroch, USA	Clinical Approach and Imaging of Cortical Vestibular Disorders Marianne Dieterich, Germany	
11:40 - 12:05	ADNI MRI Data Michael Weiner, USA	CSF Pressure Changes - The Ups and Downs Shuu-Jiun Wang, Taiwan	Autonomic Neuropathies Roy Freeman, USA	Clinical Neuro-Otology of Spatial Orientation Adolfo Bronstein, UK	Select abstracts
12:05 - 12:30	SPM Analysis Jean-Baptiste Poline, Canada	Medication Overuse Headache (MOH) -The Controversies and The Consensus K. Ravishankar, India	Synycleinopathies From Auto- nomic Point of View Ryuji Sakakibara, Japan	Body and Soul: Vestibular Dizzi- ness and Psychological Dizziness Jeffrey Staab, USA	
12:30 - 12:45	Discussion	Discussion	Discussion	Discussion	

Teaching Course	Scientific Session: Main Topics	Free Papers	
Plenary Lecture	Regional Symposium Session	1 Scientific Session: Topics	
International Pharma Sponsored Symposium	Tournament of the Minds	Breaks	
	Japanese Pharma Sponsored Symposium	Japanese Scientific Session	

Room D	Room E	Swan Hall	Room B-1	Room B-2
Pan-Arab Regional Sympo- sium - Current Knowledge of Neurological Disorders Among Arabs Chairs: Saeed Bohlega, Saudi Arabia and Suhail Alrukn, UAE	T8a: Palliative Care - General Aspects Chairs: Gian Borasio, Switzerland and Wolfgang Grisold, Austria	Free Papers: Dementia 2 Chairs: Mustapha El Alaoui Faris, Morocco and Pairoj Boonlongc- huen, Thailand	Free Papers: Epilepsy 1 Chair: Hassan Hosny, Egypt	Teaching Course 16: Botuli- num Toxin Workshop - Why, When and How to Inject Botulinum Toxin: A Guide for Clinicians Chairs: Raymond Rosales, Philip- pines and Erle Lim, Singapore
(11:15-11:35) Multiple Sclerosis in The Middle East And North Africa Bassem Yamout, Lebanon	Educational: What is Palliative Care M.R. Rajagopal, India			11:15 - How to Optimize BoNT Delivery Erle Lim, Singapore
(11:35-11:55) Neuromuscular Disorders Among Arabs - How Much we Know? Ammar Babikir, Sudan	Transcultural Aspects Mieko Ogino, Japan	Select abstracts	Select abstracts	
(11:55-12:15) Genetic of Parkinson's Disease Among Arabs Saeed Bohlega, Saudi Arabia	End of Life Decisions in Neu- rology Gian Borasio, Switzerland			
(12:15-12:35) Features of Hereditary Spastic Paraplegias in North African Region Chokri Mhiri, Tunisia				12:00 - BoNT in Common Neurological Disorders Raymond Rosales, Philippines
(12:35-12:45) Discussion	Discussion			

MONDAY, SEPTEMBER 18, 2017 (cont'd)

	Main Hall - Plenary	Prince Hall (Grand Prince Hotel)	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2	Room D
12:45 - 14:45				International Pharma Sponsored Symposium 3 Industry Session Not included in main event CME/CPD credit (13:00-14:30)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 11 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 12 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45)
	Lunch Break, Po	ster and E-Poster Viewing an	d Exhibition Visit		Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 17 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 18 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)
14:45 - 16:15	M3b: Neuroimaging, Molecular Functional Imaging Chair: Faouzi Belahsen, Morocco and Kenichi Oishi, USA	Teaching Course 17: Neuro-Oncology Chairs: Lawrence Cher, Australia and Michael Weller, Switzerland	T7b: Disorders of the Autonomic Nervous System - Pathophysiolo- gy and Management of Autonomic Disorders Chairs: Ryuji Sakakibara, Japan and Eduardo Benar- roch, USA	Japanese Scientific Session 2 Chairs: Miho Murata, Japan and Ichiro Nakashi- ma, Japan	T9a: Neurogenetics Chairs: Shoji Tsuji, Japan and Stefan Pulst, USA	Teaching Course 18: CNS Infections & Tropical Neurology Chairs: Amadou Gallo Diop, Senegal and Tom Solomon, UK
14:45 - 15:10	Human Brain Connectome Project Kenichi Oishi, USA	14:45 - The Last 20 Years of Neu- ro-Oncology: What Have We Learned? Lawrence Cher, Australia	Neuropathological Basis of Central Autonomic Failure Glenda Halliday, Australia	Multiple Sclerosis NMO Tatsuro Misu, Japan	New Genes With a New Mechanism For Epilepsy Shoji Tsuji, Japan	14:45 - Infections & Epilepsy Amadou Gallo Diop, Senegal
15:10 - 15:35	Language Function of the Brain Matthew Lambon-Ralph, UK		Management of Orthostat- ic Hypotension Paola Sandroni, USA	Immune Mediated Neu- ropathy, Takashi Kanda, Japan	Recent progresses in molecular genetics of Cha- cot-Marie-Tooth disease Hiroshi Takashima, Japan	
15:35 - 16:00	Probabilistic Brain Atlases in Health & Disease Raj Kalaria, UK	15:30 - The New WHO Classifi- cation of Brain Tumors and Its Impact on Clinical Decision Making Michael Weller, Switzerland	Management of PD and MSA, including Neurogenic Bladder, etc. Jalesh Panicker, UK	Autoimmune Encepha- lopathy Satoshi Kamei, Japan	Genetics of Restless Legs Syndrome Aaro Salminen, Germany	15:30 - Management of Bacterial Meningitis Diederik Van de Beek, The Netherlands
16:00 - 16:15	Discussion		Discussion	Discussion	Discussion	
16:15 - 16:45		Сс	offee Break, Poster and E-Pos	ter Viewing and Exhibition Vi	isit	

Room E	Swan Hall	Room B-1	Room B-2	Room C-1	Room C-2
Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 13 Not included in main event (12:55-13:45)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 14 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 15 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 16 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45)	Lunch Break, Poster and E-Poster Viewing and Exhibition Visit	
Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 19 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 20 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 21 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 22 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)		
T8b: Palliative Care - Clinical Examples Chairs: Gian Borasio, Switzerland and Wolfgang Grisold, Austria	Free Papers: Epilepsy 2 Chair: Alla Guekht, Russia	Teaching Course 19: Child Neurology Chairs: Jo Wilmshurst, South Africa and Michael Johnston, USA	Teaching Course: Botu- linum Toxin Workshop - Why, When and How to Inject Botulinum Toxin: A Guide for Clinicians (Cont'd)		
Neurological Palliative Care in Children Monika Fuhrer, Germany		14:45 - Cerebral Plasticity: Oppor- tunities for Treatment of Pediatric Brain Disorders Michael Johnston, USA	14:45 - Case Discussions - Simple Cases and What We Learn from Them Mohamed El Tamawy, Egypt		
Palliative Care in Brain Tumors Wolfgang Grisold, Austria	Select abstracts				
Palliative Care in ALS David Oliver, UK		15:30 - Diagnosis of Seizure Disorders Using Video Examples Jo Wilmshurst, South Africa	15:30 - Case Discussions - Challenging Cases and What We Learn from Them Daniel Truong, USA Q&A Session: All speakers		
Discussion					

MONDAY, SEPTEMBER 18, 2017 (cont'd)

	Main Hall - Plenary	Prince Hall (Grand	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2	Room D
16:45 - 18:15	M3c: Neuroimaging, Molecular Functional Imaging Chairs: Anne Hege Aamodt, Norway and Paola Piccini, UK	ro-Oncology (Cont'd)	T11: Psychiatry - Medically Unexplained Symptoms Chairs: Dinesh Bhugra, UK and Helen Herrman, Australia	T10: Myopathies and Muscle Disorders Chairs: Ichizo Nishino, Japan and Marianne De Visser, The Netherlands	T9b: Neurogenetics Chairs: Shoji Tsuji, Japan and Stefan Pulst, USA	Teaching Course: CNS Infections & Tropical Neurology (Cont'd)
16:45 - 17:10	Optical Imaging on The Brain Function David Boas, USA	Challenges in the Diag-	Medically Unexplained Symptoms Across Cultures Dinesh Bhugra, UUK	Paradigm Shift in the Classification of Idiopathic Inflammatory Myopathies Marianne De Visser, The Netherlands	Ataxia Models and Preclin- ical Treatment Trials Stefan Pulst, USA	16:45 - Tropical Neurology in ASEAN Countries Dede Gunawan, Indonesia
17:10 - 17:35	Parkinson's Disease and Huntington's Disease by PET and MRI Paola Piccini, UK		Medically Unexplained Symptoms and the Health of Women Helen Herrman, Australia	GNE Myopathy - Update and Future Therapy Ichizo Nishino, Japan	Repeat Expansion Disorders Alexandra Durr, France	
17:35 - 18:00	Diffusion Weighted Image in Neurology Hidenao Fukuyama, Japan	Challenges in the Neuroim-	Mental Imagery on Medically Unexplained Symptoms Roger Ng, Hong Kong	Recent Diagnostic Advanc- es in Muscular Dystrophy Satish Khadilkar, India	Extensive Genetic Analysis On Taiwanese Patients with Inherited Neuropathy Yi-Chung Lee, Taiwan	17:30 - Management of Challeng- ing CNS Infections Tom Solomon, UK
18:00 - 18:15	Discussion		Discussion	Discussion	Discussion	

Room E	Swan Hall	Room B-1	Room B-2	Room C-2
T12: The Role of Microglia in Neurological Disease Chairs: Pierre Magistretti, Saudi Arabia and Hiroaki Wake, Japan	Free Papers: CNS Infections Chair: Chafiq Hicham, Morocco	Teaching Course: Child Neu- rology (Cont'd)	Free Papers: Stroke 2 Chairs: Vitalie Lisnic, Moldova and Yomi Ogun, Nigeria	Free Papers: Movement Disorders 2 Chairs: Francisco Cardoso, Brazil and Tissa Wijeratne, Australia
Physiology of Microglia: New Insights Hiroaki Wake, Japan		16:45 - Update on Demyelinating Diseases in Children Silvia Tenembaum, Argentina		
Microglial Phagocytosis of Neu- rons in Neurological Disease Guy Brown, UK	Select abstracts		Select abstracts	Select abstracts
Neuron-Glia Metabolic Coupling: Role in Plasticity and Neuropro- tection Pierre Magistretti, Saudi Arabia		17:30 - Pathophysiology and Inter- ventions for Children with Rett Syndrome Yoshiko Nomura, Japan		
Discussion				





TUESDAY, SEPTEMBER 19, 2017

	Main Hall - Plenary	Annex Hall 2
07:00 - 08:00		Morning Teaching Course 35: Headache: Clinical Pearls for Diagnosis and Treatment Chair: Richard Stark, Australia Speaker: David Dodick, US
08:00 - 09:00	Munsat Award Presentation by Steven Lewis to Walter Struhal and Tissa Wijeratne Plenary Lecture 5: Masland Award Lecture - Spatial Navigation Mechanisms of The Brain (08:00-08:30) Chairs: Riadh Gouider, Tunisia and Steven Lewis, USA Speaker: Thomas Brandt, Germany	
	Plenary Lecture 6: Neurological Manifestations of Congenital Zika Syndrome (08:30-09:00) Chairs: Riadh Gouider, Tunisia and Steven Lewis, USA Speaker: Andre Pessoa, Brazil	

	Main Hall - Plenary	Prince Hall (Grand Prince Hotel)	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2	Room D
10:30		M5a: Prion Like Mechanisms and Neurological Disease and Novel Targets Treatment - Prion-like Diseases: The Clinico-pathological Spectrum Chairs: Hidehiro Mizusawa, Japan and Colin Masters, Australia	T13a: Autoimmune Dis- orders - Clinical Aspects of Multiple Sclerosis and Autoimmune Neurologi- cal Disorders Chairs: Sean Pittock, USA and Keiko Tanaka, Japan		Teaching Course 21: Movement Disorders I - Parkinson's Disease: Concept and Diagnosis Chairs: Kazushi Takahashi, Japan and Francisco Cardoso, Brazil	T14a: Neurooncology- Brain Tumors Chairs: Patrick Wen, USA and Michael Weller, Switzerland
		Prion Disease: An Overview Hidehiro Mizusawa, Japan	Update on Epidemiology and Treatment of NMOSD Sean Pittock, USA	Neurophysiology CNS Shozo Tobimatsu, Japan	09:00 - Redefinition of PD Günther Deuschl, Germany	Advances in Classification and Targeted Therapy of Gliomas Patrick Wen, USA
09:50	Current State and Future Directions for Reperfusion Therapy Stephen Davis, Australia	Variant CJD Robert Will, UK	Approaches for the Diagnosis and Treatment of Autoimmune Encephalitis Keiko Tanaka, Japan	Neurophysiology PNS Nobuo Kohara, Japan		Immunotherapy for Brain Tumors Checkpoint Inhibi- tors, Vaccines and Beyond Michael Weller, Switzerland
09:50 - 10:15		Protein Amplification From Peripheral Tissues Noriyuki Nishida, Japan	Autoimmune Neuropathy Susumu Kusunoki, Japan	Ultrasound Studies of Nerves Hiroshi Tsukamoto, Japan	09:45 - Etiopathogenesis of PD Ryosuke Takahashi, Japan	New Developments in Primary CNS Lymphoma Lawrence Cher, Australia
10:15 - 10:30	Discussion	Discussion	Discussion	Discussion		Discussion
10:30 - 11:00		Сс	offee Break, Poster and E-Pos	ter Viewing and Exhibition V	isit	

Teaching Course	Scientific Session: Main Topics	Free Papers	
Plenary Lecture	Regional Symposium Session	1 Scientific Session: Topics	
International Pharma Sponsored Symposium	Tournament of the Minds	Breaks	
	Japanese Pharma Sponsored Symposium	Japanese Scientific Session	

Room E	Swan Hall	Room B-1	Room B-2	Room C-2	Room H
Epilepsy I - Newly Devel- oped Epilepsy Syndrome and Treatment		Teaching Course 22: Neuro Rheumatology Chairs: Aksel Siva, Turkey and Tracey Cho, USA	Free Papers: Functional Disorders and Behavior- al Neurology Chairs: Jon Stone, UK and Maria Benabdeljlil, Morocco	Free Papers: Stroke 3 Chairs: Foad Abd-Allah, Egypt and Suhail Alrukn, UAE	Free Papers: Late Breaking Oral Session I Chairs: Raad Shakir, UK and Werner Poewe, Austria
09:00 - Autoimmune Epilepsy Angela Vincent, UK		09:00 - Clinical Approach to Neuro-Rheumatology Tracey Cho, USA			
09:45 - Update on Progressive Myoclonus Epilepsy Akio Ikeda, Japan	Select abstracts	09:45 - Neuro-Behcet's Aksel Siva, Turkey	Select abstracts	Select abstracts	Select abstracts
	C	offee Break, Poster and E-Pos	ster Viewing and Exhibition V	isit	

TUESDAY, SEPTEMBER 19, 2017 (cont'd)

	Main Hall - Plenary	Prince Hall (Grand Prince Hotel)	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2	Room D
11:00 - 12:30	M4b: Stroke - Acute Stroke Therapy Chairs: Didier Leys, France and K.S. Lawrence Wong, Hong Kong	M5b: Prion Like Mechanisms and Neurological Disease and Novel Targets Treatment - Prion-like Propagation: What Drives What? Chairs: Masato Hasegawa, Japan and Colin Masters, Australia	T13b: Autoimmune Disorders- Pathomecha- nisms of Multiple Sclero- sis and Autoimmune Neurological Disorders Chairs: Sean Pittock, USA and Susumu Kusunoki, Japan	11:00-12:00 Tournament of the Minds: "Heats" Qualify- ing Round Chairs: Richard Stark, Australia and Takashi Kanda, Japan	Teaching Course: Movement Disorders I - Parkinson's Disease: Concept and Diagnosis (Cont'd)	T14b: Neurooncology - Neurologic Complica- tions of Cancer Chairs: Patrick Wen, USA and Wolfgang Grisold, Austria
11:00 - 11:25	ICH - "Surgery, BP and Hemostasis" Kazuo Minematsu, Japan	A Beta Colin Masters, Australia	Innate Immunity and Neuroinflammation Sachiko Miyake, Japan		11:00 - Non-motor symptoms in PD Heinz Reichmann, Germany	Brain and Leptomeningeal Metastases Emilie Le Rhun, France
11:25 - 11:50	Rapid Assessment and Treatment of Minor Stroke and TIA Liping Liu, China	Alpha-Synuclein Masato Hasegawa, Japan	Variable Immunopatho- genetic Patterns in CAS Demyelinating Conditions Hans Lassmann, Austria			Medical Management of Brain Tumor Patients: Seizures, Steroids, and Vascular Complications Warren Mason, Canada
11:50 - 12:15	Telestroke, DRIP and SHIP Bernard Yan, Australia	TAU Assembly and Propagation of Pathology Michel Goedert, UK	Autoimmune Gliopathies: Pathogenic Mechanisms Vanda Lennon, USA		11:45 - Atypical Parkinsonism Beomseok (BJ) Jeon, Republic of Korea	Paraneoplastic Syndromes Sith Sathornsumetee, Thailand
12:15 - 12:30	Discussion	Discussion	Discussion			Discussion
12:45 - 14:45		-Poster Viewing and Exhibi- Visit	International Pharma Sponsored Symposium Industry Session 4 Not included in main event CME/CPD credit (13:00-14:30)	International Pharma Sponsored Symposium Industry Session 5 Not included in main event CME/CPD credit (13:00-14:30)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 23 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45) Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 30 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 24 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-14:40)

Room E	Swan Hall	Room B-1	Room B-2	Room C-2	Room H
Teaching Course: Epilepsy I - Newly Developed Epilepsy Syndrome and Treatment (Cont'd)	Free Papers: Child Neurology Chairs: Jo Wilmshurst, South Africa and Augustina Charway-Felli, Ghana	Teaching Course: Neuro Rheumatology (Cont'd)	Free Papers: Traumatic Brain Injury Chairs: Hamidone Basri, Malaysia and Stella Bonne- vaux, Uruguay	Free Papers: Autonomic Nervous System Disorders & Movement Disorders Chairs: Jean-Philipe Azulay, France and Shahriar Nafissie, Iran	
11:00 - Elderly Epilepsy and EEG Naoki Akamatsu, Japan		11:00 - Rheumatology and NMO Overlap Kazuo Fujihara, Japan			
11:45 - How to Use New Antiepi- leptic Drugs Byung-In Lee, Republic of Korea	Select abstracts	11:45 - Immunotherapy in Neuro-Rheumatology (AN- TI-CD19/20, IL6, TNF-A) Brian Weinshenker, USA	Select abstracts	Select abstracts	
Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 25 Not included in main event (12:55-13:45)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 26 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 27 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 28 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45)	Lunch Break, Poster and	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 29 Not included in main event CME/CPD credit (12:55-13:45)
	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 31 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 32 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 33 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40)	E-Poster Viewing and Exhibition Visit	

TUESDAY, SEPTEMBER 19, 2017 (cont'd)

	Main Hall - Plenary	Prince Hall (Grand Prince Hotel)	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2	Room D
14:45 - 16:15	M4c: Stroke - Hot Topics in Asia Chair: Kazuo Minematsu, Japan and Ming Liu, China	M5c: Prion Like Mechanisms and Neurological Disease and Novel Targets Treatment - Prion-like Disease Targets: Upstream, Center, Downstream? Chairs: Hidehiro Mizusawa, Japan and Colin Masters, Australia	T16a: CNS Infections and Tropical Neurology - CNS Infections Chairs: Nicholas Davies, UK and Tom Solomon, UK	- Neonatal Encephalopathy and Neuroprotection		Asian-Oceanian Regional Symposium - Gene Therapy - A Reality in Neurology Overall host : Jeon Beomseok (BJ), Republic of Korea Chairs: Man Mohan Mehndiratta, India and Takanori Yokota, Japan
14:45 - 15:10	Intracranial Atherosclero- sis: What's New K.S. Lawrence Wong, Hong Kong	Gene Regulation Don Cleveland, USA	Neurological Manifes- tations of Herpes Virus Infections Tom Solomon, UK	HIE and Neuroprotection Michael Johnston, USA	14:45 - Genetic of Hyperkinetic Movement Disorders Bob Chin Song Lu, Taiwan	(14:45-14:49) Scope of this Session Jeon Beomseok (BJ), Republic of Korea (14:49-14:50) Introduction of speakers by session chairs (14:50-15:10) ALS Jung-Joon Sung, Republic of Korea
15:10 - 15:35	Cerebral Venous Throm- bosis Jeyaraj Pandian, India	Protein Aggregation Katsumi Doh-ura, Japan	Neurological Complications of Arbovirus Infections Cristiane Soares, Brazil	Congenital HIV Jo Wilmshurst, South Africa		(15:10-15:30) Parkinson's Disease Shin'ichi Muramatsu, Japan
15:35 - 16:00	Should The tPA Dose be Lowered? Ming Liu, China	Clearance (Antibody-Mediated) John Collinge, UK	Bacterial CNS Infections Diederik Van de Beek, The Netherlands	Congenital Zika Virus Syndromes Vanessa Van Der Linden, Brazil	15:30 - Auto-Immune Movement Disorders Francisco Cardoso, Brazil	(15:30-15:50) AADC Deficiency Wuh-Liang Hwu, Taiwan
16:00 - 16:15	Discussion	Discussion	Discussion	Discussion		(15:50-16:10) Duchenne Muscular Dystrophy Yoshitsugu Aoki, Japan (16:10-16:15) Summary & Closing
16:15- 16:45		Co	offee Break, Poster and E-Pos	ter Viewing and Exhibition Vi	sit	
16:45- 18:15	M4d: Stroke - Preven- tion Chairs: Shinichiro Uchiya- ma, Japan and K.S. Law- rence Wong, Hong Kong	Nutritional Disorders Chairs: Jacques Reis, France and Yoshihiro Kokubo, Japan		T18: History of Neu- rology Chairs: George York, USA and Makoto Iwata, Japan	Teaching Course: Movement Disorders II - Current Topics of Hyperkinetic Movement Disorders (Cont'd)	
16:45 - 17:10	The Big Picture Vladimir Hachinski, Canada		Stroke in Africa Amadou Gallo Diop, Senegal	(16:45-17:05) The History of James Par- kinson and His Disease George York, USA	16:45 - Classification and Patho- physiology of Myoclonus Hiroshi Shibasaki, Japan	
17:10 - 17:35	Atrial Fibrillation - Practical Issues Shinichiro Uchiyama, Japan	Prevent Cardio-Vascular	Epilepsy in India and Beyond Parthasarthy Satishchan- dra, India	(17:05-17:25) 100 Years of the Guil- lain-Barré Syndrome Gerard Said, France		
17:35 - 18:00	Intervention for Stroke Prevention for Carotid and Intracranial Disease Deidre De Silva, Singapore Discussion	Plant Toxins and Neurological Disease Peter Spencer, USA Discussion	Rickettsial Neurological Infections Paul Newton, UK	(17:25-17:45) Dawn of the Modern Neurology in Japan Makoto Iwata, Japan (17:45-18:05) Nottingham and the early days of MRI Scanning Richard Godwin-Austen, UK (18:05 - 18:15)	17:30 - An Update on Tremor Werner Poewe, Austria	
18:15	Discussion .	Discussion	Discussion	Discussion		

Room E	Swan Hall	Room B-1	Room B-2	Room C-2	Room H
Teaching Course 23: Epi- lepsy II - Update Lesson of Epilepsy Chairs: Riki Matsumoto, Japan and Riadh Gouider, Tunisia	Free Papers: Autoim- mune Disorders 2 Chair: Saeed Bohlega, Saudi Arabia	Teaching Course 25: Neuro-Otology - Verti- go: What's Old, What's Good, What's New and What's Acute Chairs: Thomas Brandt. Germany and Adolfo Bronstein, UK	Free Papers: Dementia 3 Chairs: Jera Kruja, Albania and Ammar E.M.A. Babikir, Sudan		
14:45 - SUDEP Gordon Buchanan, USA		14:45 - Clinical History and Assess- ment of Vertigo Patients Thomas Brandt, Germany			
15:30 - Genetics of Idiopathic Epilepsies Riadh Gouider, Tunisia	Select abstracts	15:30 - Is it a Stroke? - Vascular Aspects of Vertigo Ji-Soo Kim, Republic of Korea	Select abstracts		
	C	offee Break, Poster and E-Pos	ster Viewing and Exhibition V	İsit	
Teaching Course: Epilepsy II - Update Lesson of Epilepsy (Cont'd)		Teaching Course: Neuro-Otology - Verti- go: What's Old, What's Good, What's New and What's Acute (Cont'd)	Free Papers: Neuroimaging Chairs: Abdias V. Aquino, Philippines and Arsalan Ahmed, Pakistan	Free Papers: Neurophys- iology 1 Chair: Liying Cui, China	Free Papers: Movement Disorders 3 Chairs: Eduardo Tolosa, Spain and Shigeki Kuzuha- ra, Japan
16:45 - Lesson of Psychiatric Com- plication for Neurologists Kosuke Kanemoto, Japan		16:45 - Paroxysmal Vestibular Disorders Adolfo Bronstein, UK			
17:30 - Essence of EEG in Epilepsy John Dunne, Australia	Select abstracts	17:25 - Functional and Psychiatric Vestibular Disorders Jeffrey Staab, USA	Select abstracts	Select abstracts	Select abstracts
		18:05 - Round Table and Q&A: Differential Diagnosis of the Acute Vertigo Patient			

WEDNESDAY, SEPTEMBER 20, 2017

	Main Hall - Plenary	Annex Hall 2
07:00 - 08:00		Morning Teaching Course 36 Gait Disorders Chair: Raad Shakir, UK Speaker: Mark Hallett, USA
	Plenary Lecture 7: Neurology Atlas (08:00-08:30) Chairs: William Carroll, Australiaand Hidehiro Mizusawa, Japan Speaker: Tarun Dua, Switzerland	
	Plenary Lecture 8: Recent Progress in IPS Cell Research and Application (08:30-09:15) Chairs: William Carroll, Australiaand Hidehiro Mizusawa, Japan Speaker: Shinya Yamanaka, Japan	

	Main Hall - Plenary	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2	Room D
09:15- 10:45	M6a: Movement Disorders - Motor PD Chairs: Nobutaka Hattori, Japan and Victor Fung, Australia	M7a: Dementia - From SCI to MCI: Prodromal Phases of Dementia Chairs: Vincent Mok, Hong Kong and Murat Emre, Turkey	T19: WHO Initiatives Chairs: Tarun Dua, WHO, Switzer- land and Raad Shakir, UK	Japanese Scientific Session 4 Chairs: Koji Abe, Japan and Tatsuji Toda, Japan	T20a: Motor Neuron Disease - Clinical Chairs: Albert Ludolph, Germany and Ryuji Kaji, Japan
09:15 - 09:40	Advances in the Genetics of PD Nobutaka Hattori, Japan	SCI: What is it, What Does it Predict Dorene Rentz, USA	Neurology Resources Around The World Raad Shakir, UK	Myopathy Genetics Yoshihide Sunada, Japan	Guidelines For ALS Clinical Trials (Airlie House 2016) and Clinical Criteria (The Diagnosis WFN Research Group 2015- A Critical Appraisal) Hiroshi Mitsumoto, USA
09:40 - 10:05	Treatment of Advanced Parkin- son's Disease Angelo Antonini, Italy	MCI: Clinical Phenotypes and Progression Ricardo Nitrini, Brazil	Tools And Guidelines for Enhanc- ing Neurological Care: ICD-11 and mhGAP Tarun Dua,WHO, Switzerland	Neuropathy Genetics Haruki Koike, Japan	The Clinical Picture and Demo- graphics of ALS in China Liying Cui, China
10:05 - 10:30	Emerging Therapies for PD Olivier Rascol, France	Prodromal Lewy Body Disease: Features and Predictors Hiroshige Fujishiro, Japan	Public Health Impact and Response to Dementia Raad Shakir, UK / Tarun Dua, WHO, Switzerland	Myopathy Pathology Jun Shimizu, Japan	Current and Emerging Therapies for ALS - Pharmacology, Nutrition and Ventilation Ryuji Kaji, Japan
10:30 - 10:45	Discussion	Discussion	Discussion	Discussion	Discussion
10:45 - 11:15		Coffee Break,	Poster and E-Poster Viewing and E	xhibition Visit	
11:15- 12:45	M6b: Movement Disorders - Non-Motor PD Chairs: David Burn, UK and Victor Fung, Australia	M7b: Dementia - Alzheimer Disease Update Chairs: Shinsuke Fujioka, Japan and Murat Emre, Turkey	(11:15-12:15) Tournament of The Minds: Semi Final Chairs: Nicholas Davies, UK and Ricardo Fadic, Chile	(11:15-12:15) Tournament of The Minds: Semi Final Chairs: Andrea Vass, Austria and Faouzi Belahsen, Morocco	T20b: Motor Neuron Disease - Basic Chairs: Albert Ludolph, Germany and Gen Sobue, Japan
11:15 - 11:40	Diagnosis and Management of Psychiatric Manifestations of PD Atbin Djamshidian, Austria	Current Understanding of AD Pathophysiology Changiz Geula, USA			ALS - A Multisystem Degeneration Albert Ludolph, Germany
11:40 - 12:05	Diagnosis and Management of Cognitive Impairment in PD and DLB David Burn, UK	Molecular Imaging and CSF Biomarkers Sang Won Seo, Republic of Korea			The Prion Concept and ALS Magdalini Polymenidou, Switzerland
12:05 - 12:30	The Influence of the Gastrointes- tinal System in PD Ronald Pfeiffer, USA	New Treatment Strategies Shun Shimohama, Japan			SBMA (Kennedy's disease) and ALS: Development of dis- ease-modifying therapy Gen Sobue, Japan
12:30 - 12:45	Discussion	Discussion			Discussion

Teaching Course	Scientific Session: Main Topics	Free Papers
Plenary Lecture	Regional Symposium Session	1 Scientific Session: Topics
International Pharma Sponsored Symposium	Tournament of the Minds	Breaks
	Japanese Pharma Sponsored Symposium	Japanese Scientific Session

Room E	Swan Hall	Room B-1	Room B-2	Room C-2
M8a: Clinical Neurophysiology NCS, EMG, Evoked Potential, TMS - Central Physiology Chairs: Yoshikazu Ugawa, Japan and Matthew Kiernan, Australia	Teaching Course 26: Sleep Disorders Chairs: Claudia Trenkwalder, Ger- many and Yuichi Inoue, Japan	Advocacy Course and Young	Free Papers: Stem Cells and Gene Therapy Chairs: Altynay Karimova, Russia and Terrence Cascino, USA	Free Papers: Neurophysiology 2 Chairs: Renato Verdugo, Chile and Mark Hallett, USA
What is activated by TMS? Walter Paulus, Germany Tracking Neurodegeneration by TMS Matthew Kiernan, Australia TMS Treatment of Parkinson's Disease Yoshikazu Ugawa, Japan Discussion	09:15 - Treatment Strategy for Chronic Insomnia Yuichi Inoue, Japan 10:00 - Evidenced Based Therapy of Restless Legs Syndrome Aaro Salminen, Germany	09:15 - Opening Remarks and Faculty Introductions Tissa Wijeratne, Australia 09:30 - Speech from the WFN Education Committee Chair: Steven Lewis, USA 09:45 - Introduction to Advocacy: What, Why, How Elaine Jones, USA 10:15 - Action Planning Mohamad Wasay, Pakistan 10:45 - Media & Advocacy Tissa Wijeratne, Australia	Select abstracts	Select abstracts
	Coffee Break	Poster and E-Poster Viewing and E	xhibition Visit	
M8b: Clinical Neurophys- iology NCS, EMG, Evoked Potential, TMS - Peripheral Physiology Chairs: Yoshikazu Ugawa, Japan and Matthew Kiernan, Australia	Teaching Course: Sleep Disorders (Cont'd)	Teaching Course: Palatucci Advocacy Course and Young	Free Papers: Stroke 4 Chairs: Gilmar Prado, Brazil and Joung-Ho Rha, Republic of Korea	Free Papers: Late Breaking Oral Session II Chairs: Eduard Auff, Austria and Jihad Inshasi, UAE
Painful Neuropathy Renato Verdugo, Chile POEMS Satoshi Kuwabara, Japan Inflammatory Neuropathy David Cornblath, USA	11:15 - Sleep in Parkinson and Alzheimer Disease; Current Assessment and Therapy Keisuke Suzuki, Japan 12:00 - Movement Disorders in Sleep: An Overview with Video Examples	Management, Including Advoca- cy Examples from Other Societies Wolfgang Grisold, Austria 11:45 - Planning Research - European	Select abstracts	Select abstracts
Discussion	Claudia Trenkwalder, Germany	Discussions, Begin Working on Action Plans		

WEDNESDAY, SEPTEMBER 20, 2017 (cont'd)

	Main Hall - Plenary	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2	Room D
12:45 - 14:45	Lunch Break,	Poster and E-Poster Viewing and E		Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 34 Not included in main event CME/ CPD credit (12:55-14:40)	Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 35 Not included in main event CME/ CPD credit (12:55-13:45) Japanese Pharma Sponsored Symposium Industry Session 40 Not included in main event CME/ CPD credit (13:50-14:40)
14:45- 16:15	M6c: Movement Disorders - Hyperkinetic Movement Disorders Chairs: Ritsuko Hanajima, Japan and Victor Fung, Australia	M7c: Dementia - Non-AD Degenerative Dementias Chairs: Vincent Mok, hong Kong and Hiroshige Fujishiro, Japan	T21a: Stem Cells in Neurology, Regenerative Medicine, Induced Pluripotent Stem Cell (iPS) - Modeling of Genetics Using Induced Pluripotent Stem Cells Chairs: Michela Deleidi, Germany and Ryosuke Takahashi, Japan	T22: Functional Disorders in Neurology Chairs: Saeed Bohlega, Saudi Arabia and Jon Stone, UK	T23a: Neurological Sleep Disorders - Sleep in Neuro- logical Disorders and Health Care Chairs: Claudia Tenkwalder, Ger- many and Yuichi Inoue, Japan
14:45 - 15:10	Update on Myoclonus Syn- dromes Marina De Koning-Tijssen, The Netherlands	Pathologic Features of Glia in Non-AD Degenerative Dementias Akiyoshi Kakita , Japan	Modeling neurodegenerative diseases for drug discovery using human iPSCs Haruhisa Inoue, Japan	Neurological Assessment and Explanation of Diagnosis of Functional (Psychogenic) Disorders Jon Stone, UK	Sleep and Epilepsy: Phenomenol- ogy and Differential Diagnosis Seung Bong Hong, Republic of Korea
15:10 - 15:35	Update on Dystonia Syndromes Victor Fung, Australia	Lewy Body Related Dementias: An Update Murat Emre, Turkey	Induced Pluripotent Stem Cells Mirroring Many of The Parkinso- nian Cell Biological Deficits Seen in Patients Michela Deleidi, Germany	Diagnosis of Functional (Psychogenic) Movement Disorders Chafiq Hicham, Morocco	How to Assess Sleep in Neuro- logical Disorders Luigi Ferini-Strambi, Italy
15:35 - 16:00	Update on Chorea Francisco Cardoso, Brazil	FTLD: Genotypes and Phenotypes Shinsuke Fujioka, Japan	Modeling Biology Using Plurip- otent Stem Cells: Aging Models for Longevity and Its Role in Neurodegenerative Diseases as well as Cancer Hideyuki Okano, Japan	Treatment of Functional Disorders in Neurology Alan Carson, UK	Neurological and Medical Dis- orders Associated with Restless Legs Syndrome Claudia Trenkwalder, Germany
16:00 - 16:15	Discussion	Discussion	Discussion	Discussion	Discussion
16:15- 16:45		Coffee Break,	Poster and E-Poster Viewing and E	xhibition Visit	

Japanese Pharma Spontored Symposium Industry Session 36 Not Included in main event (12:55-13:45) Japanese Pharma Spontored Symposium Industry Session 37 Not Included in main event (12:55-13:45) Japanese Pharma Spontored Symposium Industry Session 38 Not Included in main event CME (PD credit (12:55-13:45) Japanese Pharma Spontored Symposium Industry Session 31 Not Included in main event CME (PD credit (12:55-13:45) Japanese Pharma Spontored Symposium Industry Session 41 Not Included in main event CME (PD credit (13:50-14:40) Japanese Pharma Spontored Symposium Industry Session 43 Not Included in main event CME (PD credit (13:50-14:40) Japanese Pharma Spontored Symposium Industry Session 43 Not Included in main event CME (PD credit (13:50-14:40) MBc: Clinical Neurophysiology NBc: Clinical Neurophysio	Room E	Swan Hall	Room B-1	Room B-2	Room H
Sponsored Symposium Industry Session 43 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40) M8c: Clinical Neurophysiology NCS, EMG, Evoked Potential, TMS - Invasive Studies Chairs: Satoshi Kuwabara, Japan and David Comblath, USA Intraoperative Monitoring David Burke, Australia Subdural Recording in Epilepsy Riki Matsumoto, Japan DBS in Movement Disorders Robert Chen, Canada Sponsored Symposium Industry Session 43 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40) Sponsored Symposium Industry Session 43 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40) Teaching Course 28: Peripher- al Neuropathy Advocacy Course and Young Neurologists Corner (Cont'd) Advocacy Course and Young Neurologists Corner (Cont'd) Intraoperative Monitoring David Burke, Australia Intraoperative Monitoring David Burke, Australia Subdural Recording in Epilepsy Riki Matsumoto, Japan DBS in Movement Disorders Robert Chen, Canada Sponsored Symposium Industry Session 43 Not included in main event CME/CPD credit (13:50-14:40) Teaching Course: Palatucci Advocacy Course and Young Neuropathy Advocacy Course and Young Neurologists Corner (Cont'd) Advocacy Course and Young Neurologists Corner (Cont'd) International Working Group of Young Neurologists and Trainees; An Update Tissa Wijeratne, Australia Tis:10 - How to Use Guidelines in the Treatment of Inflammatory Neuropathies? Jean Marc Leger, France 15:30 - How to Use Guidelines in the Treatment of Inflammatory Neuropathies? Jean Marc Leger, France 15:45 - Career Panel Q&A - Jones, Wijeratne, Grisold, Wasay Teaching Course: 29: Motor Neurologists Corner (Cont'd) Teaching Course: Palatucci Advocacy Course and Young Neurologists Corner (Cont'd) Teaching Course: Palatucci Advocacy Course and Young Neurologists and Trainees; An Update Tissa Wijeratne, Australia Tis:10 - How to Use Guidelines in the Treatment of Inflammatory Neurologists and Trainees; Any Update Tissa Wijeratne, Grisold, Wasay To June Control of More Particulary Not Control of More Particulary Not Con	Sponsored Symposium Industry Session 36 Not included in main event	Sponsored Symposium Industry Session 37 Not included in main event CME/ CPD credit	Sponsored Symposium Industry Session 38 Not included in main event CME/ CPD credit	Sponsored Symposium Industry Session 39 Not included in main event CME/ CPD credit	
Intraoperative Monitoring David Burke, Australia Subdural Recording in Epilepsy Riki Matsumoto, Japan 15:30 - How to Use Guidelines in the Treatment of Inflammatory Neuropathies? Jean Marc Leger, France 15:45 - Women in Neurology; Asia Oceania Ayae Kinoshita, Japan DBS in Movement Disorders Robert Chen, Canada 1 Advocacy Course and Young Neurologists Corner (Cont'd) Advocacy Course and Young Neurologists Corner (Cont'd) 14:45 - International Working Group of Young Neurologists and Trainees; An Update Tissa Wijeratne, Australia 15:15 - Women in Neurology; Asia Oceania Ayae Kinoshita, Japan 15:45 - Career Panel Q&A - Jones, Wijeratne, Grisold, Wasay	Sponsored Symposium Industry Session 41 Not included in main event CME/ CPD credit	Sponsored Symposium Industry Session 42 Not included in main event CME/ CPD credit	Sponsored Symposium Industry Session 43 Not included in main event CME/ CPD credit	Sponsored Symposium Industry Session 44 Not included in main event CME/ CPD credit	Sponsored Symposium Industry Session 45 Not included in main event CME/ CPD credit
How to Use Guidelines in the Diagnosis of Inflammatory Neuropathies? John England, USA Subdural Recording in Epilepsy Riki Matsumoto, Japan 15:30 - How to Use Guidelines in the Treatment of Inflammatory Neuropathies? Jean Marc Leger, France How to Use Guidelines in the Treatment Disorders Robert Chen, Canada How to Use Guidelines in the Treatment of Inflammatory Neuropathies? Jean Marc Leger, France International Working Group of Young Neurologists and Trainees; Matthew Kiernan, Australia 15:15 - Women in Neurology; Asia Oceania Ayae Kinoshita, Japan 15:30 - How to Diagnose ALS? - Physiological Criteria Ryuji Kaji, Japan 15:45 - Career Panel Q&A - Jones, Wijeratne, Grisold, Wasay	NCS, EMG, Evoked Potential, TMS - Invasive Studies Chairs: Satoshi Kuwabara, Japan	al Neuropathy Chairs: Jean Marc Leger, France	Advocacy Course and Young	Neuron Disease Chairs: Matthew Kiernan, Austra-	
Riki Matsumoto, Japan 15:30 - How to Use Guidelines in the Treatment of Inflammatory Neuropathies? Jean Marc Leger, France Women in Neurology; Asia Oceania Ayae Kinoshita, Japan 15:30 - How to Diagnose ALS? - Physio- logical Criteria Ryuji Kaji, Japan 15:45 - Career Panel Q&A - Jones, Wijeratne, Grisold, Wasay		How to Use Guidelines in the Diagnosis of Inflammatory Neuropathies?	International Working Group of Young Neurologists and Trainees; An Update	Overview of ALS and Other Motor Neuron Disease	
Robert Chen, Canada Career Panel Q&A - Jones, Wijeratne, Grisold, Wasay		How to Use Guidelines in the Treatment of Inflammatory Neuropathies?	Women in Neurology; Asia Oceania	How to Diagnose ALS? - Physio- logical Criteria	
Discussion			Career Panel Q&A - Jones,		
	Discussion				

WEDNESDAY, SEPTEMBER 20, 2017 (cont'd)

	Main Hall - Plenary	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2	Room D
18:15	M6d: Movement Disorders - Hot Topics in Movement Disorders Chairs: Yoshio Tsuboi, Japan and Mark Hallett, USA	M7d: Dementia - Other Dementias Chairs: Etsuro Mori, Japan and Murat Emre, Turkey	T21b: Stem Cells in Neurology, Regenerative Medicine, Induced Pluripotent Stem Cell (iPS) - Use of Pluripotent Stem Cells for Regenerative Medicine Chairs: Jun Takahashi, Japan and Kevin Talbot, UK	Past, into the Future Chairs: Yomi Ogun, Nigeria and	T23b: Neurological Sleep Disorders - New Insights into Sleep and Neurodegeneration Chairs: Claudia Trenkwalder, Ger- many and Koichi Hirata, Japan
	Towards Diagnosing PD at The Prodromal Stage Eduardo Tolosa, Spain	Vascular Cognitive Impairment Raj Kalaria, UK	Use of IPSC Derived Dopamine Neurons to Cure The Movement Disorder of Parkinson's Michiko Mandai, Japan	Care Provision: Clinical Services and The Practice of Neurology In Africa: The Good, The Bad and The Ugly Yomi Ogun, Nigeria	RBD as The Most Specific Feature of Prodromal Parkinson Disease Birgit Högl, Austria
17:35	The Patient With a Complex Movement Disorder: Lessons From Next Generation Genetics Matthew Farrer, Canada	Dementias With Mixed Pathology Vincent Mok, Hong Kong	Interneuron transplantation for treating epilepsy Sangmi Chung, USA	Education and Training in The Neurosciences: Training in Neu- rology: Current Status and Future Osheik Seidi, Sudan	Sleep in Parkinson and Alzheimer Disease: Current Assessment and Therapy Koichi Hirata, Japan
18:00	Psychogenic Movement Disorders Mark Hallett, USA	Normal Pressure Hydrocephalus: From Mechanism to Manage- ment Etsuro Mori, Japan	Novel Technologies and Innovations Using iPS Cells for Cell Therapy in Neurological Diseases Jun Takahashi, Japan	Research: Neuroscience Research in Africa: Current Status and Future Direction Foad Abd-Allah, Egypt	Impacts of Sleep Loss and Insomnia on Brain Damage Yuichi Inoue, Japan
18:00 - 18:15	Discussion	Discussion	Discussion	Discussion	Discussion

Room E	Swan Hall	Room B-1	Room B-2	Room C-2
Free Papers: Organization of Neurological Care & Neurore- habilitation Chairs: Eduard Auff, Austria and Hadi Manji, UK	Teaching Course: Peripheral Neuropathy (Cont'd)	Teaching Course: Palatucci Advocacy Course and Young Neurologists Corner (Cont'd)	Teaching Course: Motor Neuron Disease (Cont'd)	Free Papers: Neuroophthal- mology & Neurootology/ Vestibular disorders Chairs: Valerie Biousse, France and Vivek Lal, India
Select abstracts	16:45 - Antibody Associated Inflammatory Neuropathies Susumu Kusunoki, Japan 17:30 - Diabetic Neuropathies: Glycemic Controls and What Else? Eva Feldman, USA	16:45 - Young Neurologists Corner; Open Forum (Young Neurologists and Medical Students Corner Chair: Tissa Wijeratne, Australia and Tokuda Takahiko, Japan About Expectation of Neurology and Neurological Sciences in Fu- ture (3 min presentation by each speaker, 2 minutes' questions) 1. Japanese resident doctor (Kumamoto University) 2. Chinese Young Neurologist (Kyushu University) 3. Japanese Resident Doctor (Kumamoto University) 4. Indonesian Young Neurologist (Fukushima Prefectural Medical College) 5. Dutch Neuroscientist (Kyoto Prefectural Medical College) 6. Sri Lanka Young Neurologist (Dr Manjula Caldera) 7. Thailand Young Neurologist (Dr Kitti Tiankhaw) 8. Africa Young Neurologist (Dr Rufus Akinemi or his mentee) 9. Pakistan Young Neurologist (Dr Abdul Malik) 10. Round Table Discussion 17:15 - All Faculty - Action Planning Work and Presentations, in small groups	Seung Hyun Kim, Republic of Korea	Select abstracts
		17:45 - WFN Activities and Advocating Standards in Training Worldwide and Closing Remarks Wolfgang Grisold, Austria		

THURSDAY, SEPTEMBER 21, 2017

	Main Hall - Plenary
08:00 -	Plenary Lecture 9: Singhal Award Lecture - Targeted Therapies for Dominant Ataxias
09:00	(08:00-08:30)
	Chairs: Wolfgang Grisold, Austria and Morris Freedman, Canada
	Speaker: Stefan Pulst , USA
	Plenary Lecture 10: Physician workplace stress - is it only an American phenomenon?
	(08:30-09:00)
	Chairs: Wolfgang Grisold, Austria and Morris Freedman, Canada
	Speaker: Terrence Cascino, USA

	Main Hall - Plenary	Annex Hall 1	Room A	Annex Hall 2	Room D
09:00 - 10:30	T24: Big Data and Personal- ized Medicine Chairs: Paul Matthews, UK and Helmut Butzkueven, Australia	European Regional Sympo- sium - Different Views on the Treatment of Parkinson's Disease Chairs: Günther Deuschl, Germa- ny and Werner Poewe, Austria	Teaching Course 30: Neu- ro-Ophthalmology Chairs: Valerie Biousse, France and Vivek Lal, India	Teaching Course 31: EMG and Neurophysiology Workshop: Basic Chair: Jun Kimura, USA	Teaching Course 32: EMG and Neurophysiology Workshop: Advanced Chairs: Josep Valls-Sole, Spain and Hiroyuki Nodera, Japan
09:00 - 09:25	Population Level Neuroimaging for Neuroepidemiology; A New Healthcare Big Data Frontier Paul Matthews, UK	The Medical Treatment Werner Poewe, Austria	09:00 - Diagnosis of Optic Neuropathies & Papilledema and Idiopathic Intracranial Hyper- tension Nancy Newman, USA	09:00 - Motor Nerve Conduction Studies Jun Kimura, USA	09:00 - Neurophysiological Tests for the Assessment of Small Fibers Renato Verdugo, Chile
09:25 - 09:50	Large Scale Data Integration for Discovery of Disease Mecha- nisms and Potential Therapeutic Targets Sergio Baranzini , USA	The Surgical and Other Invasive Treatments Günther Deuschl, Germany			
09:50 - 10:15	Building a Global Disease Cohort for Real-Work Data Exploration: MSBase Helmut Butzkueven, Australia	The Role of Non-Medical and Non-Surgical Interventions Jorik Nonnekes, The Netherlands	09:45 - Anisocoria & Third Nerve Palsy Valerie Biousse, France	09:45 - Sensory Nerve Conduction Studies Zouhayr Souirti, Morocco	09:45 - Cranial Nerve Testing Josep Valls-Sole, Spain
10:15 - 10:30	Discussion	Discussion			
10:30 - 11:00		Coffee Break,	Poster and E-Poster Viewing and E	Exhibition Visit	
11:00 - 12:30		T25: Peripheral Neuropathy Chairs: Jean Marc Leger, France and Hiroshi Takashima, Japan	Teaching Course: Neuro-Oph- thalmology (Cont'd)	Teaching Course: EMG and Neurophysiology Workshop: Basic (Cont'd)	Teaching Course: EMG and Neurophysiology Workshop: Advanced (Cont'd)
11:00 - 11:25		New Frontiers in Guillain-Barré Syndrome John England, USA	11:00 - Management of Optic Neuritis & Giant Cell Arteritis Vivek Lal, India	11:00 - F Wave and H Reflex João Nobrega, Brazil	11:00 - Nerve Excitability Testing Hiroyuki Nodera, Japan
11:25 - 11:50		Genetic Testing in Peripheral Neuropathies Hiroshi Takashima, Japan			
11:50 - 12:15	-	New Therapeutic Strategies in Chronic Inflammatory Neurop- athies Jean Marc Leger, France	11:45 - Diagnosis of Nystagmus & Treatment of Nystagmus Caroline Tilikete, France	11:45 - Needle Electromyography Nobuo Kohara, Japan	11:45 - Discussion
12:15 - 12:30	-	Discussion			
12:30 - 12:45			Short Break		
12:45 - 14:00	Tournament of The Minds: Final Chairs: Richard Stark, Australia, Takashi Kanda, Japan and Nicholas Davies, UK				
	rections buries, ore				

Teaching Course	Scientific Session: Main Topics	Free Papers
Plenary Lecture	Regional Symposium Session	1 Scientific Session: Topics
International Pharma Sponsored Symposium	Tournament of the Minds	Breaks
	Japanese Pharma Sponsored Symposium	Japanese Scientific Session

Room E	Swan Hall	Room B-1	Room B-2	Room C-1
	Free Papers: Miscellaneous 1 Chairs: Natalya Tcinzerling, Rus- sia and Riadh Gouider, Tunisia	Free Papers: Neurogenetics Chair: Kenya Nishioka, Japan	Free Papers: Stroke 5 Chair: Kazutoshi Nishiyama, Japan	Free Papers: Pain Chair: Morris Freedman, Canada
Select abstracts	Select abstracts	Select abstracts	Select abstracts	Select abstracts
	Coffee Break,	Poster and E-Poster Viewing and	Exhibition Visit	
	Free Papers: Neurooncology Chair: Wolfgang Grisold, Austria	Free Papers: Headache Chairs: Jasem Al-Hashel, Kuwait and Russell Lane, UK	Free Papers: Movement Disorders 4 Chairs: Werner Poewe, Austria and Jeon Beomseok (BJ), Repub- lic of Korea	
Select abstracts	Select abstracts	Select abstracts	Select abstracts	





第23回世界神経学会議 アーカイブズ担当 日本神経学会アーカイブズ委員長 獨協医科大学神経内科教授

平田 幸一

この度WCN2017報告書を発行できることを心より嬉しく、また晴れがましく思います。

思えば会長の水澤英洋先生からこのお仕事を拝命した時点より私の仕事が始まりました。まず日本神経学会の歴史を世界に知らしめるために、会場で展示するための第57回までの日本神経学会歴史と発展のパワーポイントの作成を行いました。すでに49回までの資料は神経学会事務局に保存してありましたので、50回から57回追加分の収集が最初の仕事でした。池田義春様をはじめとする事務局の素晴らしいご援助のお陰でこれを集め終え、次は英文化でした。まず業者を選定し粗訳をお願いし、最後は自分で校正しました。ですのでnativeではない、私の文章が正しいかどうかいまだに不明です。

WCN本番の撮影やそのための動画、静止画の撮影配置は、水澤先生の号令の下、京都大学の松本理器先生、事務局の谷口晴美様がどんどん決めてくださったので、私はなにもしなかったといってよいと思います。編集は宇山恵子先生が素晴らしい感覚で行っていただき感謝しております。

何よりも世紀の神経学の祭典といってもよい今回大会の意 義や成果などを、アーカイブズ委員会委員長として次の時代 に残せたことを嬉しく思っております。



発行日 2018年9月1日

発 行 一般社団法人 日本神経学会

〒113-0034 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル

企 画 WCN2017実行委員会(委員長:水澤英洋) アーカイブズ委員会(委員長:平田幸一)



WCN 2017 WCN 2017 報告書

第23回世界神経学会議 (WCN2017: XXIII World Congress of Neurology) 第58回日本神経学会学術大会

主催・共催:第23回世界神経学会議組織委員会

日本学術会議

一般社団法人日本神経学会 アジアオセアニア神経学会連合

開催母体:世界神経学会連合

(WFN: World Federation of Neurology)

会 場:国立京都国際会館

〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池

